

# 倉吉総合看護専門学校本館棟外壁等改修工事

図面リスト			
通番	図面番号	図面名称	縮尺
01	-	表紙・図面リスト	——
		[建築図面]	
02	A - 1	改修工事特記仕様書 (1)	——
03	A - 2	改修工事特記仕様書 (2)	——
04	A - 3	改修工事特記仕様書 (3)	——
05	A - 4	改修工事特記仕様書 (4)	——
06	A - 5	改修工事特記仕様書 (5)	——
07	A - 6	改修工事特記仕様書 (6)	——
08	A - 7	案内図、工事概要、外部仕上表、配置図	1/500 [A3:1/750]
09	A - 8	1階平面図・建具平面図	1/100 [A3:1/150]
10	A - 9	2階平面図・建具平面図	1/100 [A3:1/150]
11	A - 10	3階平面図・建具平面図	1/100 [A3:1/150]
12	A - 11	R階平面図	1/100 [A3:1/150]
13	A - 12	外壁改修図 北側立面図 1	1/100 [A3:1/150]
14	A - 13	外壁改修図 北側立面図 2	1/100 [A3:1/150]
15	A - 14	外壁改修図 南側立面図 1	1/100 [A3:1/150]
16	A - 15	外壁改修図 南側立面図 2	1/100 [A3:1/150]
17	A - 16	外壁改修図 西側立面図	1/100 [A3:1/150]
18	A - 17	外壁改修図 東側立面図	1/100 [A3:1/150]
19	A - 18	1階天井伏図	1/100 [A3:1/150]
20	A - 19	2階天井伏図	1/100 [A3:1/150]
21	A - 20	3階天井伏図	1/100 [A3:1/150]
22	A - 21	防水改修図	1/50, 20 [A3:1/75, 30]
23	A - 22	換気扇取付図	1/50 [A3:1/75]
24	A - 23	換気扇取付詳細図	1/20 [A3:1/30]
25	A - 24	屋外階段平面図	1/50 [A3:1/75]
26	A - 25	屋外階段断面図	1/50 [A3:1/75]
27	A - 26	キャノピー 屋根伏図、天井伏図、梁伏図、断面図	1/10, 20, 50, 100 [A3:1/15, 30, 75, 150]
28	A - 27	建具表 (1)	1/100 [A3:1/150]
29	A - 28	建具表 (2)	1/100 [A3:1/150]
30	A - 29	建具表 (3)、参考詳細図	1/100, 10 [A3:1/150, 15]
31	A - 30	仮設計画図 (参考)	1/400 [A3:1/600]



③	防水改修工事	<p>既存下地の処理 [3.2.6]</p> <p>補修箇所の形状、長さ、数量等 ※図示 POS工法及びPOSII工法（機械的固定工法）の既存保護層を撤去し、防水層を非撤去とした立上り部等の処理 ※改修標準仕様書3.2.6(4) (5) (6) ①～③による ※改修標準仕様書3.2.6(4) (5) (6) ①～③による 設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり、丸縁の取付け部、塔屋出入口部、防水層末端部の納まり部の処理 ※図示による。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する。</p>	<p>・POD1 ・M3D1 ・M4D1</p> <p>※DI-1 ※DI-2</p> <p>JIS A 9521 (建築用断熱材) に基づく(表)の仕様 ※標準仕様書3.2.6(4) (5) (6) ①～③による 又は2等 厚さ ※ 25mm 50mm</p> <p>※製造所の仕様</p> <p>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用「レ」 ・設ける ・設けない</p>	<p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.3.7による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.3.8及び表3.3.9による 脱気装置の種類 ※アスファルトルーフィング類製造所の指定 脱気装置の設置数量 ※アスファルトルーフィング類製造所の指定 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示</p> <p>屋内防水 [表3.3.10]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>G</th> <th>保護層</th> </tr> <tr> <td>・P1E</td> <td>・E-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・設ける</td> </tr> <tr> <td>・P2E</td> <td>※E-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・設けない</td> </tr> </table> <p>E-1の場合で工程3を行う部位 (※ 貯水槽、浴槽等常時水に接する部位) 押え金物の材質及び形状寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 露上排水溝 ・図示</p>	工法	種別	施工箇所	断熱材	G	保護層	・P1E	・E-1				・設ける	・P2E	※E-2				・設けない	<p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.3.5及び表3.3.6による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.3.3及び表3.3.4による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm以上 床下タイル張り ※水上 60mm以上 ・乾式保護材 ・高層系パネル ※無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形し、オートクレープ養生したもの 金属複合板: 金属板と樹脂を積層一体化したもの。</p> <p>(品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">分類・規格</th> <th colspan="2">高層系パネルⅠ類 (寒冷地仕様)</th> <th colspan="2">高層系パネルⅡ類 (一般地仕様)</th> <th rowspan="2">金属複合板</th> </tr> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>幅(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>幅(mm)</th> </tr> <tr> <td>寸法の許容差</td> <td colspan="5">厚さ: +10%、-5%、幅: ±1%</td> </tr> <tr> <td>出荷時の含水率</td> <td colspan="5">出荷時において10%以下</td> </tr> <tr> <td>曲げ強さ・曲げモーメント(N・cm)</td> <td>標準時 550以上</td> <td>凍結融解完了時 400以上</td> <td>標準時 450以上</td> <td>凍結融解完了時 320以上</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>おける単位幅(1cmあたり)の曲げモーメント</td> <td>(300)</td> <td>(200)</td> <td>(300)</td> <td>(200)</td> <td>(300)</td> </tr> <tr> <td>吸水率(%)</td> <td>20以下</td> <td>20以下</td> <td>20以下</td> <td>20以下</td> <td>1以下</td> </tr> <tr> <td>吸水による長さ変化率(%)</td> <td>0.07以下</td> <td>0.07以下</td> <td>0.07以下</td> <td>0.07以下</td> <td>0.01以下</td> </tr> <tr> <td>耐凍性</td> <td>不燃</td> <td>不燃</td> <td>不燃</td> <td>不燃</td> <td>表面材は不燃</td> </tr> <tr> <td>耐凍融結性能</td> <td colspan="5">曲げ強さ、モーメント凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと</td> </tr> <tr> <td>耐衝撃性能</td> <td colspan="5">質量500g (高層系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の弱部に落とし、裏面に連する穴があかないこと。</td> </tr> <tr> <td>剛性(E×1)</td> <td colspan="5">残留変形量1/100以下かつ圧縮時の最大変形量4/100以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5">80,000N・cm以上</td> </tr> </table> <p>試験方法 1) 寸法の測定方法 (厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めパネルの厚さとする。 (幅) 供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所の幅寸法をJIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量が1mmの1級コンペックスルーラー又は、JIS B 7516「金属直尺」に規定する目量が1mmの1級直尺を用いて測定する。 2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ポード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の裏面からスパン中央全面に集中荷重を載し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融結試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目にわたって測定する。(高層系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。) 3) 吸水率試験は、JIS A 5400「繊維強化セメント」に準じて行う。 4) 耐凍性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の性能試験方法」に準じて行う。 5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅400×長さ1600×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち2時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム(試薬)」に規定する塩化カルシウム又はJIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調湿したデシケーターに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の標線間隔が140mmになるように標線を書き、その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線間の長さを測定し、それを基準(L1)とする。次に試験片の長さ方向を水平にこぼ立して、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、</p>	分類・規格	高層系パネルⅠ類 (寒冷地仕様)		高層系パネルⅡ類 (一般地仕様)		金属複合板	厚さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	幅(mm)	寸法の許容差	厚さ: +10%、-5%、幅: ±1%					出荷時の含水率	出荷時において10%以下					曲げ強さ・曲げモーメント(N・cm)	標準時 550以上	凍結融解完了時 400以上	標準時 450以上	凍結融解完了時 320以上	300以上	おける単位幅(1cmあたり)の曲げモーメント	(300)	(200)	(300)	(200)	(300)	吸水率(%)	20以下	20以下	20以下	20以下	1以下	吸水による長さ変化率(%)	0.07以下	0.07以下	0.07以下	0.07以下	0.01以下	耐凍性	不燃	不燃	不燃	不燃	表面材は不燃	耐凍融結性能	曲げ強さ、モーメント凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと					耐衝撃性能	質量500g (高層系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の弱部に落とし、裏面に連する穴があかないこと。					剛性(E×1)	残留変形量1/100以下かつ圧縮時の最大変形量4/100以下						80,000N・cm以上																																																																																																																																																																																																																																																				
		工法	種別	施工箇所	断熱材	G	保護層																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・P1E	・E-1				・設ける																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・P2E	※E-2				・設けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
分類・規格	高層系パネルⅠ類 (寒冷地仕様)		高層系パネルⅡ類 (一般地仕様)		金属複合板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	厚さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	幅(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
寸法の許容差	厚さ: +10%、-5%、幅: ±1%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
出荷時の含水率	出荷時において10%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
曲げ強さ・曲げモーメント(N・cm)	標準時 550以上	凍結融解完了時 400以上	標準時 450以上	凍結融解完了時 320以上	300以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
おける単位幅(1cmあたり)の曲げモーメント	(300)	(200)	(300)	(200)	(300)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
吸水率(%)	20以下	20以下	20以下	20以下	1以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
吸水による長さ変化率(%)	0.07以下	0.07以下	0.07以下	0.07以下	0.01以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
耐凍性	不燃	不燃	不燃	不燃	表面材は不燃																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
耐凍融結性能	曲げ強さ、モーメント凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
耐衝撃性能	質量500g (高層系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の弱部に落とし、裏面に連する穴があかないこと。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
剛性(E×1)	残留変形量1/100以下かつ圧縮時の最大変形量4/100以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	80,000N・cm以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
④	防水改修工事(共通事項)	<p>屋根保護防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>G</th> <th>保護層</th> </tr> <tr> <td>・P2A</td> <td>・A-1 ※A-2 ・A-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 又はフラット 押し ・れんが押え ヤーンクロス ※JIS R 1250 70g/㎡程度</td> </tr> <tr> <td>・P1B</td> <td>・B-1 ※B-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※フラットヤーンクロス ※JIS A 9521による押出 法ポリスチレンフォーム (70g/㎡程度)</td> </tr> <tr> <td>・P2A1</td> <td>・A1-1 ※A1-2 ・A1-3</td> <td>(材質) ※JIS A 9521による押出 法ポリスチレンフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P1B1</td> <td>・B1-1 ※B1-2</td> <td>断熱材3種(A: スキン等付き) 厚さ ※25mm・50mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.3.5及び表3.3.6による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.3.3及び表3.3.4による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm以上 床下タイル張り ※水上 60mm以上 ・乾式保護材 ・高層系パネル ※無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形し、オートクレープ養生したもの 金属複合板: 金属板と樹脂を積層一体化したもの。</p> <p>(品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">分類・規格</th> <th colspan="2">高層系パネルⅠ類 (寒冷地仕様)</th> <th colspan="2">高層系パネルⅡ類 (一般地仕様)</th> <th rowspan="2">金属複合板</th> </tr> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>幅(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>幅(mm)</th> </tr> <tr> <td>寸法の許容差</td> <td colspan="5">厚さ: +10%、-5%、幅: ±1%</td> </tr> <tr> <td>出荷時の含水率</td> <td colspan="5">出荷時において10%以下</td> </tr> <tr> <td>曲げ強さ・曲げモーメント(N・cm)</td> <td>標準時 550以上</td> <td>凍結融解完了時 400以上</td> <td>標準時 450以上</td> <td>凍結融解完了時 320以上</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>おける単位幅(1cmあたり)の曲げモーメント</td> <td>(300)</td> <td>(200)</td> <td>(300)</td> <td>(200)</td> <td>(300)</td> </tr> <tr> <td>吸水率(%)</td> <td>20以下</td> <td>20以下</td> <td>20以下</td> <td>20以下</td> <td>1以下</td> </tr> <tr> <td>吸水による長さ変化率(%)</td> <td>0.07以下</td> <td>0.07以下</td> <td>0.07以下</td> <td>0.07以下</td> <td>0.01以下</td> </tr> <tr> <td>耐凍性</td> <td>不燃</td> <td>不燃</td> <td>不燃</td> <td>不燃</td> <td>表面材は不燃</td> </tr> <tr> <td>耐凍融結性能</td> <td colspan="5">曲げ強さ、モーメント凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと</td> </tr> <tr> <td>耐衝撃性能</td> <td colspan="5">質量500g (高層系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の弱部に落とし、裏面に連する穴があかないこと。</td> </tr> <tr> <td>剛性(E×1)</td> <td colspan="5">残留変形量1/100以下かつ圧縮時の最大変形量4/100以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5">80,000N・cm以上</td> </tr> </table> <p>試験方法 1) 寸法の測定方法 (厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めパネルの厚さとする。 (幅) 供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所の幅寸法をJIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量が1mmの1級コンペックスルーラー又は、JIS B 7516「金属直尺」に規定する目量が1mmの1級直尺を用いて測定する。 2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ポード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の裏面からスパン中央全面に集中荷重を載し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融結試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目にわたって測定する。(高層系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。) 3) 吸水率試験は、JIS A 5400「繊維強化セメント」に準じて行う。 4) 耐凍性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の性能試験方法」に準じて行う。 5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅400×長さ1600×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち2時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム(試薬)」に規定する塩化カルシウム又はJIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調湿したデシケーターに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の標線間隔が140mmになるように標線を書き、その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線間の長さを測定し、それを基準(L1)とする。次に試験片の長さ方向を水平にこぼ立して、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、</p>	工法	種別	施工箇所	断熱材	G	保護層	・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3				※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 又はフラット 押し ・れんが押え ヤーンクロス ※JIS R 1250 70g/㎡程度	・P1B	・B-1 ※B-2				※フラットヤーンクロス ※JIS A 9521による押出 法ポリスチレンフォーム (70g/㎡程度)	・P2A1	・A1-1 ※A1-2 ・A1-3	(材質) ※JIS A 9521による押出 法ポリスチレンフォーム				・P1B1	・B1-1 ※B1-2	断熱材3種(A: スキン等付き) 厚さ ※25mm・50mm				分類・規格	高層系パネルⅠ類 (寒冷地仕様)		高層系パネルⅡ類 (一般地仕様)		金属複合板	厚さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	幅(mm)	寸法の許容差	厚さ: +10%、-5%、幅: ±1%					出荷時の含水率	出荷時において10%以下					曲げ強さ・曲げモーメント(N・cm)	標準時 550以上	凍結融解完了時 400以上	標準時 450以上	凍結融解完了時 320以上	300以上	おける単位幅(1cmあたり)の曲げモーメント	(300)	(200)	(300)	(200)	(300)	吸水率(%)	20以下	20以下	20以下	20以下	1以下	吸水による長さ変化率(%)	0.07以下	0.07以下	0.07以下	0.07以下	0.01以下	耐凍性	不燃	不燃	不燃	不燃	表面材は不燃	耐凍融結性能	曲げ強さ、モーメント凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと					耐衝撃性能	質量500g (高層系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の弱部に落とし、裏面に連する穴があかないこと。					剛性(E×1)	残留変形量1/100以下かつ圧縮時の最大変形量4/100以下						80,000N・cm以上					<p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.3.5及び表3.3.6による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.3.3及び表3.3.4による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm以上 床下タイル張り ※水上 60mm以上 ・乾式保護材 ・高層系パネル ※無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形し、オートクレープ養生したもの 金属複合板: 金属板と樹脂を積層一体化したもの。</p> <p>(品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">分類・規格</th> <th colspan="2">高層系パネルⅠ類 (寒冷地仕様)</th> <th colspan="2">高層系パネルⅡ類 (一般地仕様)</th> <th rowspan="2">金属複合板</th> </tr> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>幅(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>幅(mm)</th> </tr> <tr> <td>寸法の許容差</td> <td colspan="5">厚さ: +10%、-5%、幅: ±1%</td> </tr> <tr> <td>出荷時の含水率</td> <td colspan="5">出荷時において10%以下</td> </tr> <tr> <td>曲げ強さ・曲げモーメント(N・cm)</td> <td>標準時 550以上</td> <td>凍結融解完了時 400以上</td> <td>標準時 450以上</td> <td>凍結融解完了時 320以上</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>おける単位幅(1cmあたり)の曲げモーメント</td> <td>(300)</td> <td>(200)</td> <td>(300)</td> <td>(200)</td> <td>(300)</td> </tr> <tr> <td>吸水率(%)</td> <td>20以下</td> <td>20以下</td> <td>20以下</td> <td>20以下</td> <td>1以下</td> </tr> <tr> <td>吸水による長さ変化率(%)</td> <td>0.07以下</td> <td>0.07以下</td> <td>0.07以下</td> <td>0.07以下</td> <td>0.01以下</td> </tr> <tr> <td>耐凍性</td> <td>不燃</td> <td>不燃</td> <td>不燃</td> <td>不燃</td> <td>表面材は不燃</td> </tr> <tr> <td>耐凍融結性能</td> <td colspan="5">曲げ強さ、モーメント凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと</td> </tr> <tr> <td>耐衝撃性能</td> <td colspan="5">質量500g (高層系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の弱部に落とし、裏面に連する穴があかないこと。</td> </tr> <tr> <td>剛性(E×1)</td> <td colspan="5">残留変形量1/100以下かつ圧縮時の最大変形量4/100以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5">80,000N・cm以上</td> </tr> </table> <p>試験方法 1) 寸法の測定方法 (厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めパネルの厚さとする。 (幅) 供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所の幅寸法をJIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量が1mmの1級コンペックスルーラー又は、JIS B 7516「金属直尺」に規定する目量が1mmの1級直尺を用いて測定する。 2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ポード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の裏面からスパン中央全面に集中荷重を載し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融結試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目にわたって測定する。(高層系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。) 3) 吸水率試験は、JIS A 5400「繊維強化セメント」に準じて行う。 4) 耐凍性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の性能試験方法」に準じて行う。 5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅400×長さ1600×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち2時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム(試薬)」に規定する塩化カルシウム又はJIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調湿したデシケーターに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の標線間隔が140mmになるように標線を書き、その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線間の長さを測定し、それを基準(L1)とする。次に試験片の長さ方向を水平にこぼ立して、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、</p>	分類・規格	高層系パネルⅠ類 (寒冷地仕様)		高層系パネルⅡ類 (一般地仕様)		金属複合板	厚さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	幅(mm)	寸法の許容差	厚さ: +10%、-5%、幅: ±1%					出荷時の含水率	出荷時において10%以下					曲げ強さ・曲げモーメント(N・cm)	標準時 550以上	凍結融解完了時 400以上	標準時 450以上	凍結融解完了時 320以上	300以上	おける単位幅(1cmあたり)の曲げモーメント	(300)	(200)	(300)	(200)	(300)	吸水率(%)	20以下	20以下	20以下	20以下	1以下	吸水による長さ変化率(%)	0.07以下	0.07以下	0.07以下	0.07以下	0.01以下	耐凍性	不燃	不燃	不燃	不燃	表面材は不燃	耐凍融結性能	曲げ強さ、モーメント凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと					耐衝撃性能	質量500g (高層系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の弱部に落とし、裏面に連する穴があかないこと。					剛性(E×1)	残留変形量1/100以下かつ圧縮時の最大変形量4/100以下						80,000N・cm以上					<p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.3.5及び表3.3.6による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.3.3及び表3.3.4による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm以上 床下タイル張り ※水上 60mm以上 ・乾式保護材 ・高層系パネル ※無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形し、オートクレープ養生したもの 金属複合板: 金属板と樹脂を積層一体化したもの。</p> <p>(品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">分類・規格</th> <th colspan="2">高層系パネルⅠ類 (寒冷地仕様)</th> <th colspan="2">高層系パネルⅡ類 (一般地仕様)</th> <th rowspan="2">金属複合板</th> </tr> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>幅(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>幅(mm)</th> </tr> <tr> <td>寸法の許容差</td> <td colspan="5">厚さ: +10%、-5%、幅: ±1%</td> </tr> <tr> <td>出荷時の含水率</td> <td colspan="5">出荷時において10%以下</td> </tr> <tr> <td>曲げ強さ・曲げモーメント(N・cm)</td> <td>標準時 550以上</td> <td>凍結融解完了時 400以上</td> <td>標準時 450以上</td> <td>凍結融解完了時 320以上</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>おける単位幅(1cmあたり)の曲げモーメント</td> <td>(300)</td> <td>(200)</td> <td>(300)</td> <td>(200)</td> <td>(300)</td> </tr> <tr> <td>吸水率(%)</td> <td>20以下</td> <td>20以下</td> <td>20以下</td> <td>20以下</td> <td>1以下</td> </tr> <tr> <td>吸水による長さ変化率(%)</td> <td>0.07以下</td> <td>0.07以下</td> <td>0.07以下</td> <td>0.07以下</td> <td>0.01以下</td> </tr> <tr> <td>耐凍性</td> <td>不燃</td> <td>不燃</td> <td>不燃</td> <td>不燃</td> <td>表面材は不燃</td> </tr> <tr> <td>耐凍融結性能</td> <td colspan="5">曲げ強さ、モーメント凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと</td> </tr> <tr> <td>耐衝撃性能</td> <td colspan="5">質量500g (高層系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の弱部に落とし、裏面に連する穴があかないこと。</td> </tr> <tr> <td>剛性(E×1)</td> <td colspan="5">残留変形量1/100以下かつ圧縮時の最大変形量4/100以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5">80,000N・cm以上</td> </tr> </table> <p>試験方法 1) 寸法の測定方法 (厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めパネルの厚さとする。 (幅) 供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所の幅寸法をJIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量が1mmの1級コンペックスルーラー又は、JIS B 7516「金属直尺」に規定する目量が1mmの1級直尺を用いて測定する。 2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ポード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の裏面からスパン中央全面に集中荷重を載し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融結試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目にわたって測定する。(高層系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。) 3) 吸水率試験は、JIS A 5400「繊維強化セメント」に準じて行う。 4) 耐凍性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の性能試験方法」に準じて行う。 5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅400×長さ1600×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち2時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム(試薬)」に規定する塩化カルシウム又はJIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調湿したデシケーターに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の標線間隔が140mmになるように標線を書き、その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線間の長さを測定し、それを基準(L1)とする。次に試験片の長さ方向を水平にこぼ立して、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、</p>	分類・規格	高層系パネルⅠ類 (寒冷地仕様)		高層系パネルⅡ類 (一般地仕様)		金属複合板	厚さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	幅(mm)	寸法の許容差	厚さ: +10%、-5%、幅: ±1%					出荷時の含水率	出荷時において10%以下					曲げ強さ・曲げモーメント(N・cm)	標準時 550以上	凍結融解完了時 400以上	標準時 450以上	凍結融解完了時 320以上	300以上	おける単位幅(1cmあたり)の曲げモーメント	(300)	(200)	(300)	(200)	(300)	吸水率(%)	20以下	20以下	20以下	20以下	1以下	吸水による長さ変化率(%)	0.07以下	0.07以下	0.07以下	0.07以下	0.01以下	耐凍性	不燃	不燃	不燃	不燃	表面材は不燃	耐凍融結性能	曲げ強さ、モーメント凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと					耐衝撃性能	質量500g (高層系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の弱部に落とし、裏面に連する穴があかないこと。					剛性(E×1)	残留変形量1/100以下かつ圧縮時の最大変形量4/100以下						80,000N・cm以上					<p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.3.5及び表3.3.6による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.3.3及び表3.3.4による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm以上 床下タイル張り ※水上 60mm以上 ・乾式保護材 ・高層系パネル ※無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形し、オートクレープ養生したもの 金属複合板: 金属板と樹脂を積層一体化したもの。</p> <p>(品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">分類・規格</th> <th colspan="2">高層系パネルⅠ類 (寒冷地仕様)</th> <th colspan="2">高層系パネルⅡ類 (一般地仕様)</th> <th rowspan="2">金属複合板</th> </tr> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>幅(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>幅(mm)</th> </tr> <tr> <td>寸法の許容差</td> <td colspan="5">厚さ: +10%、-5%、幅: ±1%</td> </tr> <tr> <td>出荷時の含水率</td> <td colspan="5">出荷時において10%以下</td> </tr> <tr> <td>曲げ強さ・曲げモーメント(N・cm)</td> <td>標準時 550以上</td> <td>凍結融解完了時 400以上</td> <td>標準時 450以上</td> <td>凍結融解完了時 320以上</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>おける単位幅(1cmあたり)の曲げモーメント</td> <td>(300)</td> <td>(200)</td> <td>(300)</td> <td>(200)</td> <td>(300)</td> </tr> <tr> <td>吸水率(%)</td> <td>20以下</td> <td>20以下</td> <td>20以下</td> <td>20以下</td> <td>1以下</td> </tr> <tr> <td>吸水による長さ変化率(%)</td> <td>0.07以下</td> <td>0.07以下</td> <td>0.07以下</td> <td>0.07以下</td> <td>0.01以下</td> </tr> <tr> <td>耐凍性</td> <td>不燃</td> <td>不燃</td> <td>不燃</td> <td>不燃</td> <td>表面材は不燃</td> </tr> <tr> <td>耐凍融結性能</td> <td colspan="5">曲げ強さ、モーメント凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと</td> </tr> <tr> <td>耐衝撃性能</td> <td colspan="5">質量500g (高層系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の弱部に落とし、裏面に連する穴があかないこと。</td> </tr> <tr> <td>剛性(E×1)</td> <td colspan="5">残留変形量1/100以下かつ圧縮時の最大変形量4/100以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5">80,000N・cm以上</td> </tr> </table> <p>試験方法 1) 寸法の測定方法 (厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めパネルの厚さとする。 (幅) 供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所の幅寸法をJIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量が1mmの1級コンペックスルーラー又は、JIS B 7516「金属直尺」に規定する目量が1mmの1級直尺を用いて測定する。 2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ポード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の裏面からスパン中央全面に集中荷重を載し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融結試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目にわたって測定する。(高層系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。) 3) 吸水率試験は、JIS A 5400「繊維強化セメント」に準じて行う。 4) 耐凍性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の性能試験方法」に準じて行う。 5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅400×長さ1600×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち2時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム(試薬)」に規定する塩化カルシウム又はJIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調湿したデシケーターに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の標線間隔が140mmになるように標線を書き、その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線間の長さを測定し、それを基準(L1)とする。次に試験片の長さ方向を水平にこぼ立して、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、</p>	分類・規格	高層系パネルⅠ類 (寒冷地仕様)		高層系パネルⅡ類 (一般地仕様)		金属複合板	厚さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	幅(mm)	寸法の許容差	厚さ: +10%、-5%、幅: ±1%					出荷時の含水率	出荷時において10%以下					曲げ強さ・曲げモーメント(N・cm)	標準時 550以上	凍結融解完了時 400以上	標準時 450以上	凍結融解完了時 320以上	300以上	おける単位幅(1cmあたり)の曲げモーメント	(300)	(200)	(300)	(200)	(300)	吸水率(%)	20以下	20以下	20以下	20以下	1以下	吸水による長さ変化率(%)	0.07以下	0.07以下	0.07以下	0.07以下	0.01以下	耐凍性	不燃	不燃	不燃	不燃	表面材は不燃	耐凍融結性能	曲げ強さ、モーメント凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと					耐衝撃性能	質量500g (高層系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の弱部に落とし、裏面に連する穴があかないこと。					剛性(E×1)	残留変形量1/100以下かつ圧縮時の最大変形量4/100以下						80,000N・cm以上				
工法	種別	施工箇所	断熱材	G	保護層																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3				※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 又はフラット 押し ・れんが押え ヤーンクロス ※JIS R 1250 70g/㎡程度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・P1B	・B-1 ※B-2				※フラットヤーンクロス ※JIS A 9521による押出 法ポリスチレンフォーム (70g/㎡程度)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・P2A1	・A1-1 ※A1-2 ・A1-3	(材質) ※JIS A 9521による押出 法ポリスチレンフォーム																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・P1B1	・B1-1 ※B1-2	断熱材3種(A: スキン等付き) 厚さ ※25mm・50mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
分類・規格	高層系パネルⅠ類 (寒冷地仕様)		高層系パネルⅡ類 (一般地仕様)		金属複合板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	厚さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	幅(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
寸法の許容差	厚さ: +10%、-5%、幅: ±1%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
出荷時の含水率	出荷時において10%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
曲げ強さ・曲げモーメント(N・cm)	標準時 550以上	凍結融解完了時 400以上	標準時 450以上	凍結融解完了時 320以上	300以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
おける単位幅(1cmあたり)の曲げモーメント	(300)	(200)	(300)	(200)	(300)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
吸水率(%)	20以下	20以下	20以下	20以下	1以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
吸水による長さ変化率(%)	0.07以下	0.07以下	0.07以下	0.07以下	0.01以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
耐凍性	不燃	不燃	不燃	不燃	表面材は不燃																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
耐凍融結性能	曲げ強さ、モーメント凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
耐衝撃性能	質量500g (高層系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の弱部に落とし、裏面に連する穴があかないこと。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
剛性(E×1)	残留変形量1/100以下かつ圧縮時の最大変形量4/100以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	80,000N・cm以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
分類・規格	高層系パネルⅠ類 (寒冷地仕様)		高層系パネルⅡ類 (一般地仕様)		金属複合板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	厚さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	幅(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
寸法の許容差	厚さ: +10%、-5%、幅: ±1%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
出荷時の含水率	出荷時において10%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
曲げ強さ・曲げモーメント(N・cm)	標準時 550以上	凍結融解完了時 400以上	標準時 450以上	凍結融解完了時 320以上	300以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
おける単位幅(1cmあたり)の曲げモーメント	(300)	(200)	(300)	(200)	(300)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
吸水率(%)	20以下	20以下	20以下	20以下	1以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
吸水による長さ変化率(%)	0.07以下	0.07以下	0.07以下	0.07以下	0.01以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
耐凍性	不燃	不燃	不燃	不燃	表面材は不燃																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
耐凍融結性能	曲げ強さ、モーメント凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
耐衝撃性能	質量500g (高層系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の弱部に落とし、裏面に連する穴があかないこと。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
剛性(E×1)	残留変形量1/100以下かつ圧縮時の最大変形量4/100以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	80,000N・cm以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
分類・規格	高層系パネルⅠ類 (寒冷地仕様)		高層系パネルⅡ類 (一般地仕様)		金属複合板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	厚さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	幅(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
寸法の許容差	厚さ: +10%、-5%、幅: ±1%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
出荷時の含水率	出荷時において10%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
曲げ強さ・曲げモーメント(N・cm)	標準時 550以上	凍結融解完了時 400以上	標準時 450以上	凍結融解完了時 320以上	300以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
おける単位幅(1cmあたり)の曲げモーメント	(300)	(200)	(300)	(200)	(300)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
吸水率(%)	20以下	20以下	20以下	20以下	1以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
吸水による長さ変化率(%)	0.07以下	0.07以下	0.07以下	0.07以下	0.01以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
耐凍性	不燃	不燃	不燃	不燃	表面材は不燃																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
耐凍融結性能	曲げ強さ、モーメント凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
耐衝撃性能	質量500g (高層系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の弱部に落とし、裏面に連する穴があかないこと。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
剛性(E×1)	残留変形量1/100以下かつ圧縮時の最大変形量4/100以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	80,000N・cm以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
分類・規格	高層系パネルⅠ類 (寒冷地仕様)		高層系パネルⅡ類 (一般地仕様)		金属複合板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	厚さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	幅(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
寸法の許容差	厚さ: +10%、-5%、幅: ±1%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
出荷時の含水率	出荷時において10%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
曲げ強さ・曲げモーメント(N・cm)	標準時 550以上	凍結融解完了時 400以上	標準時 450以上	凍結融解完了時 320以上	300以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
おける単位幅(1cmあたり)の曲げモーメント	(300)	(200)	(300)	(200)	(300)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
吸水率(%)	20以下	20以下	20以下	20以下	1以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
吸水による長さ変化率(%)	0.07以下	0.07以下	0.07以下	0.07以下	0.01以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
耐凍性	不燃	不燃	不燃	不燃	表面材は不燃																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
耐凍融結性能	曲げ強さ、モーメント凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
耐衝撃性能	質量500g (高層系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の弱部に落とし、裏面に連する穴があかないこと。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
剛性(E×1)	残留変形量1/100以下かつ圧縮時の最大変形量4/100以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	80,000N・cm以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		

Table with 2 columns: Item No. (1-7) and Description. Item 1: External wall repair of concrete. Item 2: External wall repair of masonry. Item 3: External wall repair of plaster. Item 4: External wall repair of tiles. Item 5: External wall repair of metal cladding. Item 6: External wall repair of waterproofing. Item 7: External wall repair of metal mesh.

Table with 2 columns: Item No. (1-4) and Description. Item 1: External wall repair of concrete. Item 2: External wall repair of masonry. Item 3: External wall repair of plaster. Item 4: External wall repair of tiles.

Table with 2 columns: Item No. (1-6) and Description. Item 1: External wall repair of concrete. Item 2: External wall repair of masonry. Item 3: External wall repair of plaster. Item 4: External wall repair of tiles. Item 5: External wall repair of metal cladding. Item 6: External wall repair of metal mesh.

Construction drawings including: 1. External wall repair flow and quantity (外壁改修フロー及び数量). 2. Material specifications table (表 1). 3. Construction details (1) to (6) showing cross-sections of wall repairs.

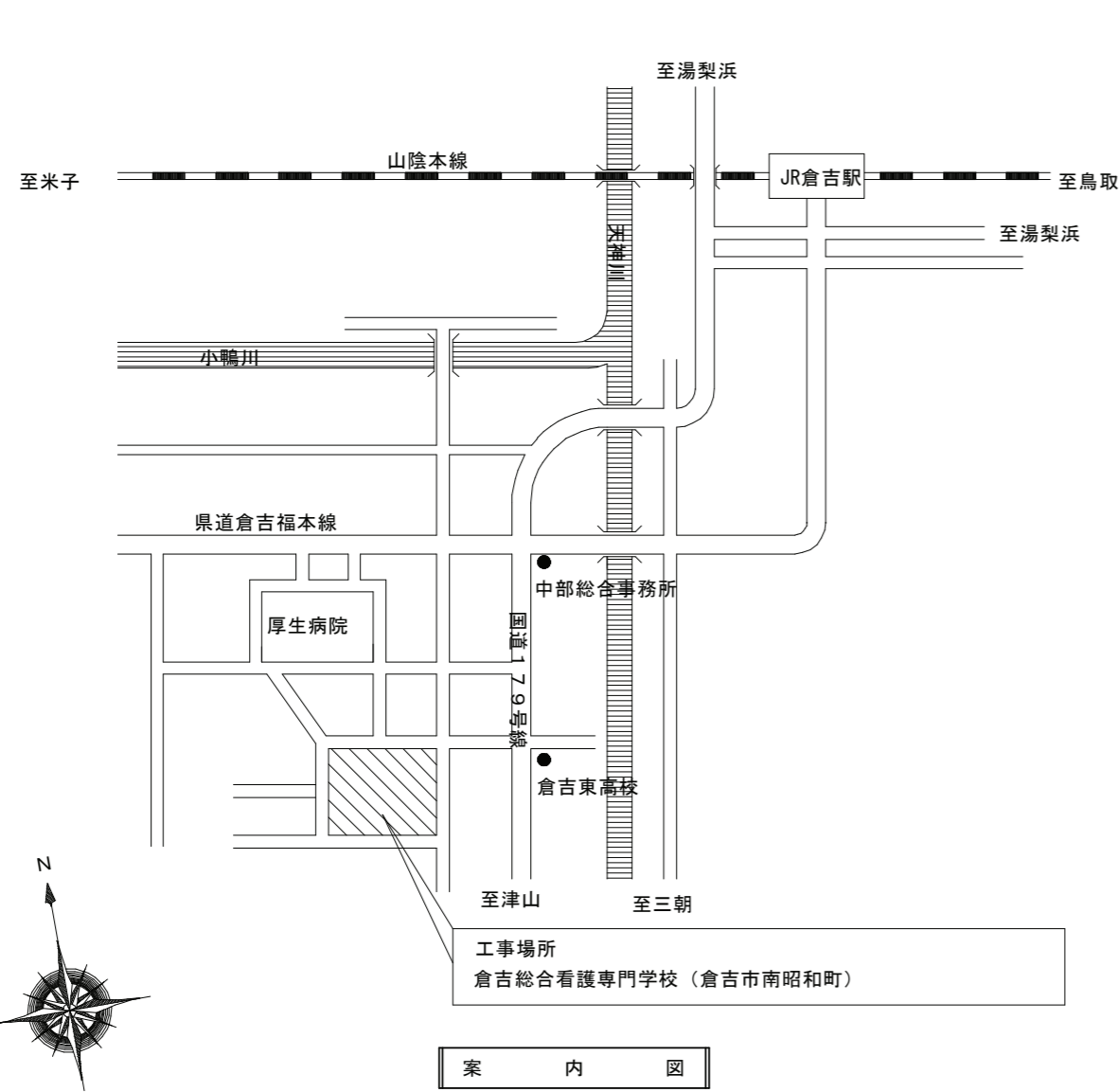




MEMO	25	セルフレベリング 材料塗り [6. 17. 2. 3]	<p>その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。</p> <p>試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。</p> $\text{保水率} = 50 / \text{平均値} \times 100 \quad (\text{注}) \quad 50: \text{リング型わくの径} \quad \text{mm}$	<p>③ 錆止め塗料塗り [7. 4. 2. 3]</p>	<p>④ 仕上げ塗料塗り [7. 5. 2-7. 12. 2]</p>	<p>8-1 耐震改修工事 共通事項</p>	<p>8-1 鉄筋の種類 [8. 2. 1]</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">表8. 2. 1</th> </tr> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※SD295</td> <td>※D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※SD345</td> <td>※D19以上</td> <td></td> </tr> </table>	表8. 2. 1			種類の記号	呼び名	備考	※SD295	※D16以下		※SD345	※D19以上		<p>8-2 溶接金網 [8. 2. 2]</p> <table border="1"> <tr> <th>形状等</th> <th>種類の記号</th> <th>網目寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>使用箇所</th> </tr> <tr> <td>・溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	形状等	種類の記号	網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用箇所	・溶接金網				・鉄筋格子				<p>8-3 鉄筋の継手 [8. 3. 4]</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">継手の方法等</th> </tr> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び名</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>※ガス圧接 (D19以上) ・機械式継手 ・溶接継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>※重ね継手 (D16以下) ・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋</td> <td>※重ね継手 (D16以下)</td> <td></td> </tr> </table>	継手の方法等			部位	継手方法	呼び名	柱、梁の主筋	※ガス圧接 (D19以上) ・機械式継手 ・溶接継手		耐力壁の鉄筋	※重ね継手 (D16以下) ・		その他の鉄筋	※重ね継手 (D16以下)		<p>8-4 鉄筋の定着長さ [8. 3. 4]</p> <p>※改修標準仕様書8. 3. 4.(5)、(6)による ・構造図による 機械式定着工法 ・適用する 適用箇所 ・図示による ( ) 種類: ・摩擦圧接合 ・嵌合グラウト固定 ・嵌合グラウト固定 工法: ※第三者機関の評定等取得している工法とする 必要定着長さ: ※評定等の評価内容による 補強筋形状法: ※評定等の評価内容による かぶり厚さ: ※評定等の評価内容による 品質確認: ※評定等の評価内容による 検査: ※評定等の評価内容による</p>	<p>8-5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網を含む) [8. 3. 5]</p> <p>最小かぶり厚さ (自他よりかぶりを確保する) ※改修標準仕様書 表8. 3. 6による</p> <p>・軽量コンクリートを使用する場合 適用箇所 ( ) ・最小かぶり厚さに加える厚さ ( ) mm ・耐久性上不利な場所がある場合 (塩害を受けるおそれのある部分等) 適用箇所 ( ) ・最小かぶり厚さに加える厚さ ( ) mm</p>	<p>8-6 圧接完了後の試験 [8. 3. 8]</p> <p>外観試験 ※行う (全数) 接取試験 ※超音波探傷試験</p>	<p>8-7 特殊な鉄筋継手 [8. 4. 2-3] [5. 5. 5] [5. 6. 5]</p> <p>・機械式継手 適用箇所 ※構造図による H12建色第1463号に適合する性能 ・A級 ・ ( ) 種類 ・ねじ鉄筋継手 充填方式 ・無機グラウト式 ・有機グラウト式 ・端部ねじ加工継手 ・モルタル充填式継手 ・ 工法: ※第三者機関の評定等取得している工法 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、サイズ200箇所程度とする ・全数 試験項目 ※挿入長さ ※JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準) による 不合格となった場合の措置 ・</p>	<p>8-8 鉄筋の製作工場 [8. 1. 5] [7. 1. 3]</p> <p>試験対象 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、サイズ200箇所程度とする ・全数 試験項目 ※挿入長さ ※JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準) による 不合格となった場合の措置 ・</p>	<p>8-9 コンクリートの種類 [8. 1. 3. 4] (6. 2. 1~4)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="4">表8. 1. 1</th> </tr> <tr> <th>設計基準強度 F<sub>c</sub> (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>気乾単位 容積質量 (t/m<sup>3</sup>)</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>適用場所</th> </tr> <tr> <td>・24</td> <td>2. 3程度</td> <td>※15</td> <td>・基礎 ・基礎梁 ・土間スラブ</td> </tr> <tr> <td>・ ( )</td> <td></td> <td>※18</td> <td>・土間コンクリート</td> </tr> <tr> <td>・18</td> <td>2. 3程度</td> <td>※15</td> <td>・ ( ) ・建物躯体 (上記除く)</td> </tr> </table>	表8. 1. 1				設計基準強度 F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位 容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	スランプ (cm)	適用場所	・24	2. 3程度	※15	・基礎 ・基礎梁 ・土間スラブ	・ ( )		※18	・土間コンクリート	・18	2. 3程度	※15	・ ( ) ・建物躯体 (上記除く)	<p>8-10 レディミキスト コンクリート [8. 1. 3]</p> <p>※1類 (JIS A 5308「レディミキストコンクリートへの適合を認証されたコンクリート」) ・Ⅱ類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)</p>	<p>8-11 セメントの種類 [8. 2. 5]</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">表8. 2. 3</th> </tr> <tr> <th>セメントの種類</th> <th>使用部位</th> </tr> <tr> <td>※普通ポルトランドセメント又は 混合セメントの種類 ・高炉セメントⅡ種 [G] ・フライアッシュセメントⅡ種 [G]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水和熱</td> <td>7日目 35J/g以下 28日目 402J/g以下</td> </tr> </table>	表8. 2. 3		セメントの種類	使用部位	※普通ポルトランドセメント又は 混合セメントの種類 ・高炉セメントⅡ種 [G] ・フライアッシュセメントⅡ種 [G]		普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く		水和熱	7日目 35J/g以下 28日目 402J/g以下	<p>8-12 骨材の種類 [8. 2. 5]</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B (※コンクリート中のアルカリ総量 Rt=3. 0kg/m<sup>3</sup> 以下)</p>	<p>8-13 混和剤 [8. 2. 5]</p> <p>・混和剤 混和剤の種類 ※改修標準仕様書8. 2. 5(4)(a)による ・ ( ) ・混和剤 混和剤の種類 ※改修標準仕様書8. 2. 5(4)(b)による ・ ( )</p>	<p>8-14 構造体用モルタル [8. 2. 6]</p> <p>圧縮強度 ( ) フロー値 ( )</p>	<p>8-15 無筋コンクリート [8. 2. 5] [8. 11. 1] (6. 14. 1)</p> <p>コンクリートの種類 ※普通コンクリート ・ ( ) 適用箇所 ※構造図による 設計基準強度F<sub>c</sub> (N/mm<sup>2</sup>) ※18 ・ ( ) スランプ (cm) ※15又は18 ・ ( ) セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントⅡ種、フライアッシュセメントⅡ種 ・高炉セメントⅡ種 [G] ・フライアッシュセメントⅡ種 [G]</p>	<p>8-16 ひび割れ試験目地 打継目地 [6. 6. 4] (6. 8. 1) (9. 7. 3)</p> <p>※構造図による 位置 ※構造図による ひび割れ試験目地、打継目地の深さ寸法は、打増し厚さ部で処理する</p>	<p>8-17 コンクリートの仕上げ [8. 1. 4] [8. 2. 7]</p> <p>合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ 種類 ・A種 ・B種 ・C種</p>	<p>8-18 打増し厚さ [8. 7. 8]</p> <p>・打直し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ・20mm ・ ( ) ・打直し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・ ( ) ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm ・床型特用鋼製デッキプレート (梁側面部の打増し処理 プレートが支持される梁の側面について下記のとおり打増しを行う ・10mm ・20mm ・ ( )</p>	<p>8-19 型枠 [8. 2. 7] [6. 8. 3]</p> <p>せき板の材料及び厚さ ※合板 (※12mm) [G]但し、グリーン購入法基本方針における「合板型枠」 の備考3の表示のある合板型枠を用いる場合に限る コンクリート及びグラウト打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する 場合は、強度、変形等について、事前に監督職員と協議すること ・メッシュ型枠 (使用目的: ※構造図による) ・床型特用鋼製デッキプレート (使用範囲: ※構造図による) スリーパ材の材質・規格等 ※構造図による 断熱材使用型枠 使用箇所 ※構造図による</p>	<p>8-20 型枠の加工及び部位 [8. 7. 8]</p> <p>・シアコネクタをセパレータとして使用 適用箇所 ※構造図による</p>	<p>8-21 コンクリートの 打込み工法等 [8. 21. 8] [8. 23. 5]</p> <p>現場打ちコンクリート壁の増設工事 ・流込み工法 (・全て ・構造図による) ・圧入工法 (・全て ・構造図による) 鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法 ・流込み工法 (・全て ・構造図による) ・圧入工法 (・全て ・構造図による)</p>	<p>8-22 鉄骨の製作工場 [8. 1. 5] [7. 1. 3]</p> <p>製作工場の加工能力 ※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた (株) 日本鉄骨評価センター及び(株) 全国鉄骨評価機構(旧) 全国鋼構工業協会の 「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「( ) グレード」として国土交通大臣から認定 を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・監督職員の承諾する製作工場 (標準仕様書7. 1. 1以外の適用範囲に限る)</p>	<p>8-23 施工管理技術者 [8. 1. 6]</p> <p>※配置する ・配置しない</p>	<p>8-24 鋼材 [8. 2. 8]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類等</th> <th colspan="2">表8. 2. 8</th> </tr> <tr> <th>種類の記号</th> <th>使用箇所</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による</td> </tr> </table>	種類等	表8. 2. 8		種類の記号	使用箇所	規格等			※JIS規格による			※JIS規格による	<p>8-25 高力ボルト [8. 2. 9] [8. 13. 2] [8. 13. 8] [8. 14. 2]</p> <p>高力ボルト区分 ※トルシリアル高力ボルト 2種 (S10T) ・ JIS高力ボルト 2種 (F10T) ・ ( ) 高力ボルトの径 ※構造図による ボルトの繰込み距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造図による 摩擦面の処理方法等 ※ブラスト処理 (表面粗度50 μmR<sub>2</sub>以上) 又はりん酸処理 ・構造図による すべり試験の実施 ※すべり係数試験 ・すべり耐力試験 試験方法等 ※構造図による すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8. 14. 2(1)(7)又は(4)による摩擦面の確認 本試験で作成した対比試験片で行うこと</p>			
							表8. 2. 1																																																																																																												
種類の記号	呼び名	備考																																																																																																																	
※SD295	※D16以下																																																																																																																		
※SD345	※D19以上																																																																																																																		
形状等	種類の記号	網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用箇所																																																																																																																
・溶接金網																																																																																																																			
・鉄筋格子																																																																																																																			
継手の方法等																																																																																																																			
部位	継手方法	呼び名																																																																																																																	
柱、梁の主筋	※ガス圧接 (D19以上) ・機械式継手 ・溶接継手																																																																																																																		
耐力壁の鉄筋	※重ね継手 (D16以下) ・																																																																																																																		
その他の鉄筋	※重ね継手 (D16以下)																																																																																																																		
表8. 1. 1																																																																																																																			
設計基準強度 F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位 容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	スランプ (cm)	適用場所																																																																																																																
・24	2. 3程度	※15	・基礎 ・基礎梁 ・土間スラブ																																																																																																																
・ ( )		※18	・土間コンクリート																																																																																																																
・18	2. 3程度	※15	・ ( ) ・建物躯体 (上記除く)																																																																																																																
表8. 2. 3																																																																																																																			
セメントの種類	使用部位																																																																																																																		
※普通ポルトランドセメント又は 混合セメントの種類 ・高炉セメントⅡ種 [G] ・フライアッシュセメントⅡ種 [G]																																																																																																																			
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く																																																																																																																			
水和熱	7日目 35J/g以下 28日目 402J/g以下																																																																																																																		
種類等	表8. 2. 8																																																																																																																		
種類の記号	使用箇所	規格等																																																																																																																	
		※JIS規格による																																																																																																																	
		※JIS規格による																																																																																																																	
7	①	1	材料 [7. 1. 3]	<p>屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ 防火材料 ※内側の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする ( )</p>	<p>8-26 下地調整 [7. 2. 1~7]</p> <p>塗替え塗料がR12種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す</p>	<p>8-27 耐震改修工事</p>	<p>8-28 下地調整、素地ごしらえ</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="4">表8. 2. 1</th> </tr> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名</th> <th>備考</th> <th></th> </tr> <tr> <td>※SD295</td> <td>※D16以下</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※SD345</td> <td>※D19以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	表8. 2. 1				種類の記号	呼び名	備考		※SD295	※D16以下			※SD345	※D19以上			<p>8-29 溶接金網 [8. 2. 2]</p> <table border="1"> <tr> <th>形状等</th> <th>種類の記号</th> <th>網目寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>使用箇所</th> </tr> <tr> <td>・溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	形状等	種類の記号	網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用箇所	・溶接金網				・鉄筋格子				<p>8-30 鉄筋の継手 [8. 3. 4]</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">継手の方法等</th> </tr> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び名</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>※ガス圧接 (D19以上) ・機械式継手 ・溶接継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>※重ね継手 (D16以下) ・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋</td> <td>※重ね継手 (D16以下)</td> <td></td> </tr> </table>	継手の方法等			部位	継手方法	呼び名	柱、梁の主筋	※ガス圧接 (D19以上) ・機械式継手 ・溶接継手		耐力壁の鉄筋	※重ね継手 (D16以下) ・		その他の鉄筋	※重ね継手 (D16以下)		<p>8-31 鉄筋の定着長さ [8. 3. 4]</p> <p>※改修標準仕様書8. 3. 4.(5)、(6)による ・構造図による 機械式定着工法 ・適用する 適用箇所 ・図示による ( ) 種類: ・摩擦圧接合 ・嵌合グラウト固定 ・嵌合グラウト固定 工法: ※第三者機関の評定等取得している工法とする 必要定着長さ: ※評定等の評価内容による 補強筋形状法: ※評定等の評価内容による かぶり厚さ: ※評定等の評価内容による 品質確認: ※評定等の評価内容による 検査: ※評定等の評価内容による</p>	<p>8-32 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網を含む) [8. 3. 5]</p> <p>最小かぶり厚さ (自他よりかぶりを確保する) ※改修標準仕様書 表8. 3. 6による</p> <p>・軽量コンクリートを使用する場合 適用箇所 ( ) ・最小かぶり厚さに加える厚さ ( ) mm ・耐久性上不利な場所がある場合 (塩害を受けるおそれのある部分等) 適用箇所 ( ) ・最小かぶり厚さに加える厚さ ( ) mm</p>	<p>8-33 圧接完了後の試験 [8. 3. 8]</p> <p>外観試験 ※行う (全数) 接取試験 ※超音波探傷試験</p>	<p>8-34 特殊な鉄筋継手 [8. 4. 2-3] [5. 5. 5] [5. 6. 5]</p> <p>・機械式継手 適用箇所 ※構造図による H12建色第1463号に適合する性能 ・A級 ・ ( ) 種類 ・ねじ鉄筋継手 充填方式 ・無機グラウト式 ・有機グラウト式 ・端部ねじ加工継手 ・モルタル充填式継手 ・ 工法: ※第三者機関の評定等取得している工法 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、サイズ200箇所程度とする ・全数 試験項目 ※挿入長さ ※JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準) による 不合格となった場合の措置 ・</p>	<p>8-35 コンクリートの種類 [8. 1. 3. 4] (6. 2. 1~4)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="4">表8. 1. 1</th> </tr> <tr> <th>設計基準強度 F<sub>c</sub> (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>気乾単位 容積質量 (t/m<sup>3</sup>)</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>適用場所</th> </tr> <tr> <td>・24</td> <td>2. 3程度</td> <td>※15</td> <td>・基礎 ・基礎梁 ・土間スラブ</td> </tr> <tr> <td>・ ( )</td> <td></td> <td>※18</td> <td>・土間コンクリート</td> </tr> <tr> <td>・18</td> <td>2. 3程度</td> <td>※15</td> <td>・ ( ) ・建物躯体 (上記除く)</td> </tr> </table>	表8. 1. 1				設計基準強度 F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位 容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	スランプ (cm)	適用場所	・24	2. 3程度	※15	・基礎 ・基礎梁 ・土間スラブ	・ ( )		※18	・土間コンクリート	・18	2. 3程度	※15	・ ( ) ・建物躯体 (上記除く)	<p>8-36 レディミキスト コンクリート [8. 1. 3]</p> <p>※1類 (JIS A 5308「レディミキストコンクリートへの適合を認証されたコンクリート」) ・Ⅱ類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)</p>	<p>8-37 セメントの種類 [8. 2. 5]</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">表8. 2. 3</th> </tr> <tr> <th>セメントの種類</th> <th>使用部位</th> </tr> <tr> <td>※普通ポルトランドセメント又は 混合セメントの種類 ・高炉セメントⅡ種 [G] ・フライアッシュセメントⅡ種 [G]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水和熱</td> <td>7日目 35J/g以下 28日目 402J/g以下</td> </tr> </table>	表8. 2. 3		セメントの種類	使用部位	※普通ポルトランドセメント又は 混合セメントの種類 ・高炉セメントⅡ種 [G] ・フライアッシュセメントⅡ種 [G]		普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く		水和熱	7日目 35J/g以下 28日目 402J/g以下	<p>8-38 骨材の種類 [8. 2. 5]</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B (※コンクリート中のアルカリ総量 Rt=3. 0kg/m<sup>3</sup> 以下)</p>	<p>8-39 混和剤 [8. 2. 5]</p> <p>・混和剤 混和剤の種類 ※改修標準仕様書8. 2. 5(4)(a)による ・ ( ) ・混和剤 混和剤の種類 ※改修標準仕様書8. 2. 5(4)(b)による ・ ( )</p>	<p>8-40 構造体用モルタル [8. 2. 6]</p> <p>圧縮強度 ( ) フロー値 ( )</p>	<p>8-41 無筋コンクリート [8. 2. 5] [8. 11. 1] (6. 14. 1)</p> <p>コンクリートの種類 ※普通コンクリート ・ ( ) 適用箇所 ※構造図による 設計基準強度F<sub>c</sub> (N/mm<sup>2</sup>) ※18 ・ ( ) スランプ (cm) ※15又は18 ・ ( ) セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントⅡ種、フライアッシュセメントⅡ種 ・高炉セメントⅡ種 [G] ・フライアッシュセメントⅡ種 [G]</p>	<p>8-42 ひび割れ試験目地 打継目地 [6. 6. 4] (6. 8. 1) (9. 7. 3)</p> <p>※構造図による 位置 ※構造図による ひび割れ試験目地、打継目地の深さ寸法は、打増し厚さ部で処理する</p>	<p>8-43 コンクリートの仕上げ [8. 1. 4] [8. 2. 7]</p> <p>合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ 種類 ・A種 ・B種 ・C種</p>	<p>8-44 打増し厚さ [8. 7. 8]</p> <p>・打直し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ・20mm ・ ( ) ・打直し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・ ( ) ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm ・床型特用鋼製デッキプレート (梁側面部の打増し処理 プレートが支持される梁の側面について下記のとおり打増しを行う ・10mm ・20mm ・ ( )</p>	<p>8-45 型枠 [8. 2. 7] [6. 8. 3]</p> <p>せき板の材料及び厚さ ※合板 (※12mm) [G]但し、グリーン購入法基本方針における「合板型枠」 の備考3の表示のある合板型枠を用いる場合に限る コンクリート及びグラウト打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する 場合は、強度、変形等について、事前に監督職員と協議すること ・メッシュ型枠 (使用目的: ※構造図による) ・床型特用鋼製デッキプレート (使用範囲: ※構造図による) スリーパ材の材質・規格等 ※構造図による 断熱材使用型枠 使用箇所 ※構造図による</p>	<p>8-46 型枠の加工及び部位 [8. 7. 8]</p> <p>・シアコネクタをセパレータとして使用 適用箇所 ※構造図による</p>	<p>8-47 コンクリートの 打込み工法等 [8. 21. 8] [8. 23. 5]</p> <p>現場打ちコンクリート壁の増設工事 ・流込み工法 (・全て ・構造図による) ・圧入工法 (・全て ・構造図による) 鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法 ・流込み工法 (・全て ・構造図による) ・圧入工法 (・全て ・構造図による)</p>	<p>8-48 鉄骨の製作工場 [8. 1. 5] [7. 1. 3]</p> <p>製作工場の加工能力 ※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた (株) 日本鉄骨評価センター及び(株) 全国鉄骨評価機構(旧) 全国鋼構工業協会の 「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「( ) グレード」として国土交通大臣から認定 を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・監督職員の承諾する製作工場 (標準仕様書7. 1. 1以外の適用範囲に限る)</p>	<p>8-49 施工管理技術者 [8. 1. 6]</p> <p>※配置する ・配置しない</p>	<p>8-50 鋼材 [8. 2. 8]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類等</th> <th colspan="2">表8. 2. 8</th> </tr> <tr> <th>種類の記号</th> <th>使用箇所</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による</td> </tr> </table>	種類等	表8. 2. 8		種類の記号	使用箇所	規格等			※JIS規格による			※JIS規格による	<p>8-51 高力ボルト [8. 2. 9] [8. 13. 2] [8. 13. 8] [8. 14. 2]</p> <p>高力ボルト区分 ※トルシリアル高力ボルト 2種 (S10T) ・ JIS高力ボルト 2種 (F10T) ・ ( ) 高力ボルトの径 ※構造図による ボルトの繰込み距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造図による 摩擦面の処理方法等 ※ブラスト処理 (表面粗度50 μmR<sub>2</sub>以上) 又はりん酸処理 ・構造図による すべり試験の実施 ※すべり係数試験 ・すべり耐力試験 試験方法等 ※構造図による すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8. 14. 2(1)(7)又は(4)による摩擦面の確認 本試験で作成した対比試験片で行うこと</p>
表8. 2. 1																																																																																																																			
種類の記号	呼び名	備考																																																																																																																	
※SD295	※D16以下																																																																																																																		
※SD345	※D19以上																																																																																																																		
形状等	種類の記号	網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用箇所																																																																																																																
・溶接金網																																																																																																																			
・鉄筋格子																																																																																																																			
継手の方法等																																																																																																																			
部位	継手方法	呼び名																																																																																																																	
柱、梁の主筋	※ガス圧接 (D19以上) ・機械式継手 ・溶接継手																																																																																																																		
耐力壁の鉄筋	※重ね継手 (D16以下) ・																																																																																																																		
その他の鉄筋	※重ね継手 (D16以下)																																																																																																																		
表8. 1. 1																																																																																																																			
設計基準強度 F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位 容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	スランプ (cm)	適用場所																																																																																																																
・24	2. 3程度	※15	・基礎 ・基礎梁 ・土間スラブ																																																																																																																
・ ( )		※18	・土間コンクリート																																																																																																																
・18	2. 3程度	※15	・ ( ) ・建物躯体 (上記除く)																																																																																																																
表8. 2. 3																																																																																																																			
セメントの種類	使用部位																																																																																																																		
※普通ポルトランドセメント又は 混合セメントの種類 ・高炉セメントⅡ種 [G] ・フライアッシュセメントⅡ種 [G]																																																																																																																			
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く																																																																																																																			
水和熱	7日目 35J/g以下 28日目 402J/g以下																																																																																																																		
種類等	表8. 2. 8																																																																																																																		
種類の記号	使用箇所	規格等																																																																																																																	
		※JIS規格による																																																																																																																	
		※JIS規格による																																																																																																																	
7	②	1	材料 [7. 1. 3]	<p>屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ 防火材料 ※内側の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする ( )</p>	<p>8-52 下地調整 [7. 2. 1~7]</p> <p>塗替え塗料がR12種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す</p>	<p>8-53 耐震改修工事</p>	<p>8-54 下地調整、素地ごしらえ</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="4">表8. 2. 1</th> </tr> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名</th> <th>備考</th> <th></th> </tr> <tr> <td>※SD295</td> <td>※D16以下</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※SD345</td> <td>※D19以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	表8. 2. 1				種類の記号	呼び名	備考		※SD295	※D16以下			※SD345	※D19以上			<p>8-55 溶接金網 [8. 2. 2]</p> <table border="1"> <tr> <th>形状等</th> <th>種類の記号</th> <th>網目寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>使用箇所</th> </tr> <tr> <td>・溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	形状等	種類の記号	網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用箇所	・溶接金網				・鉄筋格子				<p>8-56 鉄筋の継手 [8. 3. 4]</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">継手の方法等</th> </tr> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び名</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>※ガス圧接 (D19以上) ・機械式継手 ・溶接継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>※重ね継手 (D16以下) ・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋</td> <td>※重ね継手 (D16以下)</td> <td></td> </tr> </table>	継手の方法等			部位	継手方法	呼び名	柱、梁の主筋	※ガス圧接 (D19以上) ・機械式継手 ・溶接継手		耐力壁の鉄筋	※重ね継手 (D16以下) ・		その他の鉄筋	※重ね継手 (D16以下)		<p>8-57 鉄筋の定着長さ [8. 3. 4]</p> <p>※改修標準仕様書8. 3. 4.(5)、(6)による ・構造図による 機械式定着工法 ・適用する 適用箇所 ・図示による ( ) 種類: ・摩擦圧接合 ・嵌合グラウト固定 ・嵌合グラウト固定 工法: ※第三者機関の評定等取得している工法とする 必要定着長さ: ※評定等の評価内容による 補強筋形状法: ※評定等の評価内容による かぶり厚さ: ※評定等の評価内容による 品質確認: ※評定等の評価内容による 検査: ※評定等の評価内容による</p>	<p>8-58 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網を含む) [8. 3. 5]</p> <p>最小かぶり厚さ (自他よりかぶりを確保する) ※改修標準仕様書 表8. 3. 6による</p> <p>・軽量コンクリートを使用する場合 適用箇所 ( ) ・最小かぶり厚さに加える厚さ ( ) mm ・耐久性上不利な場所がある場合 (塩害を受けるおそれのある部分等) 適用箇所 ( ) ・最小かぶり厚さに加える厚さ ( ) mm</p>	<p>8-59 圧接完了後の試験 [8. 3. 8]</p> <p>外観試験 ※行う (全数) 接取試験 ※超音波探傷試験</p>	<p>8-60 特殊な鉄筋継手 [8. 4. 2-3] [5. 5. 5] [5. 6. 5]</p> <p>・機械式継手 適用箇所 ※構造図による H12建色第1463号に適合する性能 ・A級 ・ ( ) 種類 ・ねじ鉄筋継手 充填方式 ・無機グラウト式 ・有機グラウト式 ・端部ねじ加工継手 ・モルタル充填式継手 ・ 工法: ※第三者機関の評定等取得している工法 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、サイズ200箇所程度とする ・全数 試験項目 ※挿入長さ ※JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準) による 不合格となった場合の措置 ・</p>	<p>8-61 コンクリートの種類 [8. 1. 3. 4] (6. 2. 1~4)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="4">表8. 1. 1</th> </tr> <tr> <th>設計基準強度 F<sub>c</sub> (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>気乾単位 容積質量 (t/m<sup>3</sup>)</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>適用場所</th> </tr> <tr> <td>・24</td> <td>2. 3程度</td> <td>※15</td> <td>・基礎 ・基礎梁 ・土間スラブ</td> </tr> <tr> <td>・ ( )</td> <td></td> <td>※18</td> <td>・土間コンクリート</td> </tr> <tr> <td>・18</td> <td>2. 3程度</td> <td>※15</td> <td>・ ( ) ・建物躯体 (上記除く)</td> </tr> </table>	表8. 1. 1				設計基準強度 F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位 容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	スランプ (cm)	適用場所	・24	2. 3程度	※15	・基礎 ・基礎梁 ・土間スラブ	・ ( )		※18	・土間コンクリート	・18	2. 3程度	※15	・ ( ) ・建物躯体 (上記除く)	<p>8-62 レディミキスト コンクリート [8. 1. 3]</p> <p>※1類 (JIS A 5308「レディミキストコンクリートへの適合を認証されたコンクリート」) ・Ⅱ類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)</p>	<p>8-63 セメントの種類 [8. 2. 5]</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">表8. 2. 3</th> </tr> <tr> <th>セメントの種類</th> <th>使用部位</th> </tr> <tr> <td>※普通ポルトランドセメント又は 混合セメントの種類 ・高炉セメントⅡ種 [G] ・フライアッシュセメントⅡ種 [G]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水和熱</td> <td>7日目 35J/g以下 28日目 402J/g以下</td> </tr> </table>	表8. 2. 3		セメントの種類	使用部位	※普通ポルトランドセメント又は 混合セメントの種類 ・高炉セメントⅡ種 [G] ・フライアッシュセメントⅡ種 [G]		普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く		水和熱	7日目 35J/g以下 28日目 402J/g以下	<p>8-64 骨材の種類 [8. 2. 5]</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B (※コンクリート中のアルカリ総量 Rt=3. 0kg/m<sup>3</sup> 以下)</p>	<p>8-65 混和剤 [8. 2. 5]</p> <p>・混和剤 混和剤の種類 ※改修標準仕様書8. 2. 5(4)(a)による ・ ( ) ・混和剤 混和剤の種類 ※改修標準仕様書8. 2. 5(4)(b)による ・ ( )</p>	<p>8-66 構造体用モルタル [8. 2. 6]</p> <p>圧縮強度 ( ) フロー値 ( )</p>	<p>8-67 無筋コンクリート [8. 2. 5] [8. 11. 1] (6. 14. 1)</p> <p>コンクリートの種類 ※普通コンクリート ・ ( ) 適用箇所 ※構造図による 設計基準強度F<sub>c</sub> (N/mm<sup>2</sup>) ※18 ・ ( ) スランプ (cm) ※15又は18 ・ ( ) セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントⅡ種、フライアッシュセメントⅡ種 ・高炉セメントⅡ種 [G] ・フライアッシュセメントⅡ種 [G]</p>	<p>8-68 ひび割れ試験目地 打継目地 [6. 6. 4] (6. 8. 1) (9. 7. 3)</p> <p>※構造図による 位置 ※構造図による ひび割れ試験目地、打継目地の深さ寸法は、打増し厚さ部で処理する</p>	<p>8-69 コンクリートの仕上げ [8. 1. 4] [8. 2. 7]</p> <p>合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ 種類 ・A種 ・B種 ・C種</p>	<p>8-70 打増し厚さ [8. 7. 8]</p> <p>・打直し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ・20mm ・ ( ) ・打直し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・ ( ) ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm ・床型特用鋼製デッキプレート (梁側面部の打増し処理 プレートが支持される梁の側面について下記のとおり打増しを行う ・10mm ・20mm ・ ( )</p>	<p>8-71 型枠 [8. 2. 7] [6. 8. 3]</p> <p>せき板の材料及び厚さ ※合板 (※12mm) [G]但し、グリーン購入法基本方針における「合板型枠」 の備考3の表示のある合板型枠を用いる場合に限る コンクリート及びグラウト打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する 場合は、強度、変形等について、事前に監督職員と協議すること ・メッシュ型枠 (使用目的: ※構造図による) ・床型特用鋼製デッキプレート (使用範囲: ※構造図による) スリーパ材の材質・規格等 ※構造図による 断熱材使用型枠 使用箇所 ※構造図による</p>	<p>8-72 型枠の加工及び部位 [8. 7. 8]</p> <p>・シアコネクタをセパレータとして使用 適用箇所 ※構造図による</p>	<p>8-73 コンクリートの 打込み工法等 [8. 21. 8] [8. 23. 5]</p> <p>現場打ちコンクリート壁の増設工事 ・流込み工法 (・全て ・構造図による) ・圧入工法 (・全て ・構造図による) 鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法 ・流込み工法 (・全て ・構造図による) ・圧入工法 (・全て ・構造図による)</p>	<p>8-74 鉄骨の製作工場 [8. 1. 5] [7. 1. 3]</p> <p>製作工場の加工能力 ※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた (株) 日本鉄骨評価センター及び(株) 全国鉄骨評価機構(旧) 全国鋼構工業協会の 「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「( ) グレード」として国土交通大臣から認定 を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・監督職員の承諾する製作工場 (標準仕様書7. 1. 1以外の適用範囲に限る)</p>	<p>8-75 施工管理技術者 [8. 1. 6]</p> <p>※配置する ・配置しない</p>	<p>8-76 鋼材 [8. 2. 8]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類等</th> <th colspan="2">表8. 2. 8</th> </tr> <tr> <th>種類の記号</th> <th>使用箇所</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による</td> </tr> </table>	種類等	表8. 2. 8		種類の記号	使用箇所	規格等			※JIS規格による			※JIS規格による	<p>8-77 高力ボルト [8. 2. 9] [8. 13. 2] [8. 13. 8] [8. 14. 2]</p> <p>高力ボルト区分 ※トルシリアル高力ボルト 2種 (S10T) ・ JIS高力ボルト 2種 (F10T) ・ ( ) 高力ボルトの径 ※構造図による ボルトの繰込み距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造図による 摩擦面の処理方法等 ※ブラスト処理 (表面粗度50 μmR<sub>2</sub>以上) 又はりん酸処理 ・構造図による すべり試験の実施 ※すべり係数試験 ・すべり耐力試験 試験方法等 ※構造図による すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8. 14. 2(1)(7)又は(4)による摩擦面の確認 本試験で作成した対比試験片で行うこと</p>
表8. 2. 1																																																																																																																			
種類の記号	呼び名	備考																																																																																																																	
※SD295	※D16以下																																																																																																																		
※SD345	※D19以上																																																																																																																		
形状等	種類の記号	網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用箇所																																																																																																																
・溶接金網																																																																																																																			
・鉄筋格子																																																																																																																			
継手の方法等																																																																																																																			
部位	継手方法	呼び名																																																																																																																	
柱、梁の主筋	※ガス圧接 (D19以上) ・機械式継手 ・溶接継手																																																																																																																		
耐力壁の鉄筋	※重ね継手 (D16以下) ・																																																																																																																		
その他の鉄筋	※重ね継手 (D16以下)																																																																																																																		
表8. 1. 1																																																																																																																			
設計基準強度 F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位 容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	スランプ (cm)	適用場所																																																																																																																
・24	2. 3程度	※15	・基礎 ・基礎梁 ・土間スラブ																																																																																																																
・ ( )		※18	・土間コンクリート																																																																																																																
・18	2. 3程度	※15	・ ( ) ・建物躯体 (上記除く)																																																																																																																
表8. 2. 3																																																																																																																			
セメントの種類	使用部位																																																																																																																		
※普通ポルトランドセメント又は 混合セメントの種類 ・高炉セメントⅡ種 [G] ・フライアッシュセメントⅡ種 [G]																																																																																																																			
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く																																																																																																																			
水和熱	7日目 35J/g以下 28日目 402J/g以下																																																																																																																		
種類等	表8. 2. 8																																																																																																																		
種類の記号	使用箇所	規格等																																																																																																																	
		※JIS規格による																																																																																																																	
		※JIS規格による																																																																																																																	

5	溶融亜鉛めっき高力ボルト [8. 2. 9] [8. 13. 2] [8. 13. 8] [8. 20. 5]	<p>セットの種類</p> <p>※1種 (F&amp;T相当)</p> <p>溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前孔径</p> <p>・大臣認定を受けた内容による</p> <p>ボルトの線径距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <p>・構造図による</p> <p>摩擦面の処理</p> <p>※プラスト処理 (表面粗度50μm以上) 又はりん酸塩処理</p> <p>・構造図による</p> <p>すべり試験の実施 ※すべり係数試験 ・すべり耐力試験</p> <p>試験方法等 ※構造図による</p> <p>すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(7)又は(4)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと</p>	19	アンカーボルトの保持及び埋込み方法 [7. 2. 4] [7. 10. 3]	<p>構造用アンカーフレームの形状及び寸法</p> <p>※構造図による</p> <p>建方用アンカーフレームの保持及び埋込み方法 表7. 10. 1</p> <p>種別 ・A種 ・B種 ・C種</p> <p>柱径均等モルタルの厚さ及び工法の種別</p> <p>※標準仕様書 表7. 10. 2 (※A種 [モルタル厚さ50] ・B種 [モルタル厚さ30]) による</p>	8 1 7	1	耐震スリットの方式、幅及び深さ [8. 25. 2]	<p>・完全 ・部分</p> <p>幅及び深さ ※構造図による</p> <p>設置箇所 ※構造図による</p>	2	耐震スリットの施工前の埋め込み配管等の探索	<p>既存撤去部の配管等の探索</p> <p>※鉄筋探知機 (金属探知機) により探索し、鉄筋、配管等の位置に墨出しを行う</p> <p>・はつりだしによる</p>	3	耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等	<p>・耐火材</p> <p>使用箇所及び仕様 ※構造図による</p> <p>・遮音材</p> <p>使用箇所及び仕様 ※構造図による</p> <p>・撤去部の補修</p> <p>※撤去材と同一材で補修 ・構造図による</p>	8 1 8	1	増戻し及び盛土 [8. 28. 3]	<p>埋戻し及び盛土の種類</p> <p>・A種 適用箇所 ( )</p> <p>・B種 適用箇所 ( )</p> <p>・C種 適用箇所 ( ) 土質 ( ) 受渡場所 ( )</p> <p>・D種 (細粒分 (75μm以下) の含有率 (重量百分率) の上限を50%未満とする) 適用箇所 ( )</p> <p>・ ( )</p>	2	杭地業 [8. 2. 14] [8. 28. 4] [4. 3. 7]	<p>支持地盤の位置及び種類 (基礎ぐい先域位置含む)</p> <p>・構造図による ・ ( )</p> <p>杭の材料、工法、寸法、施工方法等</p> <p>・構造図による ・ ( )</p> <p>・試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法</p> <p>・構造図による ・ ( )</p> <p>・杭の継手の箇所数、材料、工法等</p> <p>・構造図による ・ ( )</p> <p>・杭の溶接継手</p> <p>技能資持者の技能 ・構造図による ・ ( )</p> <p>溶接部の確認 ・構造図による ・ ( )</p> <p>・杭頭の処理</p> <p>・処理しない ・処理する</p> <p>処理方法 (切断にともなう補強方法含む)</p> <p>・構造図による ・ ( )</p> <p>・杭頭の中詰め材料</p> <p>・基礎のコンクリートと同割合のもの ・ ( )</p> <p>杭の精度</p> <p>水平方法の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・ ( )</p> <p>杭の鉛直度 ・1/100以内 ・構造図による</p> <p>記録する施工状況等</p> <p>・構造図による ・ ( )</p>	3	砂利地業 [8. 2. 14]	<p>材料</p> <p>・再生クラッシュサン [6]</p> <p>・切込砂利又は切込砕石</p> <p>砂利厚さ</p> <p>※600 ・ ( )</p> <p>積コンクリート地業</p> <p>[8. 28. 4] [8. 11. 1]</p>	4	積コンクリート地業 [8. 28. 4] [8. 11. 1]	<p>積コンクリートの厚さ</p> <p>※600 ・ ( )</p> <p>設計基準強度</p> <p>※18N/mm<sup>2</sup> ・ ( )</p> <p>スラブ</p> <p>※15cm又は18cm ・ ( )</p>	②	外断熱改修工事 [9. 2. 1~4]	<p>石綿含有建材の除去</p> <p>除去対象範囲 ※図示</p> <p>除去方法</p> <p>※改修標準仕様書9. 1. 3(2)(7)による</p> <p>除去した石綿含有付材等</p> <p>・石綿含有付材等の飛散防止措置 ※湿潤化 ・セメント固化</p> <p>除去した石綿含有付材等</p> <p>・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・石綿含有保温材等の除去</p> <p>除去対象範囲 ※図示</p> <p>除去方法</p> <p>※改修標準仕様書9. 1. 3(2)(7)による</p> <p>除去した石綿含有付材等</p> <p>・石綿含有付材等の飛散防止措置 ※湿潤化 ・セメント固化</p> <p>除去した石綿含有付材等</p> <p>・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・石綿含有上塗材又は石綿含有成形板 (下地調整材) の除去</p> <p>下記以外は、改修標準仕様書9. 1. 3(4)の(7)、(8)及び(9)による</p> <p>除去方法</p> <p>※改修標準仕様書9. 1. 3(4)の(7)、(8)及び(9)による</p> <p>※石綿障害予防規則 (平成十七年七月二十四日厚生労働省令第二十一号) 第6による条</p> <p>措置と同時に効果を有する措置とされる工法</p> <p>・集じん装置併用工具ケレン工法</p> <p>・集じん装置付き高圧水洗工法 (15MPa以下、30~50MPa程度)</p> <p>・集じん装置付き超高压水洗工法 (100MPa以上)</p> <p>・超音波ケレン工法 (HEPAフィルター付き掃除機併用)</p> <p>・制塵剤併用工具ケレン工法</p> <p>・制塵剤併用高圧水洗工法 (30~50MPa程度)</p> <p>・制塵剤併用超高压水洗工法 (100MPa以上)</p> <p>・制塵剤併用超音波ケレン工法</p> <p>・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法</p> <p>除去対象範囲 ※図示</p> <p>作業時の隔離 ※行わない ・行う</p> <p>試験施工 ※行わない ・行う</p> <p>除去した石綿含有仕上塗材の処分</p> <p>・埋立処分 (安定型最終処分場) ・埋立処分 (管理型最終処分場)</p> <p>・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分</p> <p>※改修標準仕様書9. 1. 3(3)による</p> <p>確認及び後片付け ※改修標準仕様書9. 1. 3(4)の(7)、(8)及び(9)による</p> <p>石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※図示</p> <p>石綿作業主任者</p> <p>特定科学物質等作業主任者技術講習を終了した者の内から選任する。</p> <p>特別管理産業廃棄物管理責任者</p> <p>保温材については、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理させる。</p>																																																																																																																		
																																6	普通ボルト [8. 13. 2] [7. 2. 3]	<p>ボルト及びナットの材料等</p> <p>・標準仕様書 表7. 2. 3 (JIS付属書品) 又は次による</p> <p>ボルトの規格は、JIS B 1180とする。ボルトの種類を呼び径六角ボルト又はねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。ナットの規格は、JIS B 1181とする。ナットの種類は、六角ナット-Cとし、材料は鋼とする。</p> <p>産金 ※JIS B 1256(1)による ・構造図による</p> <p>ボルトの線径距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <p>構造関係共通事項 (鉄骨標準型) 1-線径距離及びボルト間隔による ・構造図による</p>	20	溶融亜鉛めっき工法 (主要構造及び構造耐力上主要な部分に限る) [8. 20. 4]	<p>種類等 表8. 20. 1</p> <table border="1"> <tr> <th>亜鉛めっきの種類</th> <th>材料</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>A種 (HD25)</td> <td>最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板</td> <td rowspan="3">※構造図による</td> </tr> <tr> <td>B種 (HD24)</td> <td>最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板</td> </tr> <tr> <td>C種 (HD23)</td> <td>普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚 1.6mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板</td> </tr> </table>	亜鉛めっきの種類	材料	適用箇所	A種 (HD25)	最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板	※構造図による	B種 (HD24)	最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板	C種 (HD23)	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚 1.6mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板	8 1 4	1	あど施工アンカー [8. 2. 4]	<p>・金属系アンカー</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">本体</th> <th colspan="2">接合筋</th> </tr> <tr> <th>径</th> <th>有効埋込み長さ</th> <th>セット方式</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>本体打ち込み式</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> </tr> </table> <p>※接着系アンカー</p> <table border="1"> <tr> <th>径</th> <th>有効埋込み長さ</th> <th>接着剤の材質</th> <th>アンカーの種類</th> <th>アンカー筋の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・有機系</td> <td>※カプセル型空気・打撃式</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・無機系</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	本体		接合筋		径	有効埋込み長さ	セット方式	種類			本体打ち込み式				〃		径	有効埋込み長さ	接着剤の材質	アンカーの種類	アンカー筋の種類			・有機系	※カプセル型空気・打撃式				・無機系			2	埋孔前の埋込配管等の探索 [8. 12. 4]	<p>探索範囲 ※あど施工アンカー施工部全て ・ ( )</p> <p>探索方法</p> <p>※鉄筋探知機 (金属探知機) により探索し、鉄筋、配管等の位置に墨出しを行う</p> <p>・はつり出しによる</p> <p>・ ( )</p>	3	あど施工アンカーの試験 [8. 12. 7]	<p>性能確認試験 ※行わない ・行う</p> <p>施工確認試験 ・行う ・行わない</p> <p>確認強度 ※構造図による</p>	4	シノコネクタ [8. 7. 8]	<p>・金属系アンカー 適用箇所 ※構造図による</p> <p>・接着系アンカー 適用箇所 ※構造図による</p>	5	施工管理技術者 [8. 12. 2]	<p>(社) 日本建築あど施工アンカー協会が定める「あど施工アンカー技術管理士」の資格以上の能力を有する者とする</p>	8 1 5	1	グラウト材 [8. 2. 11]	<p>無収縮グラウト材の材質等</p> <p>混和材</p> <p>セメント系 (酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミニウム等) による</p> <p>※構造図による</p> <p>セメント</p> <p>JIS R 5210 (ポルトランドセメント) に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする</p> <p>土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。</p> <p>ただし、現場調合に使用される乾砂状態については、規定しない。</p> <p>無収縮グラウト材の品質及び試験方法</p> <p>コンシステンシー</p> <p>ワフロートによる落下時間</p> <p>経路完了から3分以内の値 : 8±2秒</p> <p>ブリージング</p> <p>経路完了後2時間後のブリージング率 : 2. 0%以下</p> <p>凝結時間</p> <p>凝結開始時間 : 180分以内</p> <p>終結時間 : 10時間以内</p> <p>圧収縮性</p> <p>材齢 7日 収縮しない</p> <p>圧縮強度</p> <p>材齢 3日 20N/mm<sup>2</sup>以上</p> <p>材齢 28日 40N/mm<sup>2</sup>以上</p> <p>塩化物量</p> <p>0. 30kg/m<sup>3</sup>以下</p> <p>試験方法</p> <p>1) NEXCO試験方法 試験法312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形と混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。</p> <p>2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。</p>	8 1 6	1	柱底等の均しモルタル [8. 2. 12]	<p>※無収縮モルタル</p>	③	環境配慮改修工事	<p>石綿含有建材の除去工事</p> <p>[9. 1. 1] [9. 1. 3~6]</p>	<p>※ 県有施設石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者であること。</p> <p>施工調査</p> <p>・石綿含有建材の事前調査</p> <p>工事着手に先立ち、目視及び目視による設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。</p> <p>調査範囲 ( )</p> <p>・図示 ( )</p> <p>貸与資料 ( )</p> <p>・分析による石綿含有建材の調査</p> <p>分析対象</p> <p>アクリルノリド、アモサイト、アンソフライド、クリソライト、クロソライト、トシモライト</p> <p>分析方法</p> <table border="1"> <tr> <th>材料名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> </tr> </table> <p>材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと</p> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル</p> <p>採取箇所 ・図示</p> <p>分析結果については、監督職員に報告すること</p> <p>石綿粉塵濃度測定</p> <p>測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点 (各施工箇所ごと)</th> </tr> <tr> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計点</td> </tr> <tr> <td>測定2</td> <td></td> <td>調査対象室外部付近</td> <td>・計点</td> </tr> <tr> <td>測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計点</td> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td></td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>・計点</td> </tr> <tr> <td>測定5</td> <td></td> <td>集じん・排気装置の排出口</td> <td>出口吹出し風速1m/sec以下の位置</td> </tr> <tr> <td>測定6</td> <td></td> <td>処理作業室内外</td> <td>・計点</td> </tr> <tr> <td>測定7</td> <td></td> <td>施工区周辺</td> <td>・計点</td> </tr> <tr> <td>測定8</td> <td>処理作業後 (シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計点</td> </tr> <tr> <td>測定9</td> <td></td> <td>調査対象室外部付近</td> <td>・計点</td> </tr> </table> <p>測定方法</p> <p>・自動測定機による測定</p> <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定方法</th> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td>粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> <tr> <td>測定 ( )</td> <td></td> </tr> </table> <p>・JIS K 3850-11に基づいた測定</p> <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ直径 (mm)</th> <th>試料の吸引流量 (l/min)</th> <th>試料の吸引時間 (min)</th> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td>測定5</td> <td>25</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>測定 ( )</td> <td></td> <td>47</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>測定 ( )</td> <td></td> <td>47</td> <td>240</td> </tr> </table>	材料名	定性分析	定量分析		・ 箇所	・ 箇所		・ 箇所	・ 箇所	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計点	測定2		調査対象室外部付近	・計点	測定3	処理作業中	処理作業室内	・計点	測定4		セキュリティゾーン入口	・計点	測定5		集じん・排気装置の排出口	出口吹出し風速1m/sec以下の位置	測定6		処理作業室内外	・計点	測定7	
亜鉛めっきの種類	材料	適用箇所																																																																																																																																															
A種 (HD25)	最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板	※構造図による																																																																																																																																															
B種 (HD24)	最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板																																																																																																																																																
C種 (HD23)	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚 1.6mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板																																																																																																																																																
本体		接合筋																																																																																																																																															
径	有効埋込み長さ	セット方式	種類																																																																																																																																														
		本体打ち込み式																																																																																																																																															
		〃																																																																																																																																															
径	有効埋込み長さ	接着剤の材質	アンカーの種類	アンカー筋の種類																																																																																																																																													
		・有機系	※カプセル型空気・打撃式																																																																																																																																														
		・無機系																																																																																																																																															
材料名	定性分析	定量分析																																																																																																																																															
	・ 箇所	・ 箇所																																																																																																																																															
	・ 箇所	・ 箇所																																																																																																																																															
測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)																																																																																																																																														
測定1	処理作業前	処理作業室内	・計点																																																																																																																																														
測定2		調査対象室外部付近	・計点																																																																																																																																														
測定3	処理作業中	処理作業室内	・計点																																																																																																																																														
測定4		セキュリティゾーン入口	・計点																																																																																																																																														
測定5		集じん・排気装置の排出口	出口吹出し風速1m/sec以下の位置																																																																																																																																														
測定6		処理作業室内外	・計点																																																																																																																																														
測定7		施工区周辺	・計点																																																																																																																																														
測定8	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	・計点																																																																																																																																														
測定9		調査対象室外部付近	・計点																																																																																																																																														
測定名称	測定方法																																																																																																																																																
測定4	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																																																																
測定 ( )																																																																																																																																																	
測定名称	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (l/min)	試料の吸引時間 (min)																																																																																																																																														
測定4	測定5	25	5																																																																																																																																														
測定 ( )		47	10																																																																																																																																														
測定 ( )		47	240																																																																																																																																														



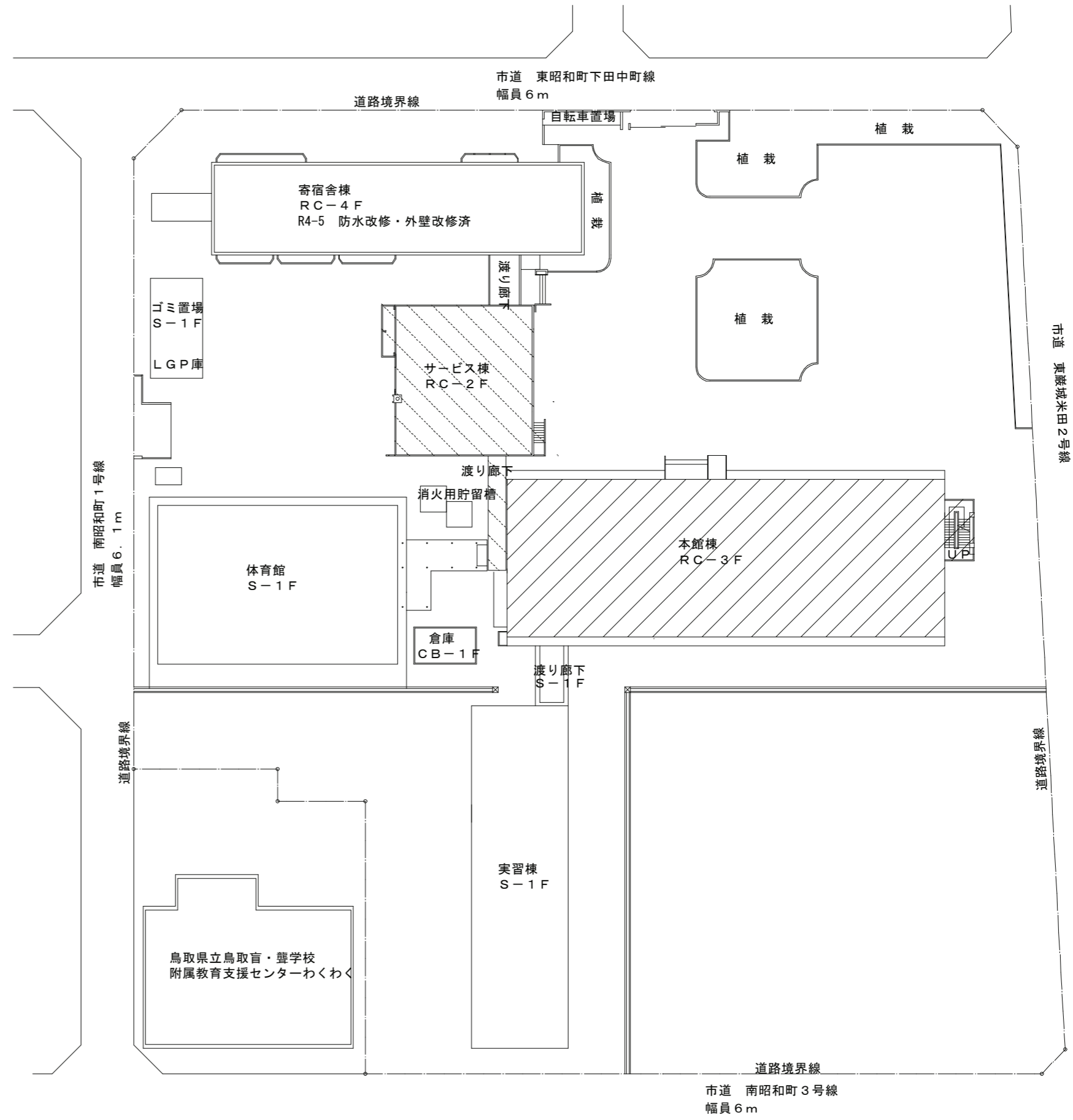


■工事概要

倉吉総合看護専門学校における下記部分の改修工事を行う。

【本館棟】

- 外壁改修
  - タイル面/劣化部補修の上防水形複層塗材E
  - コンクリート打放面/劣化部補修の上防水形複層塗材E
  - タイル面/劣化部補修
  - 防水形複層塗材E/窯業系サイディングt16/既存押出成形セメント板t15、既存タイル鋼板t1.6撤去・処分
- 外部建具改修
  - カバー工法（複層ガラス）
- 屋上防水改修
  - 改質アスファルト防水（AS-T1工法）
- バルコニー防水改修
  - ウレタン系塗膜防水（X-2工法）歩行用
- バルコニー屋根防水改修
  - ウレタン系塗膜防水（X-2工法）
- その他
  - 軒天一部張替え

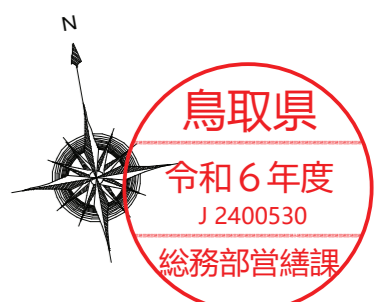


配置図 1/500

- 凡例
- : 工事対象建物
  - : 工事対象建物（別工事）

■外部仕上表

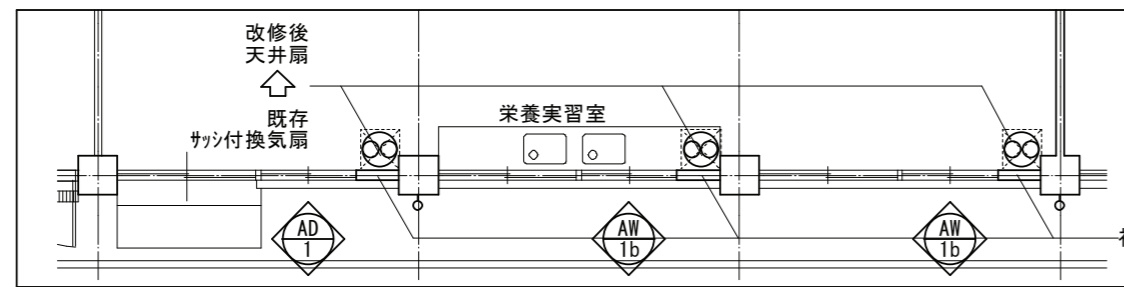
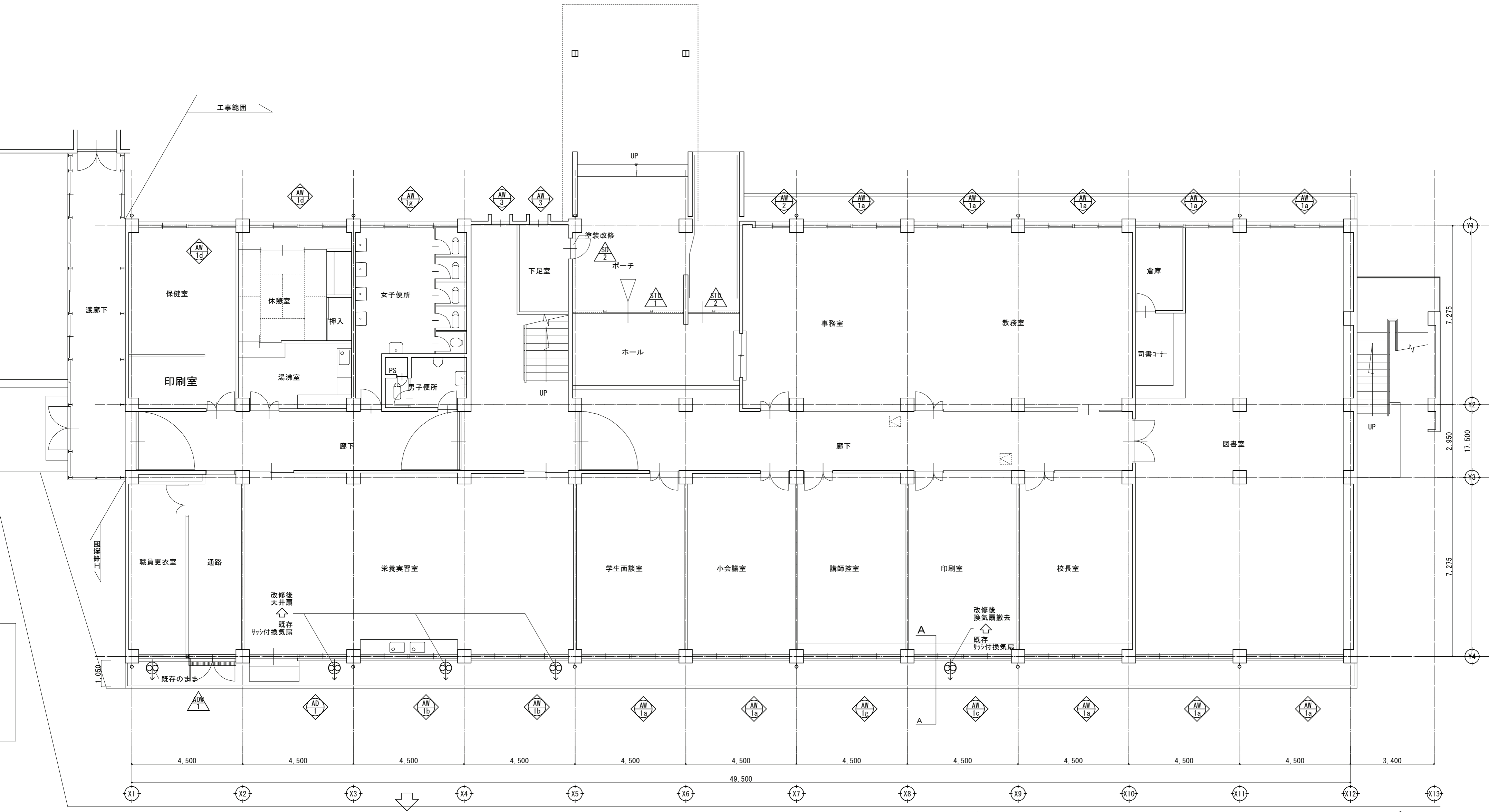
	仕上表（改修前）	仕上表（改修後）		仕上表（改修前）	仕上表（改修後）
屋上	本館棟屋上防水 既設加硫ゴム系シート防水（平面・立上り） （撤去処分）	改質アスファルト防水 AS-T1（トーチ工法） クレン処理（平面・立上り）、清掃 セメント系防水材兼下地調整材塗（平面・立上り 参考：仮防水材02（1.0kg/m <sup>2</sup> ） 防水端未押え金物（7mm製）、脱気筒（ステンレス製）取付	外壁	外壁 アクリリック吹付（7mm <sup>2</sup> 以上含有） /既設金釘下地	防水形複層塗材E/下地調整C-1種/既存外壁面水洗い （浮き、欠損、ひび割れ、鉄筋露出部補修（図示））
	バルコニー-屋根・庇 シート防水/タイル鋼板1.6t	ウレタン系塗膜防水（X-2）/既存シート防水水洗い 下地調整（ポリセメントペースト）		外壁 磁器質二丁掛タイル張り	既存外壁面水洗い （浮き、欠損、ひび割れ、鉄筋露出部補修（図示））
	バルコニー 防水タイル塗	ウレタン系塗膜防水（X-2）歩行用/既存防水タイル面水洗い 下地調整（ポリセメントペースト）		屋外階段外壁（仕上げ材撤去処分） 3階 既存押出成形セメント板t15（7mm <sup>2</sup> 以上含有） 1.2階 タイル鋼板t1.6 屋外階段外壁 コンクリート打放面	防水形複層塗材E/窯業系サイディングt16
			軒裏（図示） 既存ポリウレタンOSC塗 撤去処分 底裏・階段裏 アクリリック吹付（7mm <sup>2</sup> 以上含有）	外装薄塗材E吹付/ウレタン系樹脂t6.0下地（既存木下地） ウレタン系樹脂は0.8FK タイル2（無石綿）とする 外装薄塗材E吹付/既存軒裏面水洗い	



MEMO

有限 安本設計事務所

TITLE	倉吉総合看護専門学校本館棟外壁等改修工事	管理建築士 長谷川 聖 （一級建築士登録第321664号）	Seri. No. 8
NAME	案内図、工事概要、外部仕上表、配置図	Drawer/Belonging Bel. 安本設計事務所	Proj. No. HT-D A-7
SCALE	1/500 [A3:1/750]	Name 長谷川 聖 (印)	Draw. No. 21003
		Chief (印)	Date 25.03

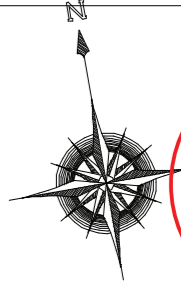


1階平面図・建具平面図 1/100

1階平面図・建具平面図(袖壁W600新設後) 1/100

- 改修建具 (加工-工法)
- 改修建具 (加工取替)
- 撤去建具
- 既存のまま

既存換気扇を示す。

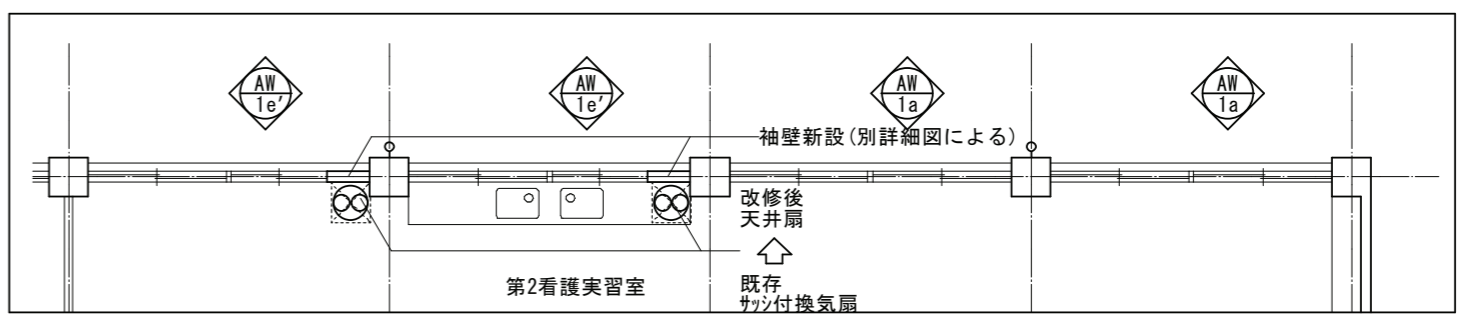
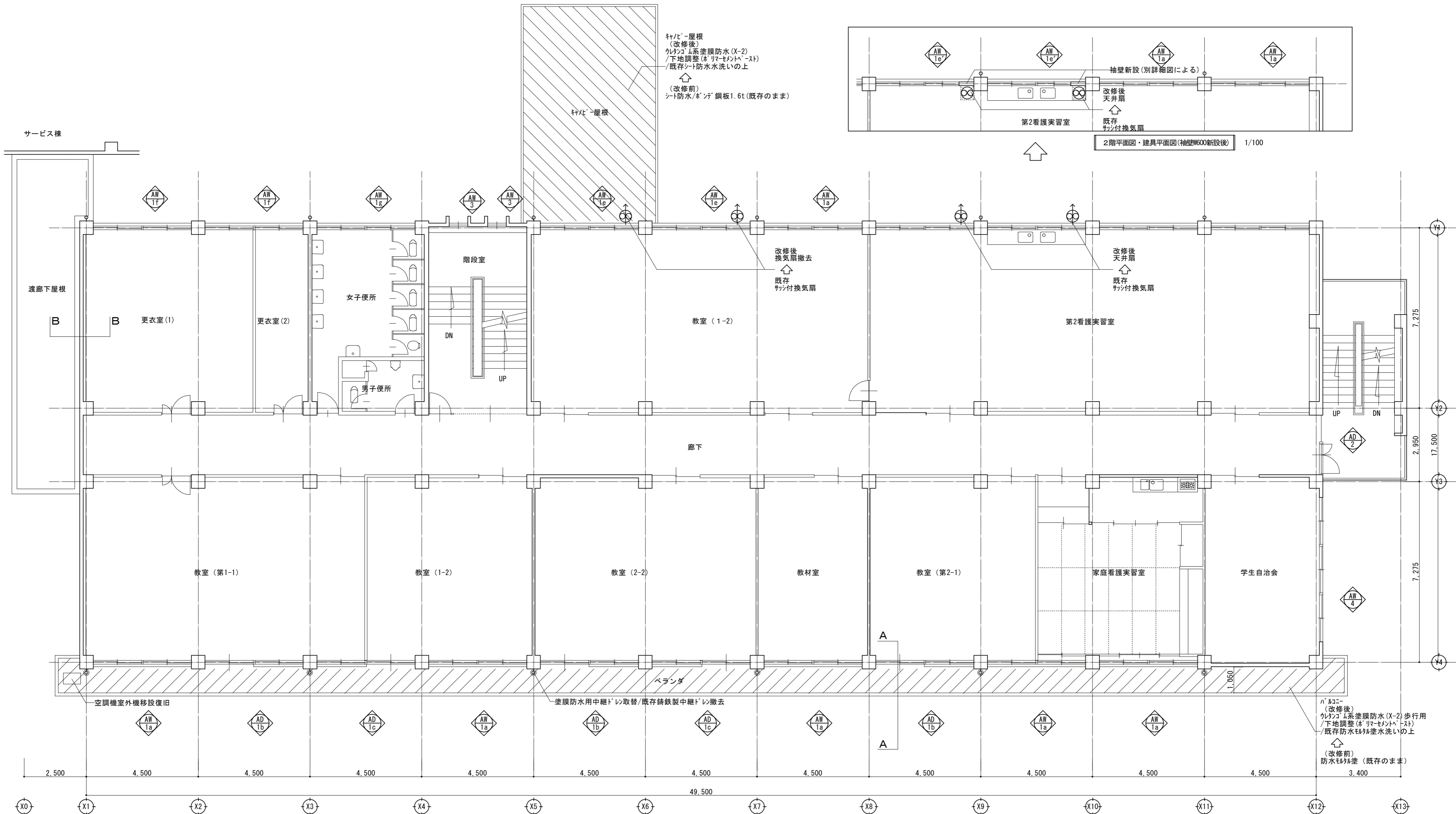


鳥取県  
令和6年度  
J2400530  
総務部営繕課

MEMO

有限 安本設計事務所

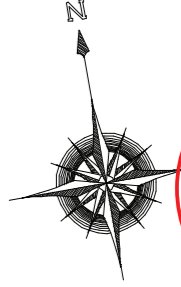
TITLE	倉吉総合看護専門学校本館棟外壁等改修工事	管理建築士 長谷川 聖 (一級建築士登録第321664号)	Seri. No. 9
NAME	【本館棟】 1階平面図・建具平面図	Drawer/Se longing Bel. 安本設計事務所	Proj. No. HT-D A-8
SCALE	1/100 [A3:1/150]	Name 長谷川 聖 (印)	Date 25.03 21003



2階平面図・建具平面図 (袖壁W600新設後) 1/100

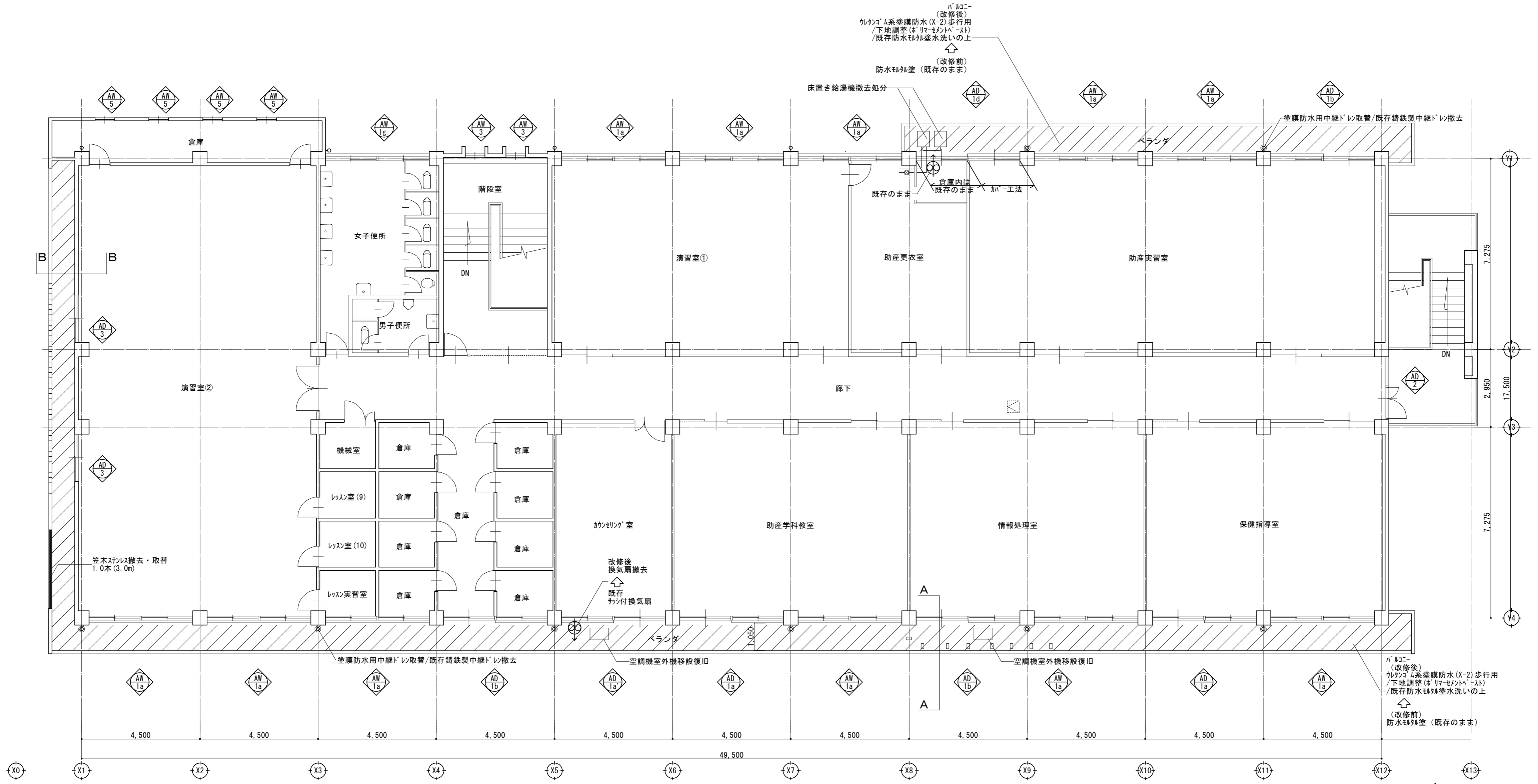
2階平面図・建具平面図 1/100

- 凡例
- クレタゴム系塗膜防水 (X-2) 歩行用
  - クレタゴム系塗膜防水 (X-2) 非歩行用
  - 既存換気扇を示す。
  - 改修建具 (加へ-工法)
  - 改修建具 (かへら取替)
  - 撤去建具
  - 既存のまま



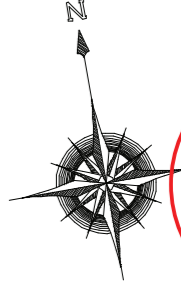
鳥取県  
令和6年度  
J 2400530  
総務部営繕課

MEMO	有限 安本設計事務所	TITLE	倉吉総合看護専門学校本館棟外壁等改修工事	管理建築士 長谷川 聖 (一級建築士登録第321664号)	Seri. No. 10
		NAME	【本館棟】 2階平面図・建具平面図	Chief	Date
		SCALE	1/100 [A3:1/150]	Draw. No. Hit-D A-9	Proj. No. 21003



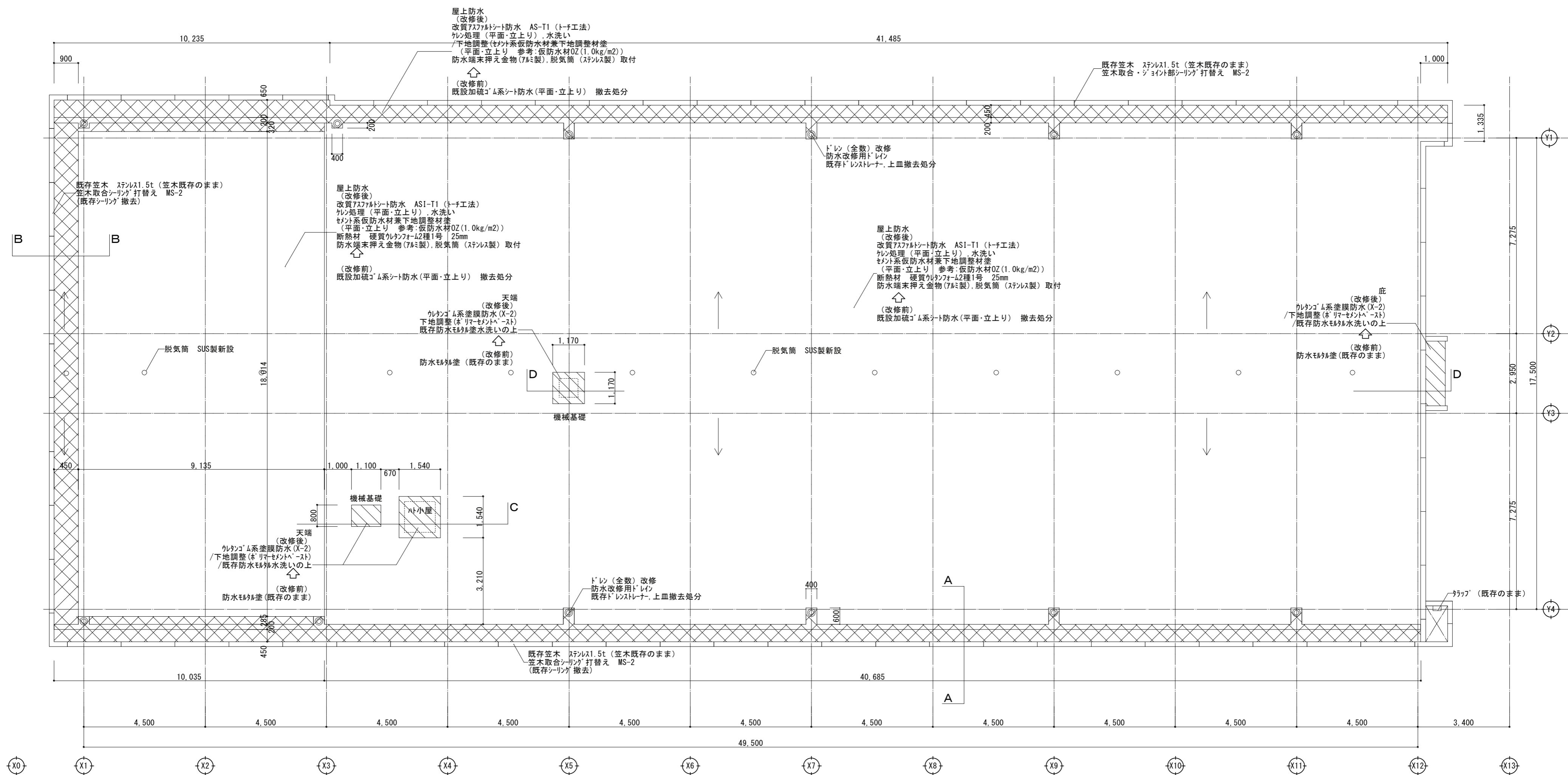
3階平面図・建具平面図 1/100

- 凡例
- 樹脂系塗膜防水(X-2) 歩行用
  - 改修建具 (加'-工法)
  - 改修建具 (加'取替)
  - 撤去建具
  - 既存のまま
  - 既存換気扇を示す。



鳥取県  
令和6年度  
J2400530  
総務部管轄課

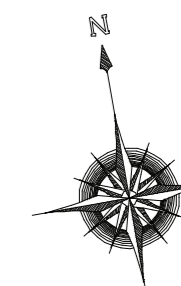
MEMO	有限会社 安本設計事務所	TITLE	倉吉総合看護専門学校本館棟外壁等改修工事	管理建築士 長谷川 聖 (一級建築士登録第321664号)	Seri. No. 11
		NAME	【本館棟】 3階平面図・建具平面図	Chief	Date
		SCALE	1/100 [A3:1/150]	Name	25.03



R階平面図 1/100

凡例

- ウレタン系塗膜防水 (X-2) 非歩行用
- 改質アスファルト防水 (AS-T1)
- 改質アスファルト防水 (ASI-T1)



鳥取県  
令和6年度  
J2400530  
総務部営繕課

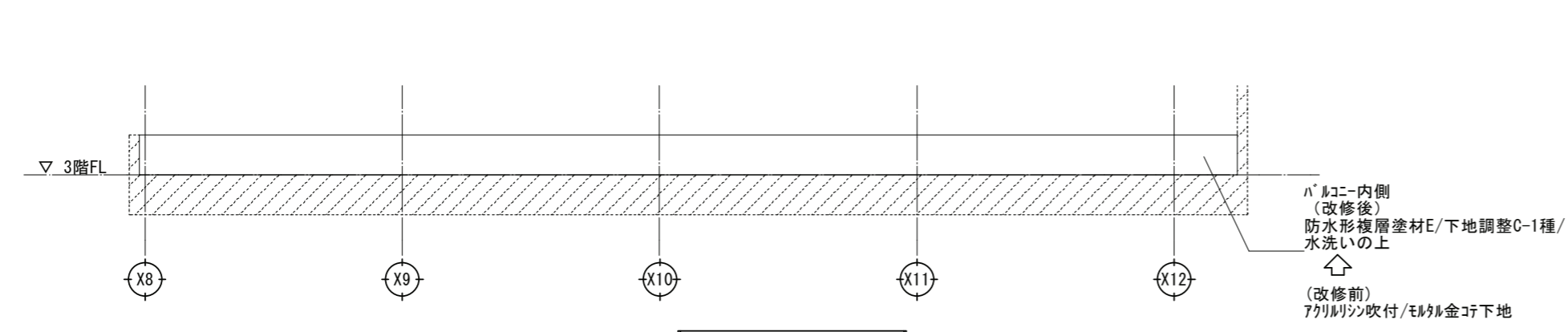
MEMO

有限 安本設計事務所

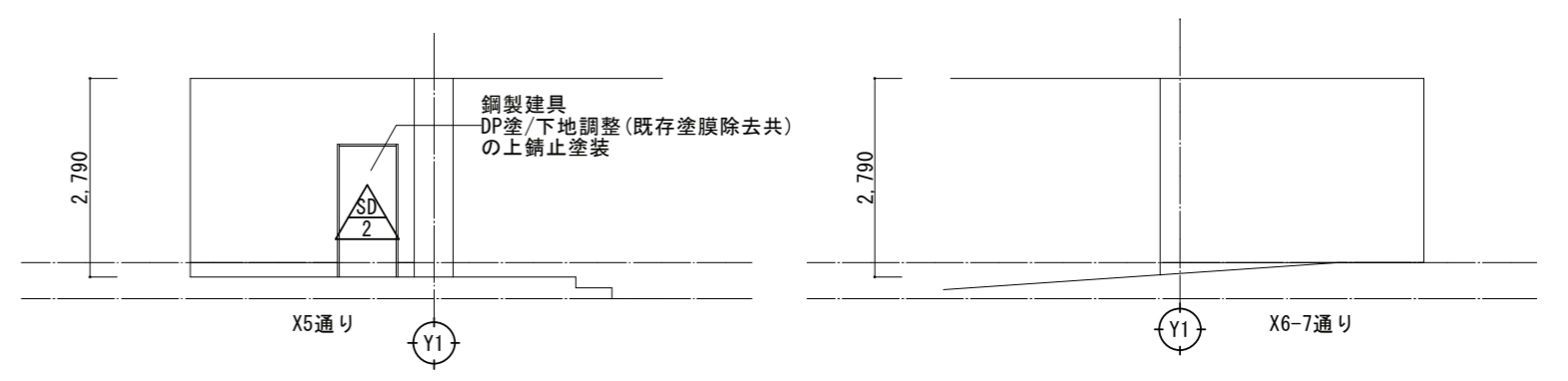
TITLE	倉吉総合看護専門学校本館棟外壁等改修工事	管理建築士 長谷川 聖 (一級建築士登録第321664号)	Seri. No. 12
NAME	【本館棟】 R階平面図	Chief	Proj. No. HT-D A 11
SCALE	1/100 [A3:1/150]	Date 25.03	Draw. No. A 30



北側立面図 1 1/100  
建具改修前の姿を示す



北側バルコニー内側 1/100



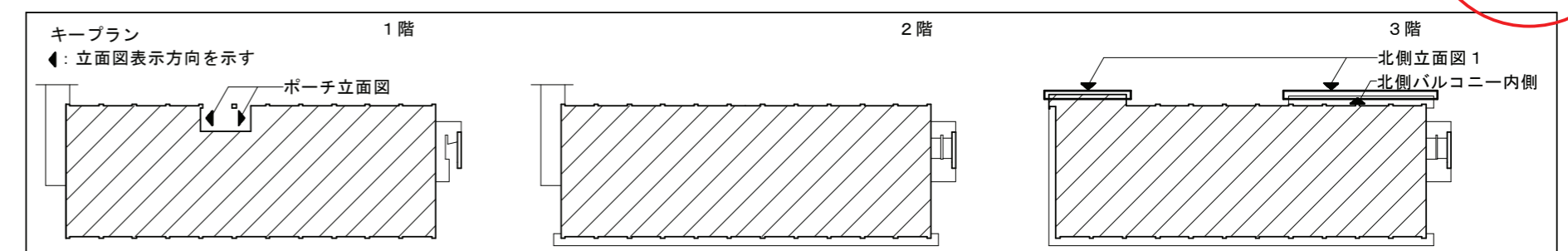
ポーチ立面図 1/100

集計

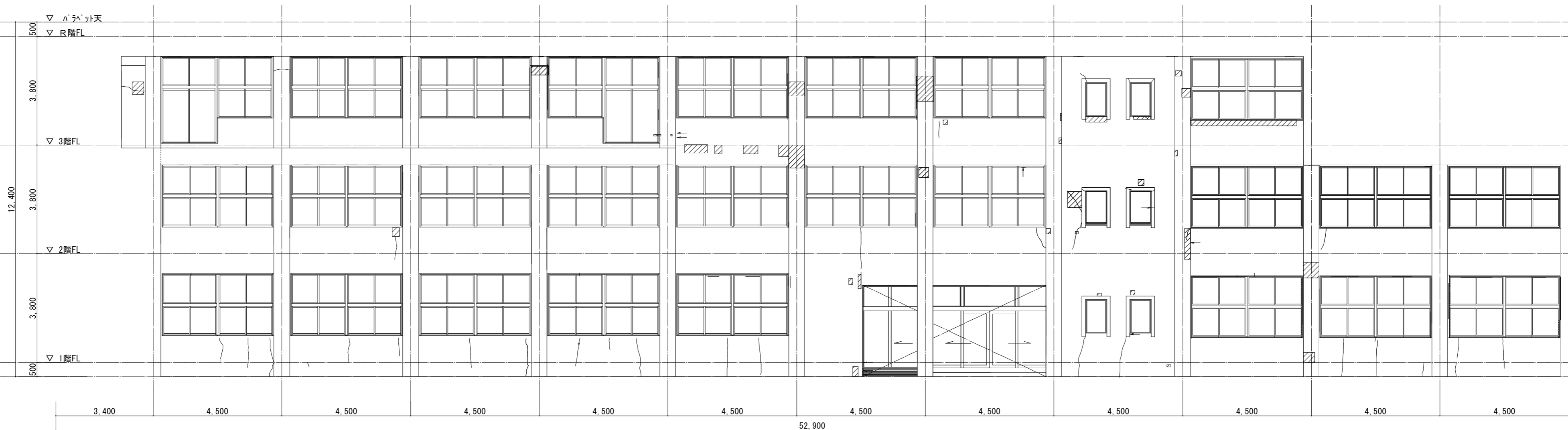
対象面	数量	状況	補修内容	対象面	数量	状況	補修内容
モルタル面	21.9 m <sup>2</sup>	浮き	アンカービシニング 部分E <sup>キ</sup> 杉樹脂注入工法	タイル面	25.6 m <sup>2</sup>	浮き	アンカービシニング 部分E <sup>キ</sup> 杉樹脂注入工法
	28.6 m <sup>2</sup>	浮き	アンカービシニング 全面E <sup>キ</sup> 杉樹脂注入工法		28.3 m <sup>2</sup>	浮き	アンカービシニング 全面E <sup>キ</sup> 杉樹脂注入工法
	10.4 m <sup>2</sup>	浮き	モルタル塗替え工法		9.1 m <sup>2</sup>	浮き・欠損	タイル部分張替え工法
	2.2 m <sup>2</sup>	浮き・欠損	充てん工法 <sup>キ</sup> リマーセメントモルタル		23.5 m	劣化・破断	シーリング 再充填工法
	139 m	ひび割れ	手動式樹脂注入工法	モルタル/コンクリート面	10ヶ所	鉄筋露出	樹脂モルタル充填工法 100*50*30
					4ヶ所	鉄筋露出	樹脂モルタル充填工法 200*50*30

凡例

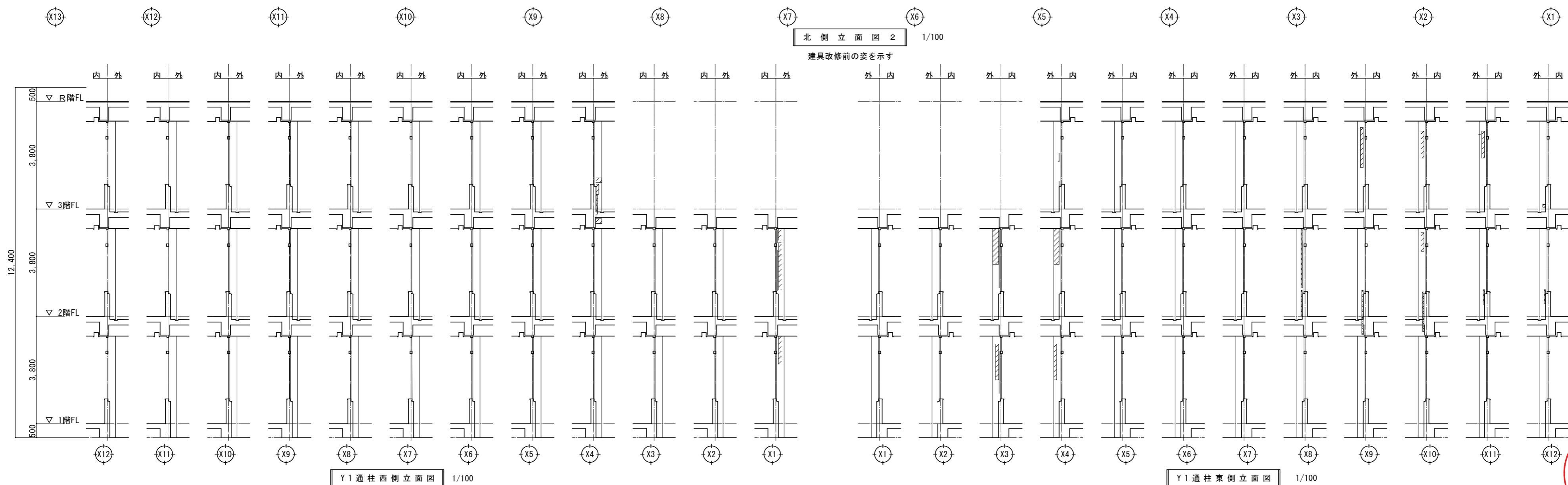
	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面
浮き															
ひび割れ															
手動式樹脂注入工法															
浮き・欠損															
モルタル面 充てん工法 <sup>キ</sup> リマーセメントモルタル															
打放面 充てん工法 <sup>キ</sup> リマーセメントモルタル															
タイル面 タイル部分張替え工法 (参考: 園代耐火工業所 'グレイズ' HT-S6211)															
シーリング															
鉄筋露出															
樹脂モルタル充填工法															
樹脂モルタル充填工法															



鳥取県  
令和6年度  
J 2400530  
総務部営繕課



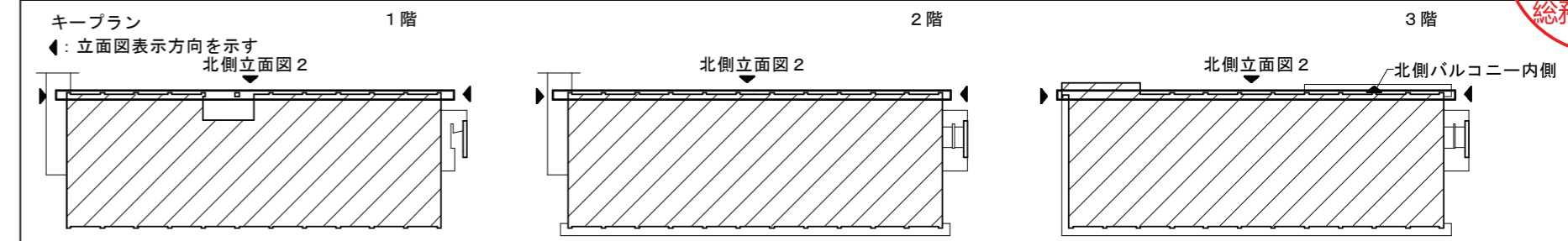
北側立面図 2 1/100  
建具改修前の姿を示す



Y1 通柱西側立面図 1/100

Y1 通柱東側立面図 1/100

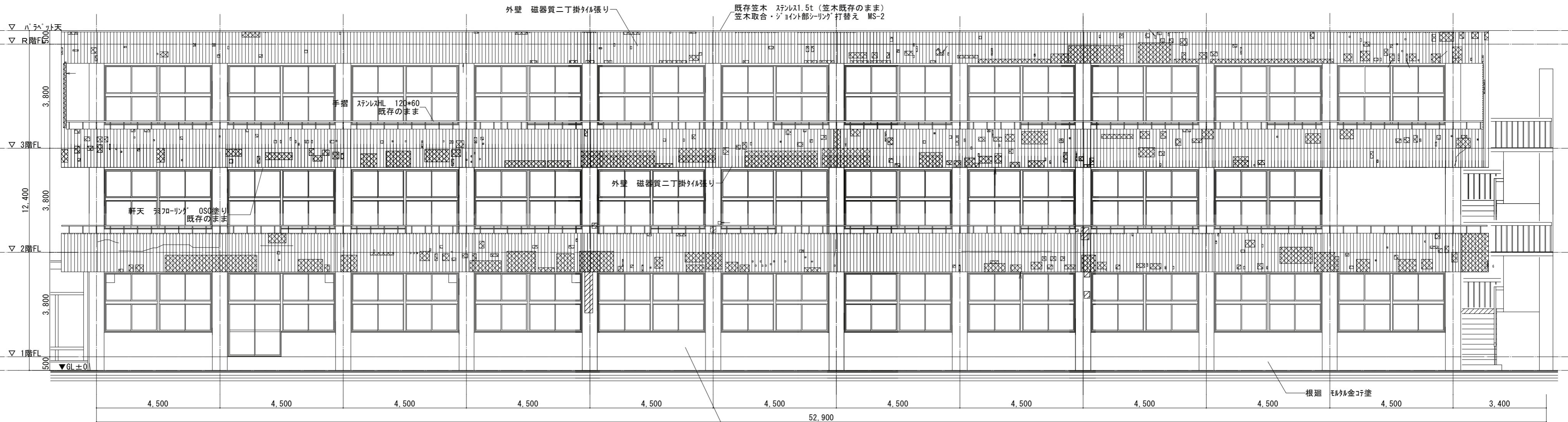
凡例	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面
0.25m2以上 フカビソック部分に杉樹脂注入工法															
0.25m2以上 フカビソック部分に杉樹脂注入工法															
ひび割れ															
浮き・欠損															
モルタル面 充てん工法* リマーセントモルタル 打放面 充てん工法* リマーセントモルタル タイル面 タイル部分張替え工法 (参考: 園代耐火工業所 グレイズ'レバHT-S6211)															
シーリング															
鉄筋露出															
樹脂モルタル充填工法															
シーリング再充填工法															



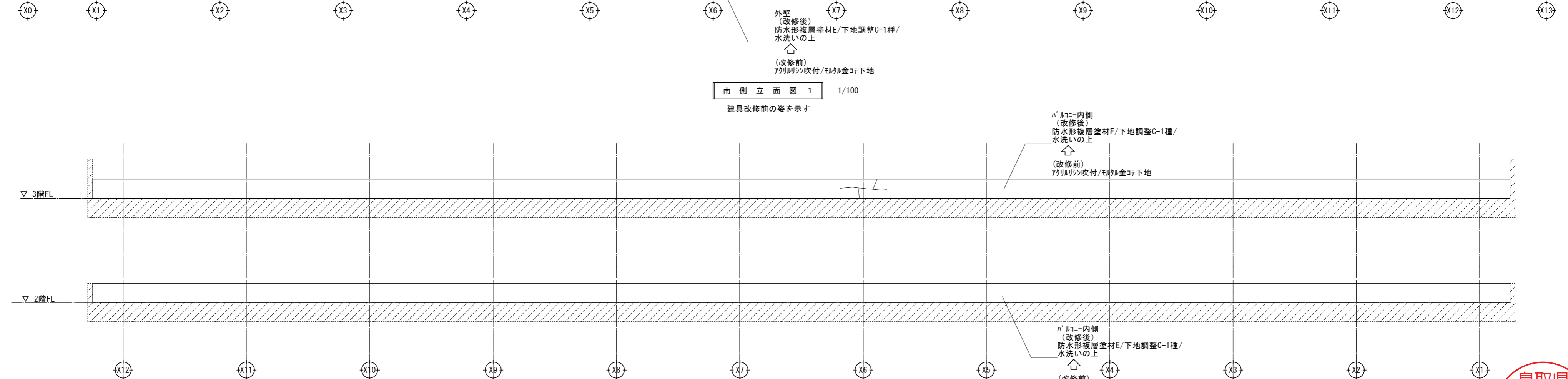
鳥取県  
令和6年度  
J2400530  
総務部管轄課

MEMO	TITLE	倉吉総合看護専門学校本館棟外壁等改修工事	管理建築士 長谷川 聖 (一級建築士登録第321664号)	Seri. No. 14
	NAME	【本館棟】 外壁改修図 北側立面図 2	Chief 長谷川 聖 (印)	Draw. No. HT-D A 13
	SCALE	1/100 [A3:1/150]	Date 25.03	Proj. No. HT-D 21003
			Name 長谷川 聖 (印)	

有限 安本設計事務所  
会社



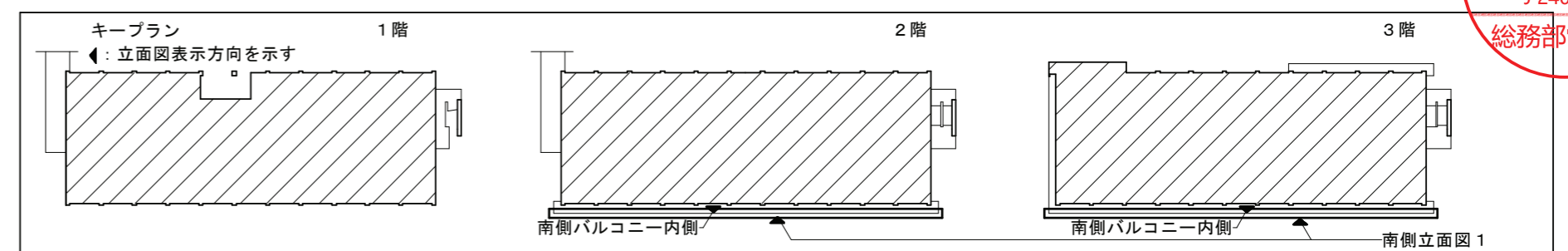
南側立面図 1 1/100  
 建具改修前の姿を示す



南側バルコニー内側 1/100

凡例

	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面
浮き	0.25m2以上 7ンカブリシ吹付部分 7ンカブリシ吹付部分			ひび割れ			浮き・欠損			シーリング		
	0.25m2以上 7ンカブリシ吹付部分 7ンカブリシ吹付部分			手動式樹脂注入工法			モルタル面 充てん工法 打放面 充てん工法 タイル面 タイル部分張替え工法 (参考: 園代耐火工業所 グレイズ'16HT-S6211)			シーリング 再充填工法		鉄筋露出
												樹脂モルタル充填工法



鳥取県  
 令和6年度  
 J2400530  
 総務部営繕課

有限 安本設計事務所

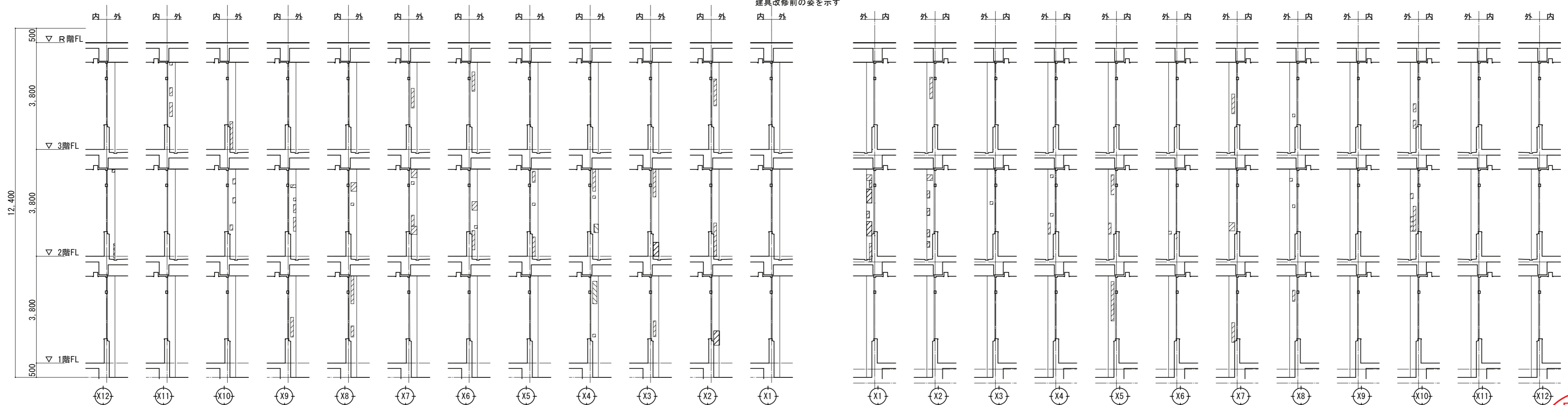
TITLE	倉吉総合看護専門学校本館棟外壁等改修工事	管理建築士 長谷川 聖 (一級建築士登録第321664号)	Seri. No.	15
NAME	【本館棟】 外壁改修図 南側立面図 1	Chief	Date	25.03
SCALE	1/100 [A3:1/150]	Proj. No.	HT-D	14
		Draw. No.	A	30

MEMO



南側立面図 2 1/100

建具改修前の姿を示す

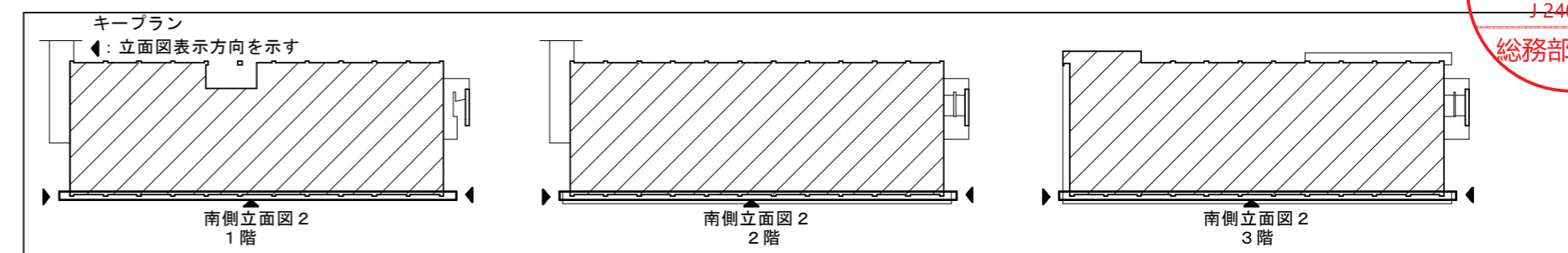


Y4 通柱西側立面図 1/100

Y4 通柱東側立面図 1/100

凡例

	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面
0.25m2以上 フカビ・シロカ部分 樹脂注入工法												
0.25m2以上 フカビ・シロカ部分 樹脂注入工法												
ひび割れ												
浮き・欠損												
モルタル面 充てん工法 打放面 充てん工法 タイル面 タイル部分張替え工法 (参考: 園代耐火工業所 グレイト HT-S6211)												
シーリング												
鉄筋露出												
樹脂モルタル充填工法												
シーリング再充填工法												

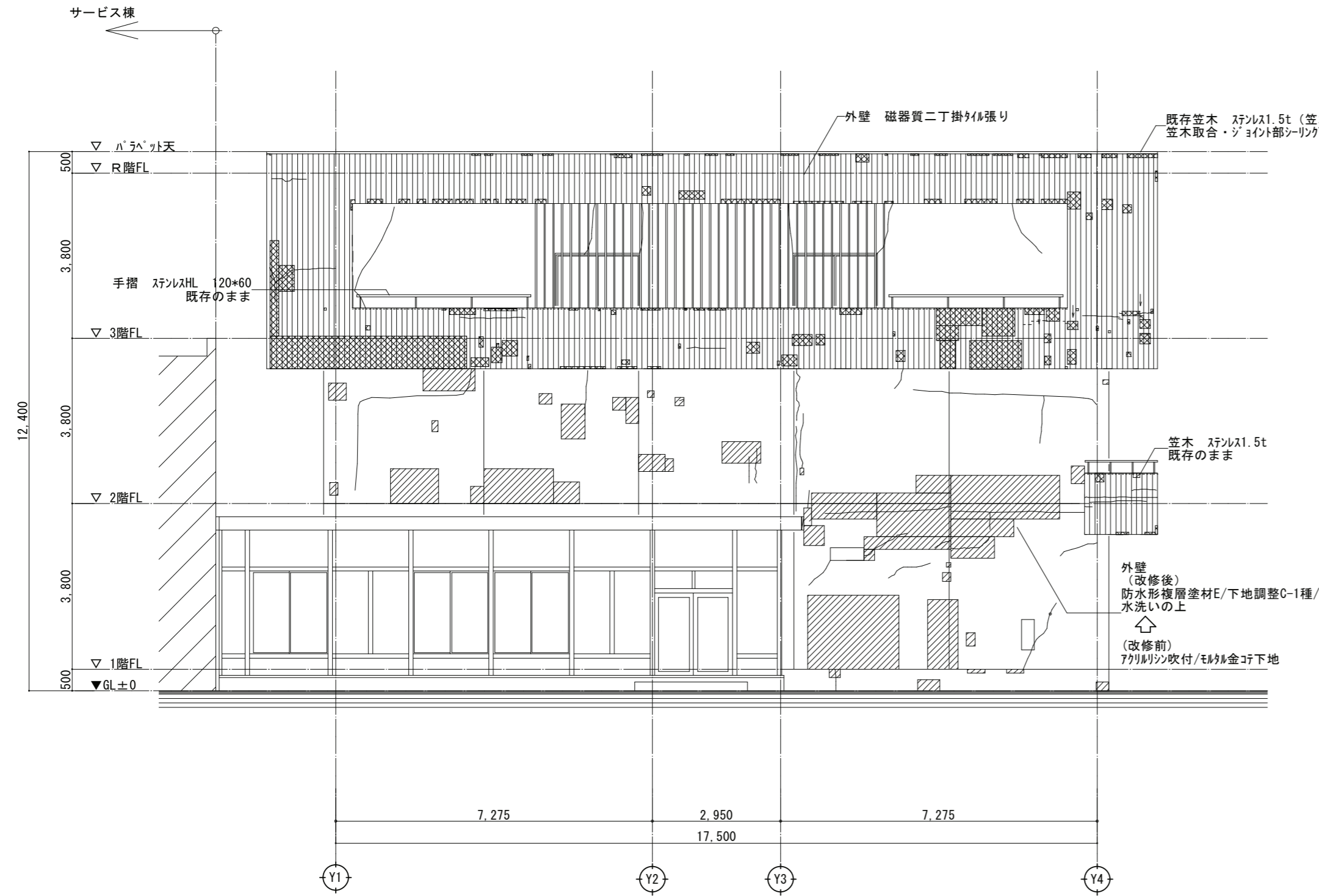


鳥取県  
令和6年度  
J2400530  
総務部管轄課

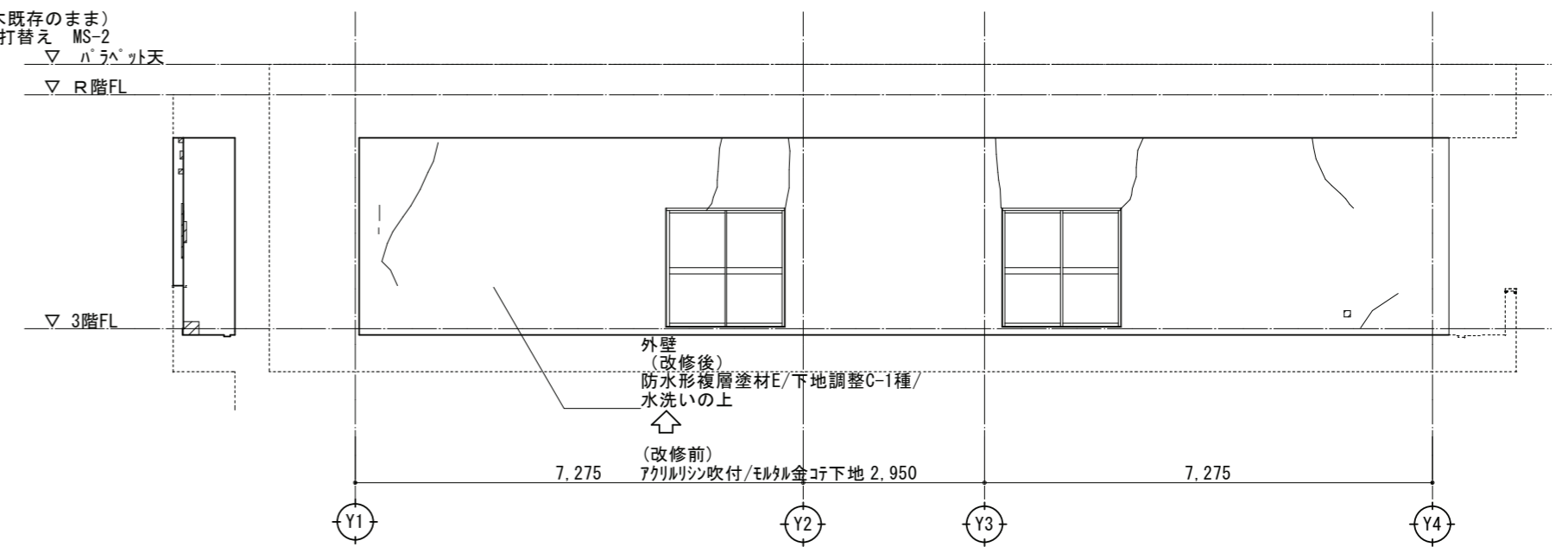
MEMO

有限 安本設計事務所

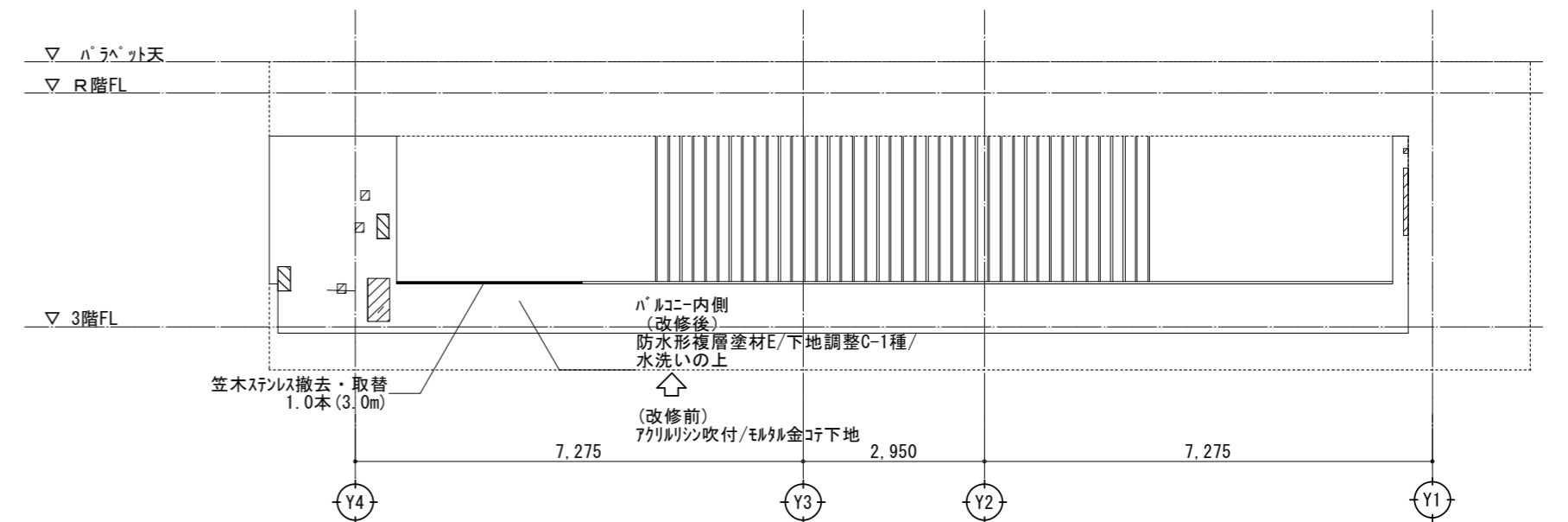
TITLE	倉吉総合看護専門学校本館棟外壁等改修工事	管理建築士 長谷川 聖 (一級建築士登録第321664号)	Seri. No.	16
NAME	【本館棟】 外壁改修図 南側立面図 2	Drawer/Belonging Bel. 安本設計事務所	Proj. No.	HT-D 15
SCALE	1/100 [A3:1/150]	Name 長谷川 聖 (印)	Date 25.03	Draw. No. A 30



西側立面図 1 1/100  
建具改修前の姿を示す

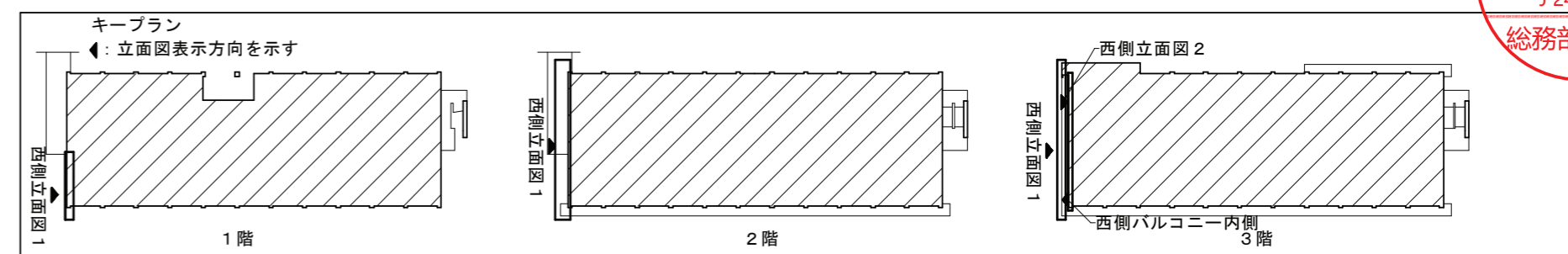


西側立面図 2 1/100  
建具改修前の姿を示す

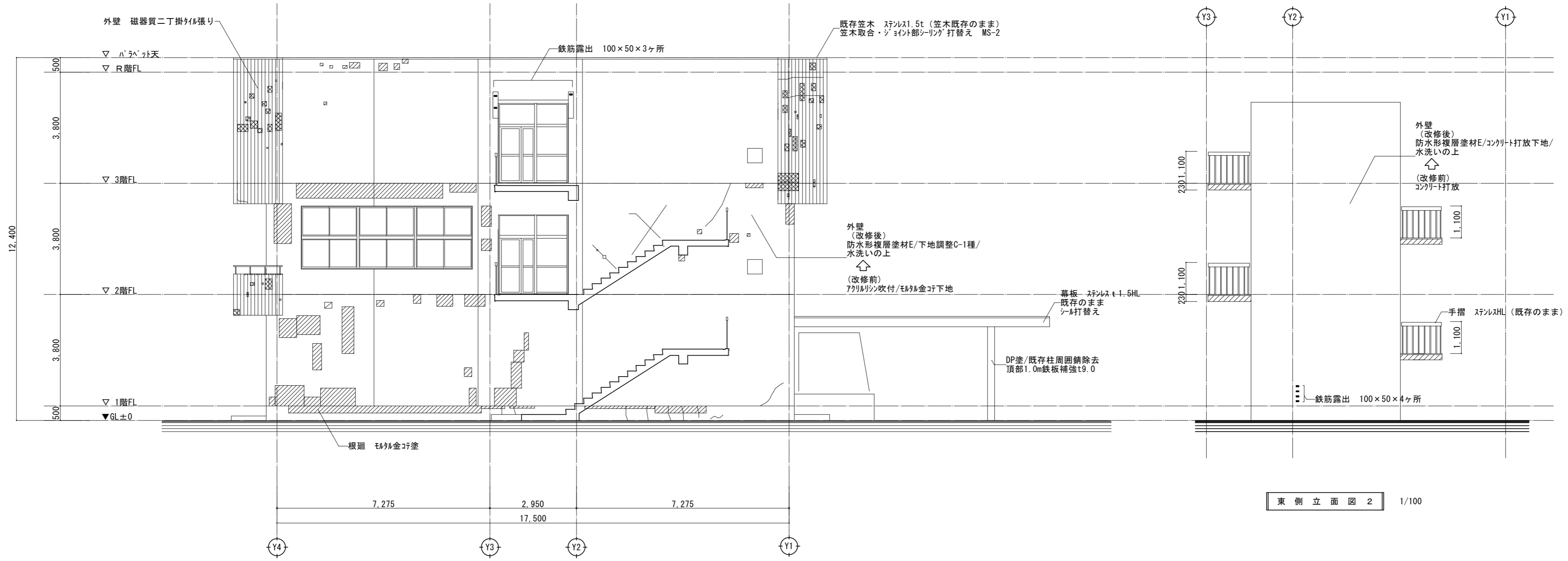


西側バルコニー内側 1/100

凡例	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面
浮き	斜線		格子	斜線		格子	斜線		格子	斜線		格子
ひび割れ		波線			波線			波線			波線	
0.25m2以上 アンカー・シリング部分に 樹脂注入工法				手動式樹脂注入工法			浮き・欠損			モルタル面 充填工法 打放面 充填工法 タイル面 タイル部分張替え工法 (参考: 園代耐火工業所 グレイトHT-S6211)	シーリング	シーリング 再充填工法
0.25m2以上 アンカー・シリング部分に 樹脂注入工法											鉄筋露出	樹脂モルタル充填工法



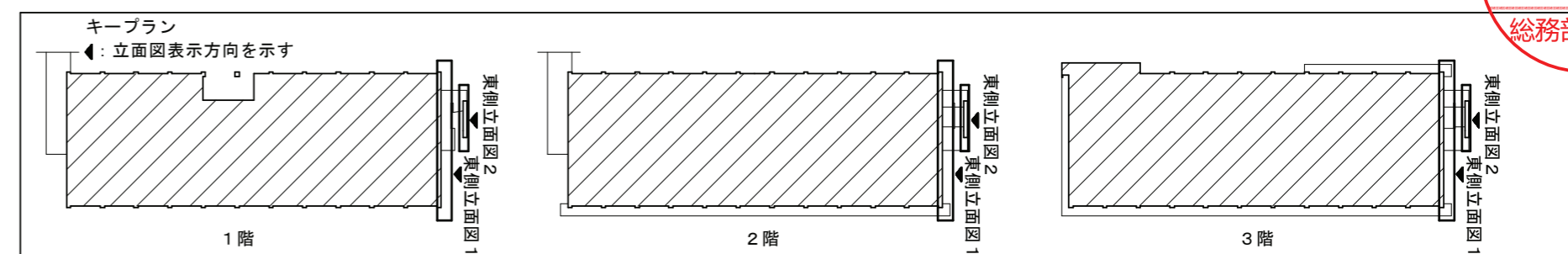
鳥取県  
令和6年度  
J2400530  
総務部営繕課



東側立面図 1 1/100  
建具改修前の姿を示す

東側立面図 2 1/100

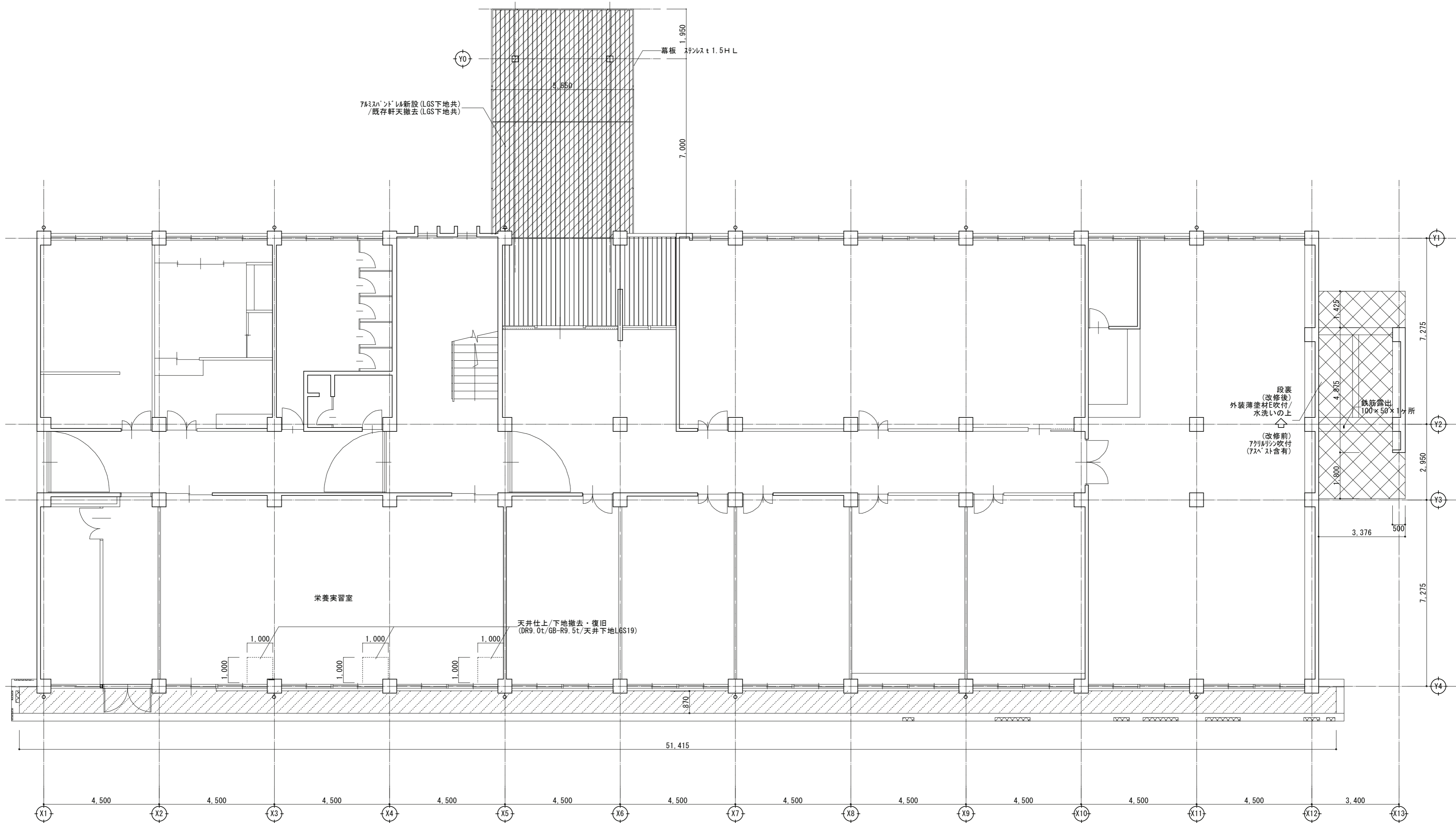
凡例	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面
浮き	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]
ひび割れ	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]
手動式樹脂注入工法	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]
浮き・欠損	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]
モルタル面 充てん工法※リマーセメントモルタル 打放面 充てん工法※リマーセメントモルタル タイル面 タイル部分張替え工法 (参考: 園代耐火工業所 グレイズプロHT-S6211)	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]
シーリング	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]
シーリング 再充填工法	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]
鉄筋露出	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]
樹脂モルタル充填工法	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]



鳥取県  
令和6年度  
J2400530  
総務部営繕課

MEMO	TITLE	倉吉総合看護専門学校本館棟外壁等改修工事	管理建築士 長谷川 聖 (一級建築士登録第321664号)	Seri. No.	18
	NAME	【本館棟】 外壁改修図 東側立面図	Chief	25.03	HT-D
	SCALE	1/100 [A3:1/150]	Date	21003	A 17
			Name	長谷川 聖 (印)	30

有限 安本設計事務所  
会社



1階軒裏図 1/100

凡例

	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面	
浮き													
ひび割れ	0.25m <sup>2</sup> 以上 アンカボルト部分に樹脂注入工法			0.25m <sup>2</sup> 以上 アンカボルト部分に樹脂注入工法			浮き・欠損 モルタル面 充填工法*リマーセメントモルタル 打放面 充填工法*リマーセメントモルタル タイル面 タイル部分張替え工法 (参考: 園代耐火工業所 グレイズ'12HT-S6211)			シーリング	シーリング再充填工法	鉄筋露出	樹脂モルタル充填工法

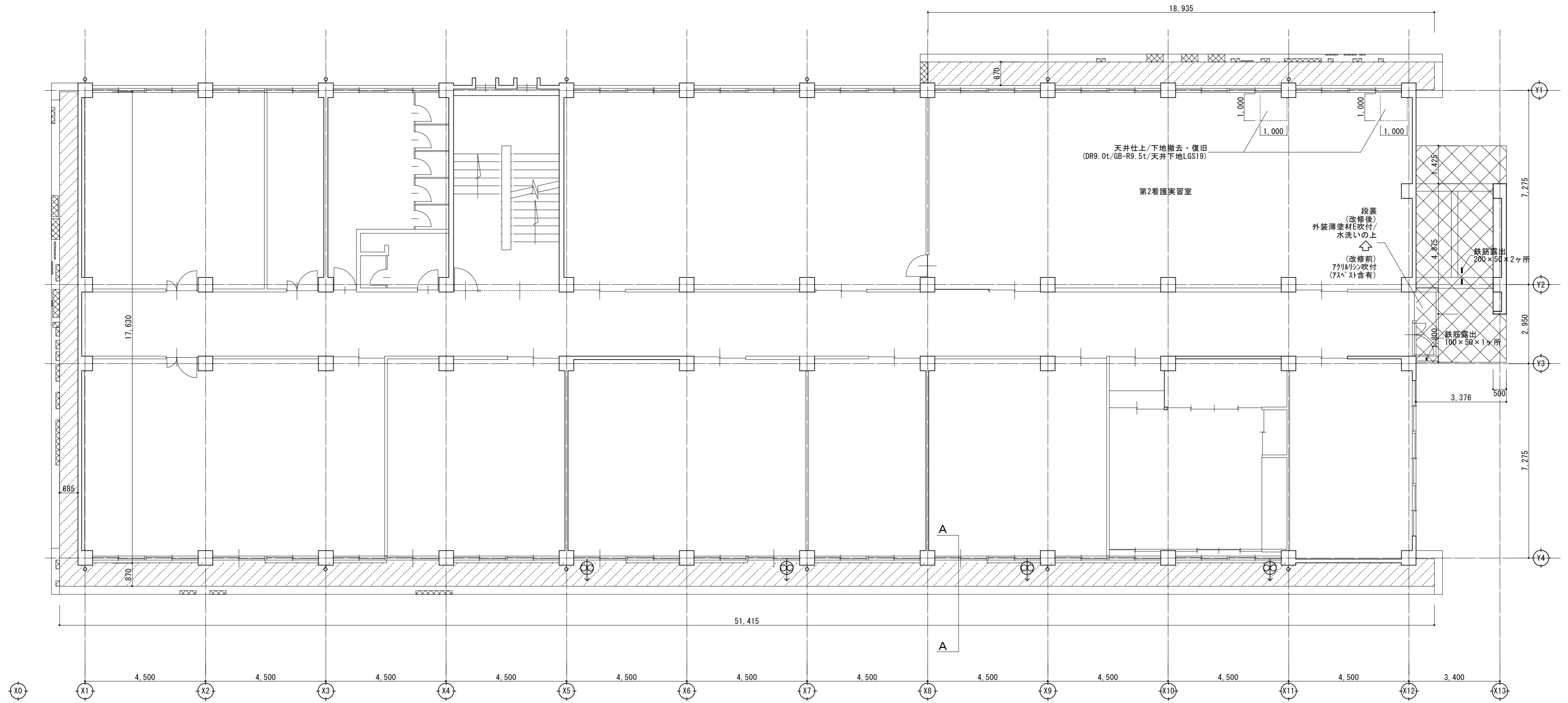
- 軒天張替えヶ所を示す  
屋外耐候性フィルム貼り(木目)/ケイ酸カルシウム板t6.0下地(既存木下地)
- 既存5mmローリングOSC塗り 撤去処分
- 軒天張替えヶ所を示す  
屋外耐候性フィルム貼り(木目)/ケイ酸カルシウム板t6.0下地(既存木下地)
- 既存ケイ酸カルシウム板t6.0 撤去処分 (レ#3)

MEMO

有限 安本設計事務所

TITLE	倉吉総合看護専門学校本館棟外壁等改修工事	管理建築士 長谷川 聖 (一級建築士登録第321664号)	Seri. No. 19
NAME	【本館棟】 1階天井伏図	Chief	Draw. No. HT-D A 18
SCALE	1/100 [A3:1/150]	Date 25.03	Draw. No. 21003

鳥取県  
令和6年度  
J 2400530  
総務部管轄課



2階軒裏図 1/100

軒天張替えヶ所を示す  
 外装薄塗材E吹付/クイ酸加砂t6.0下地(既存木下地)  
 既存3530-リング OSC塗り 撤去処分

凡例

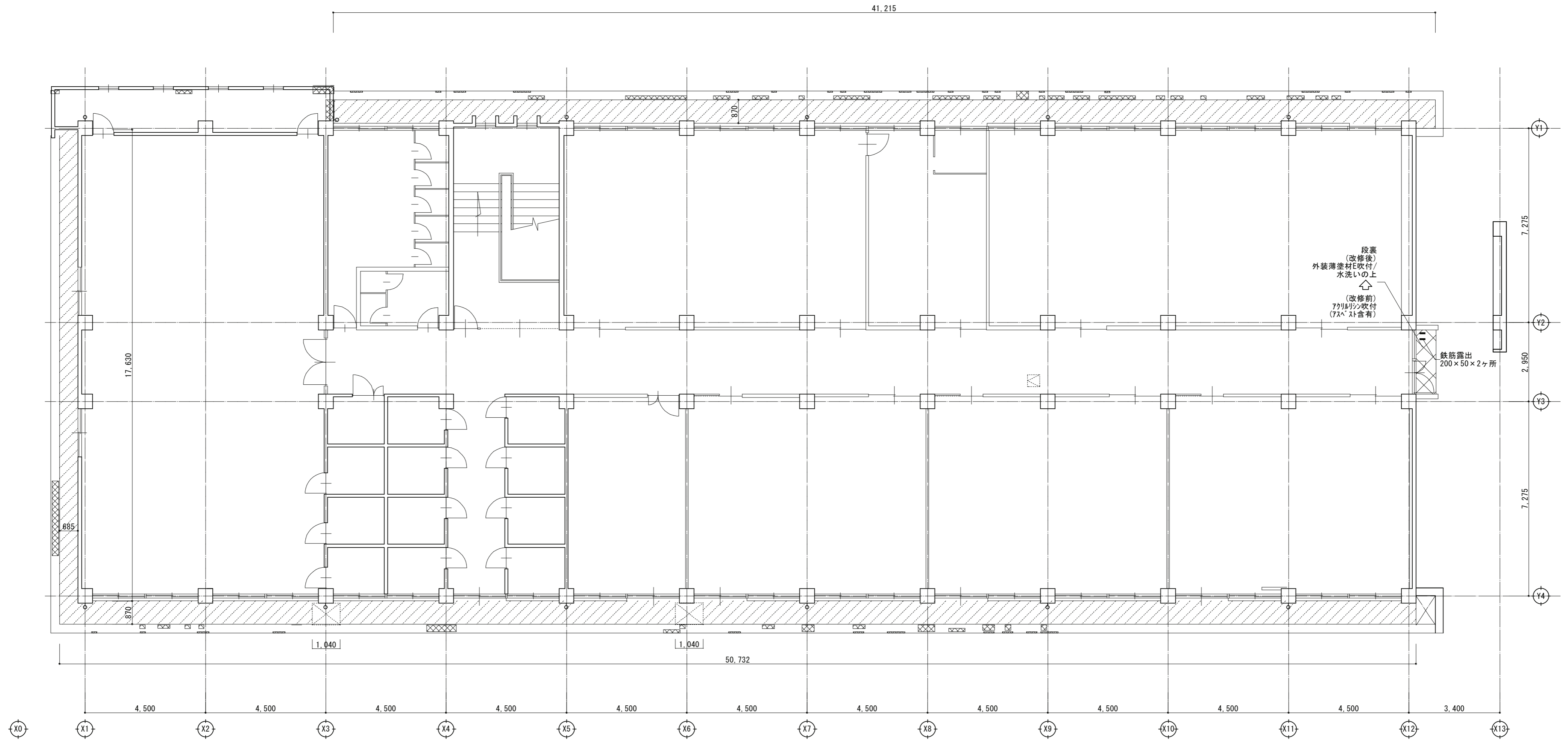
	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面
浮き															
ひび割れ	0.25m <sup>2</sup> 以上 アンカビシニング部分E*杉樹脂注入工法			0.25m <sup>2</sup> 以上 アンカビシニング部分E*杉樹脂注入工法			浮き・欠損 モルタル面 充てん工法*リマーセメントモルタル 打放面 充てん工法*リマーセメントモルタル タイル面 タイル部分張替え工法 (参考: 園代耐火工業所 'グレイズ' HT-S6211)			シーリング シーリング再充填工法			鉄筋露出 樹脂モルタル充填工法		

MEMO

有限 安本設計事務所

TITLE	倉吉総合看護専門学校本館棟外壁等改修工事	管理建築士 長谷川 聖 (一級建築士登録第321664号)	Seri. No.	20
NAME	【本館棟】 2階天井伏図	Drawer/Belonging Bel. 安本設計事務所	Chief	Date
SCALE	1/100 [A3:1/150]	Name 長谷川 聖 (印)	25.03	21003
		Proj. No. HT-D	Draw. No. A	19
				30





3階軒裏図 1/100

凡例

	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面	モルタル面	打放面	タイル面
浮き										シーリング					
	0.25m2以上 アンカボルト部分に杉樹脂注入工法		0.25m2以上 アンカボルト部分に杉樹脂注入工法	ひび割れ	浮き・欠損	モルタル面 充填工法*リマーセメントモルタル 打放面 充填工法*リマーセメントモルタル タイル面 タイル部分張替え工法 (参考: 園代耐火工業所 グレイズ'レバHT-S6211)	シーリング	シーリング再充填工法	鉄筋露出	樹脂モルタル充填工法					

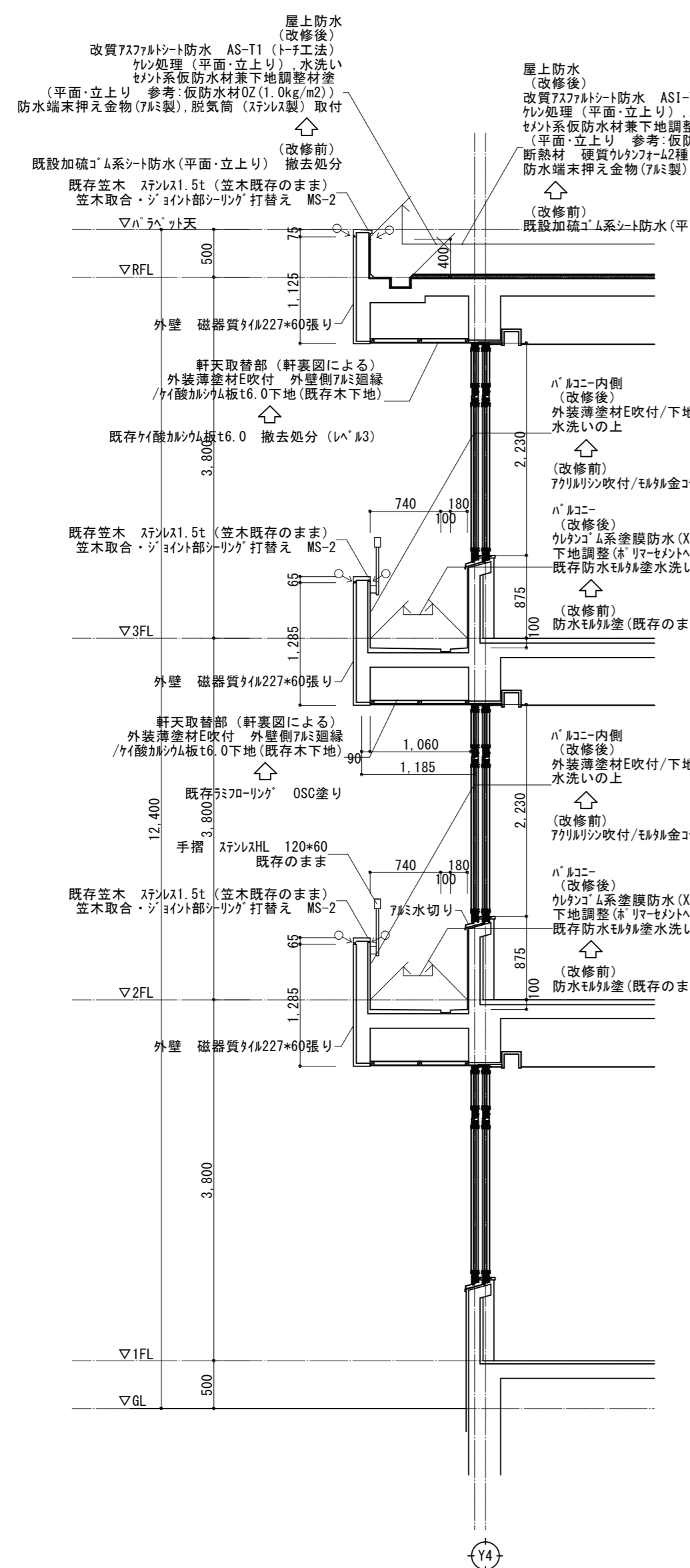
- 軒天張替えヶ所を示す  
外装薄塗材E吹付/ケ酸加矽ム板t6.0下地(既存木下地)
- 既存5570-リング OSC塗り 撤去処分
- 軒天張替えヶ所を示す  
外装薄塗材E吹付/ケ酸加矽ム板t6.0下地(既存木下地)
- 既存ケ酸加矽ム板t6.0 撤去処分 (レバ#3)

MEMO

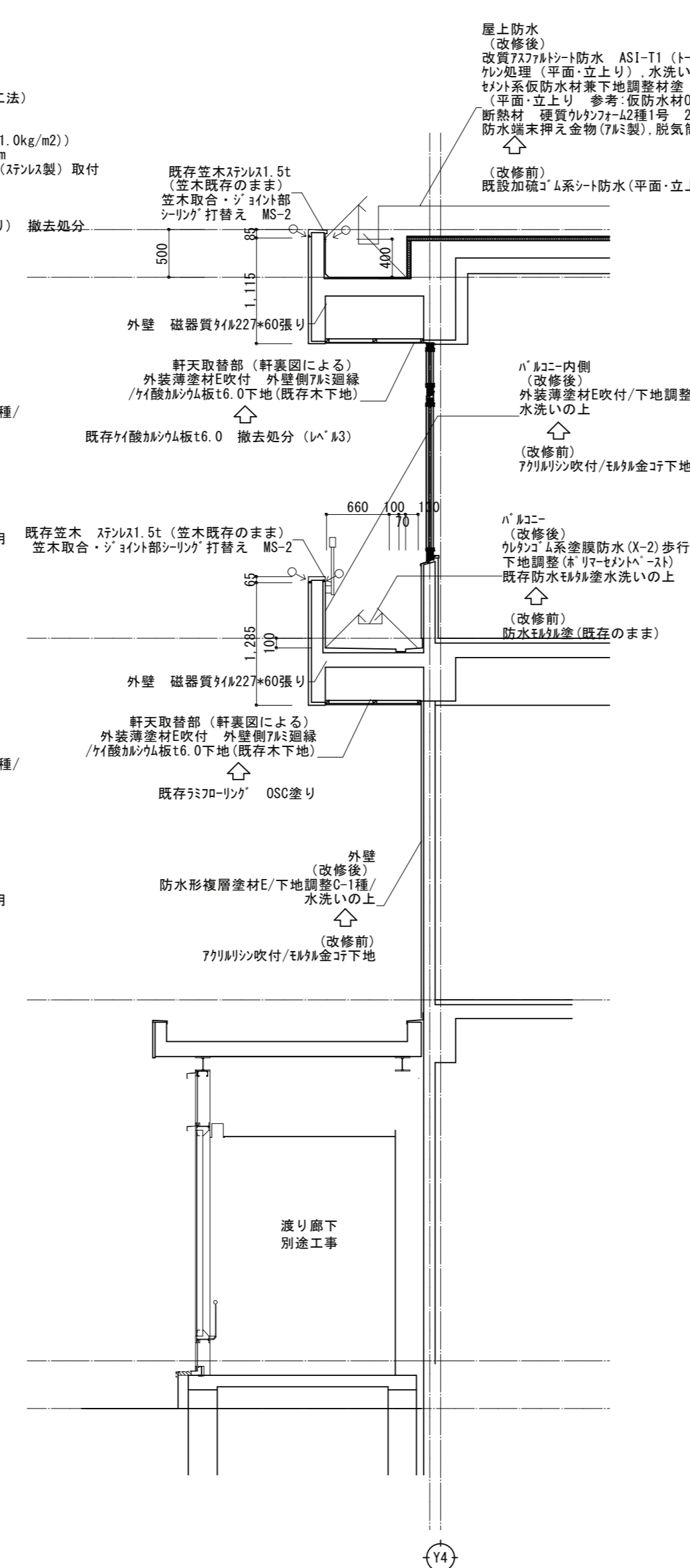
有限 安本設計事務所

TITLE	倉吉総合看護専門学校本館棟外壁等改修工事	管理建築士 長谷川 聖 (一級建築士登録第321664号)	Seri. No. 21
NAME	【本館棟】 3階天井伏図	Drawer/Belonging Bel. 安本設計事務所	Proj. No. HT-D A-20
SCALE	1/100 [A3:1/150]	Name 長谷川 聖 (印)	Chief (印)
		Date 25.03	Draw. No. HT-D 21003

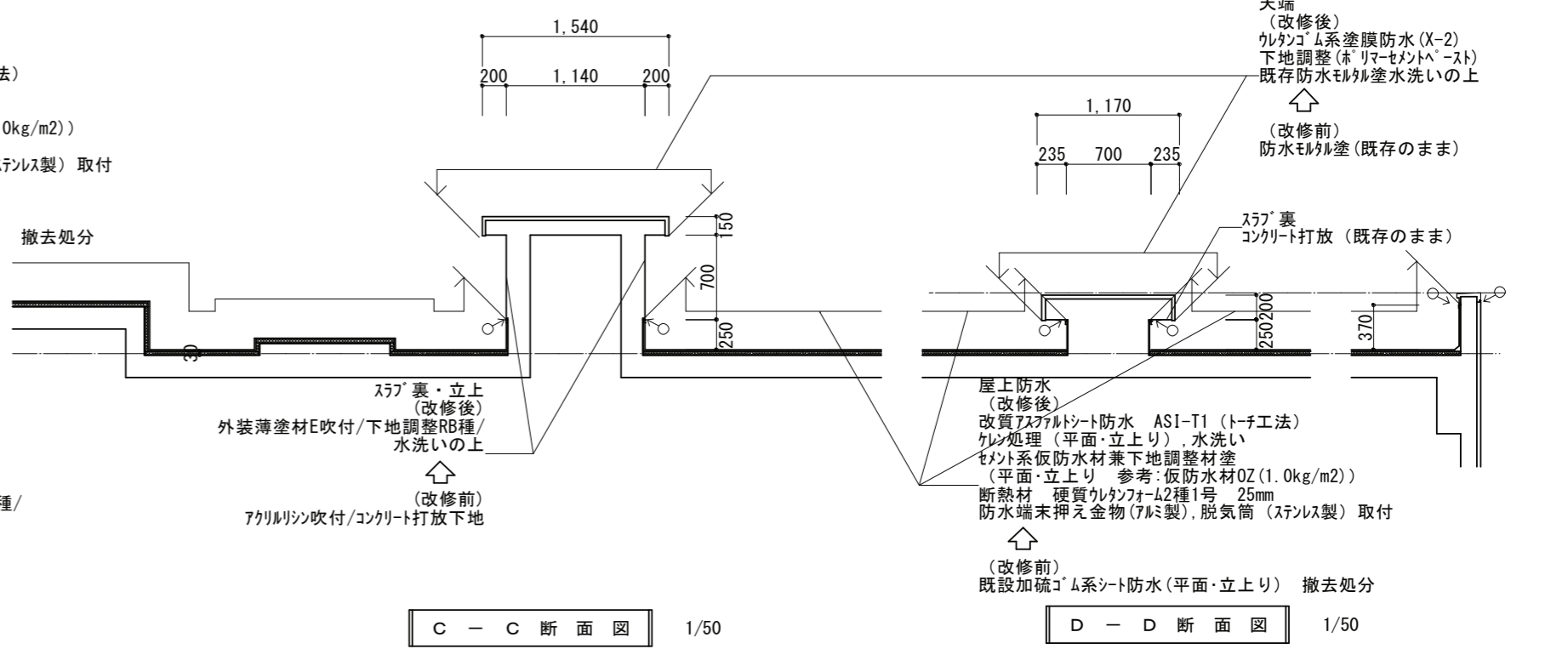




**A - A 断面図** 1/50  
 取合シリング打替え MS-2  
 (既存シリング撤去)

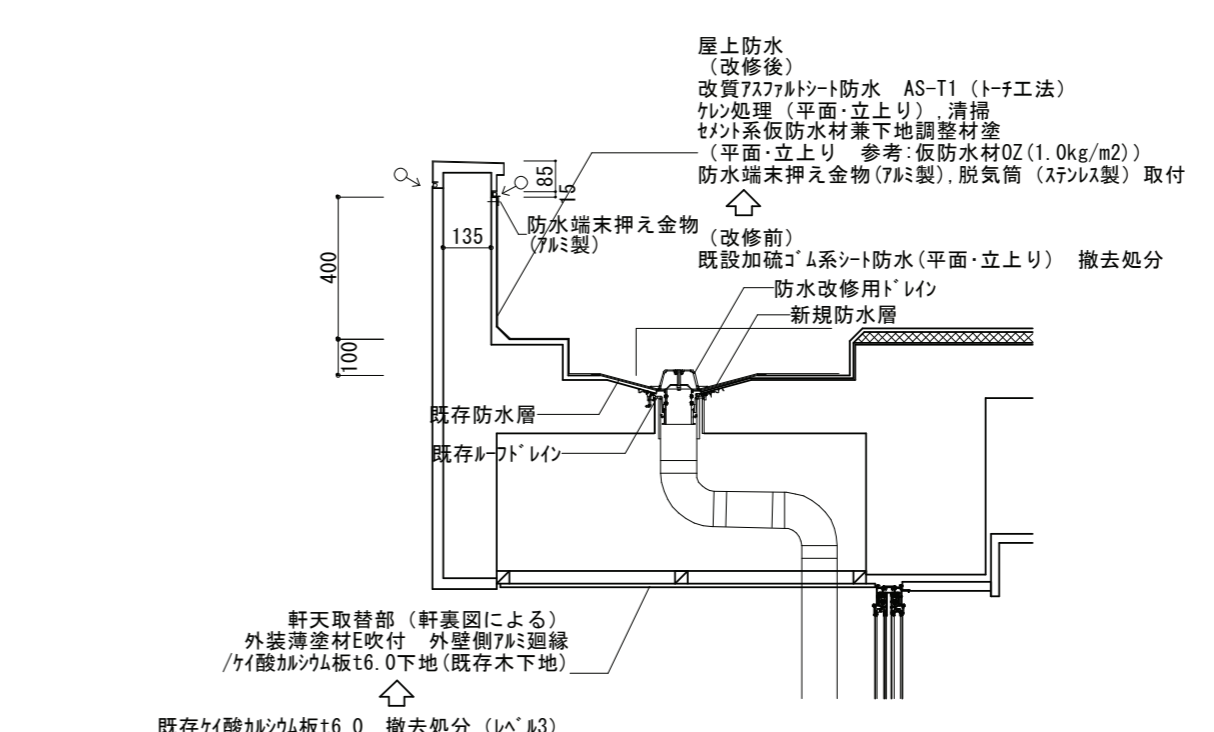


**B - B 断面図** 1/50  
 取合シリング打替え MS-2  
 (既存シリング撤去)

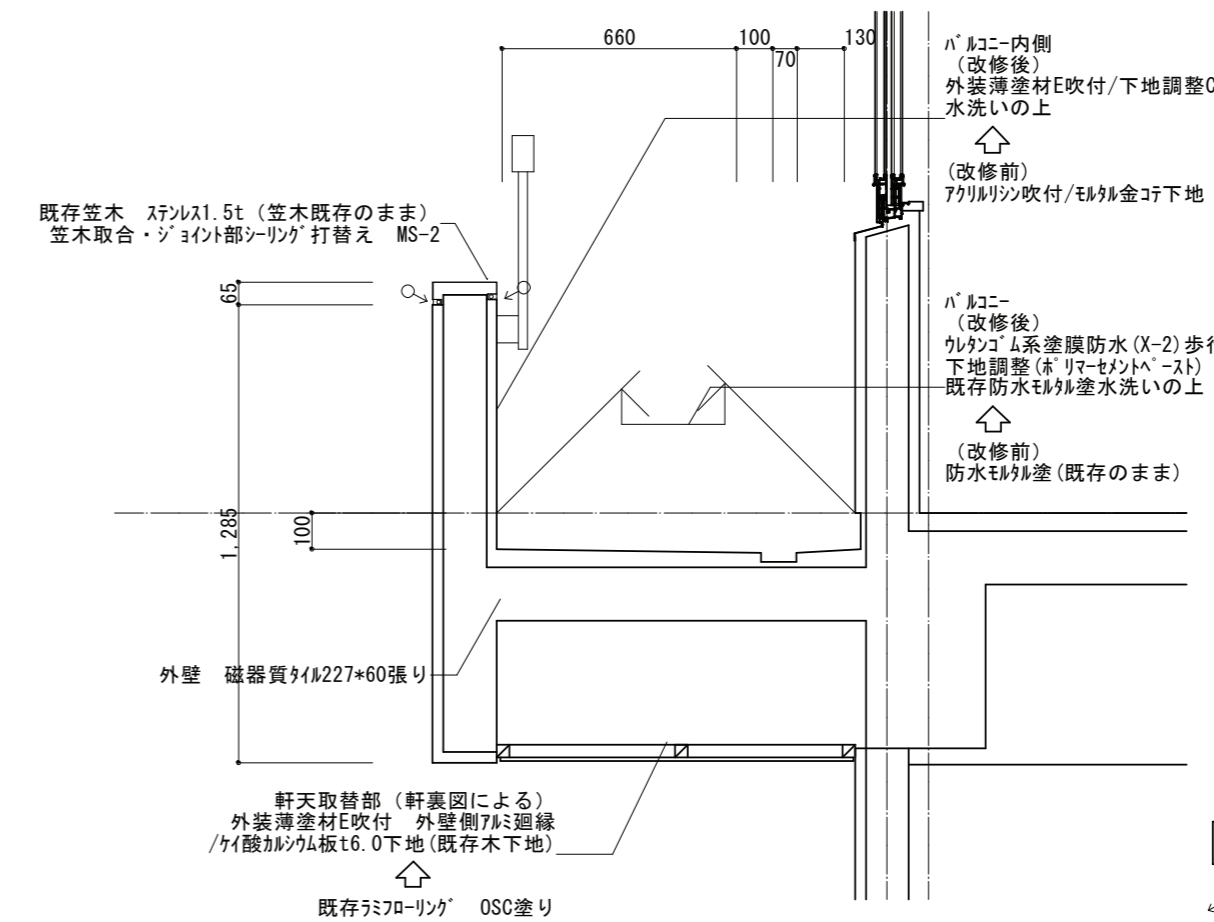


**C - C 断面図** 1/50

**D - D 断面図** 1/50

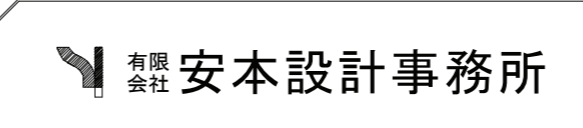


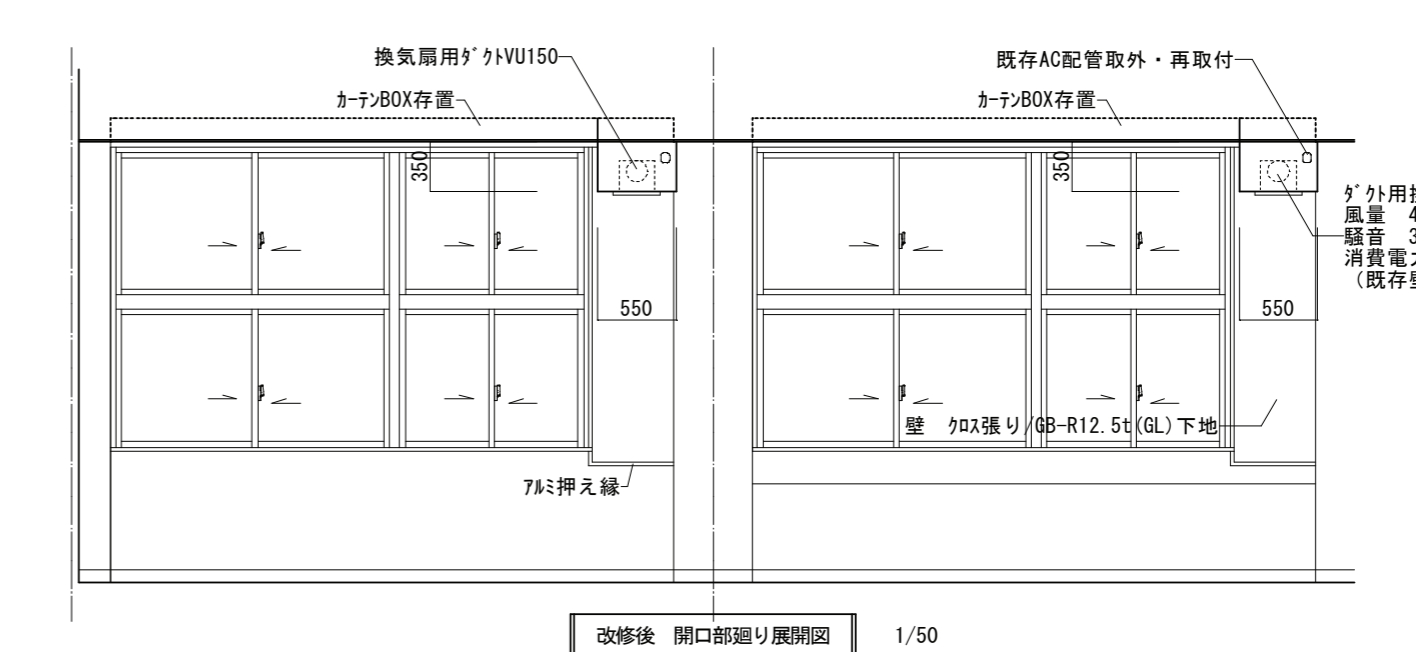
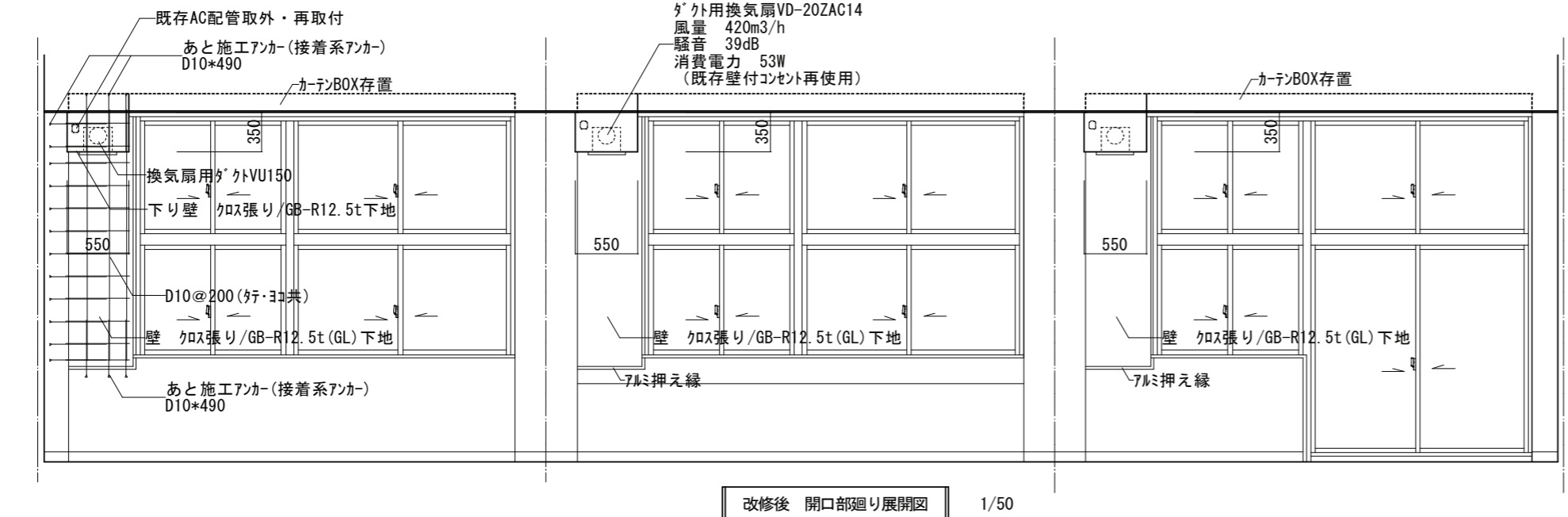
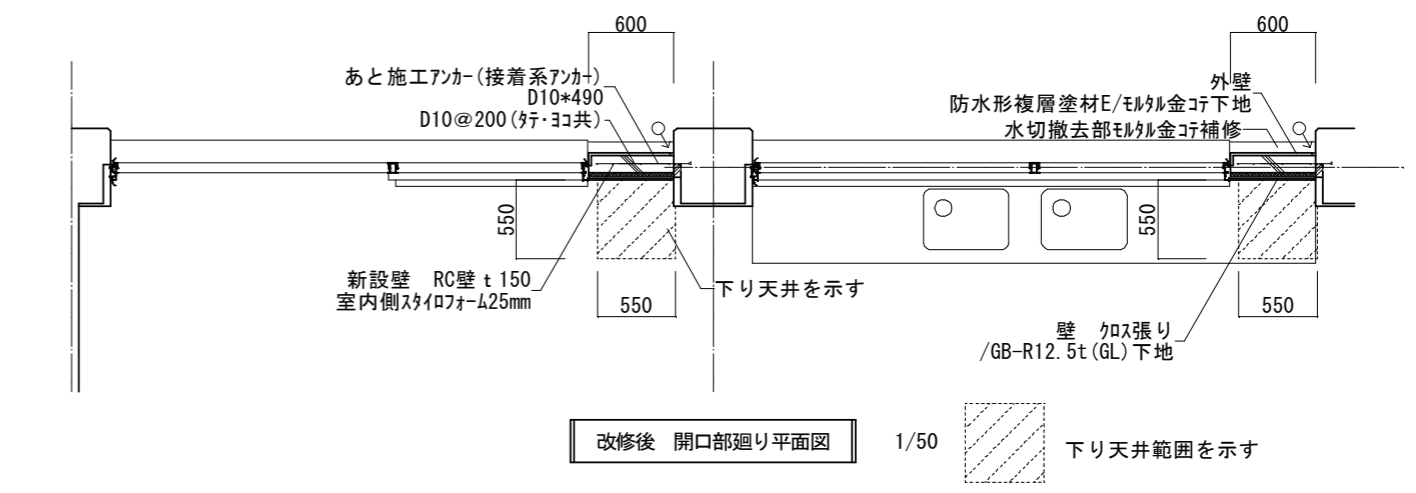
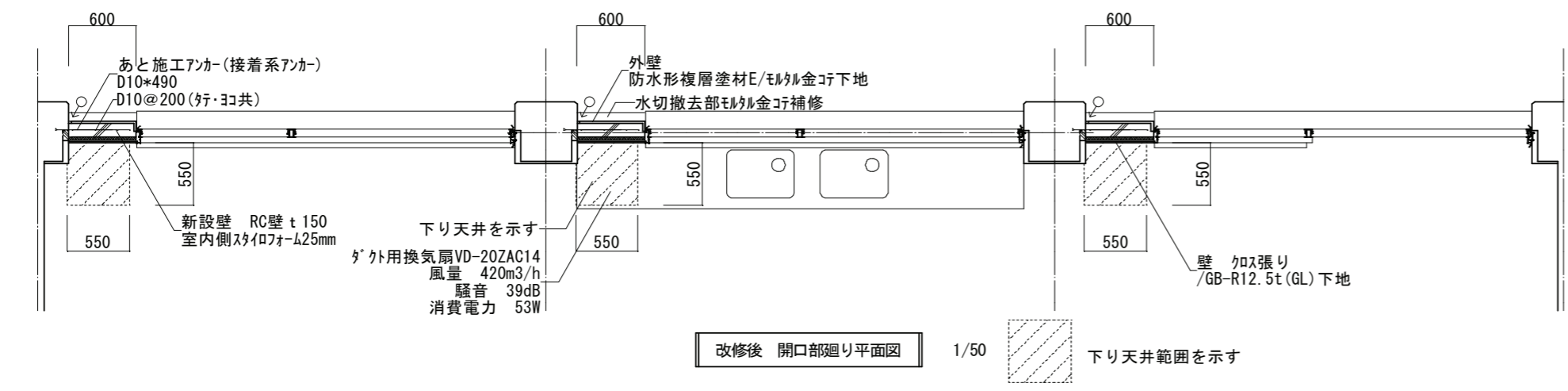
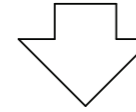
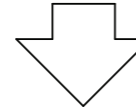
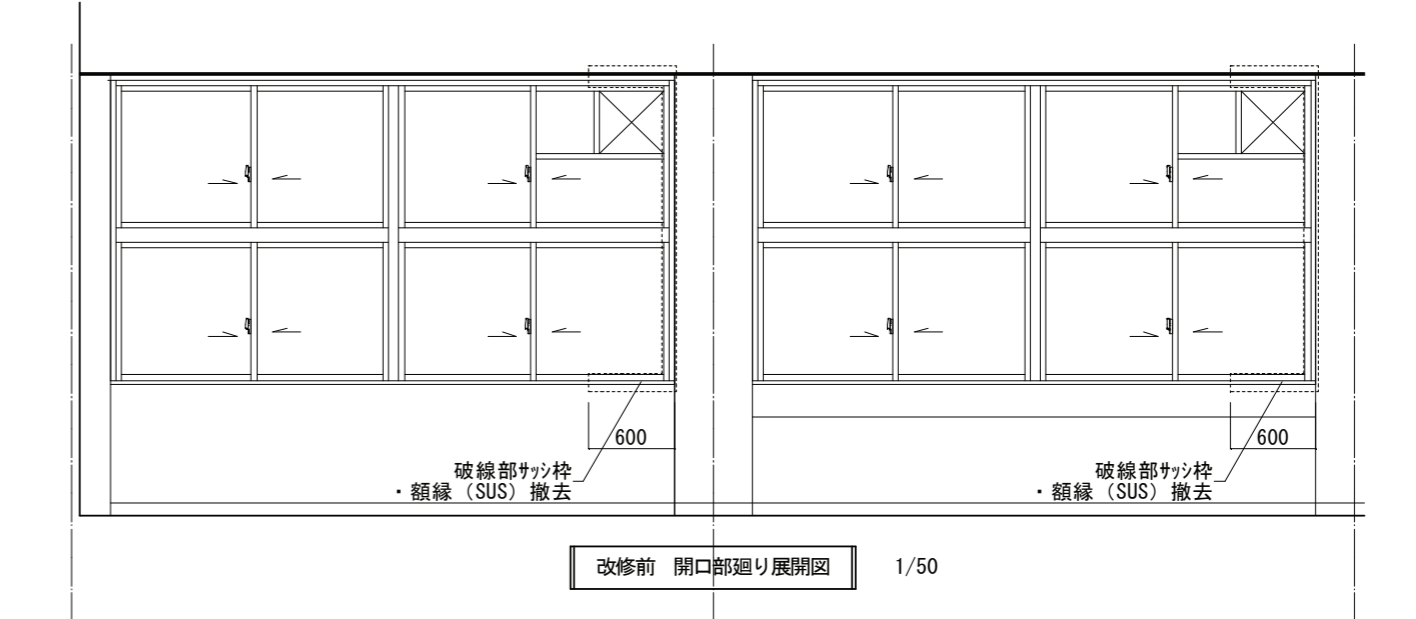
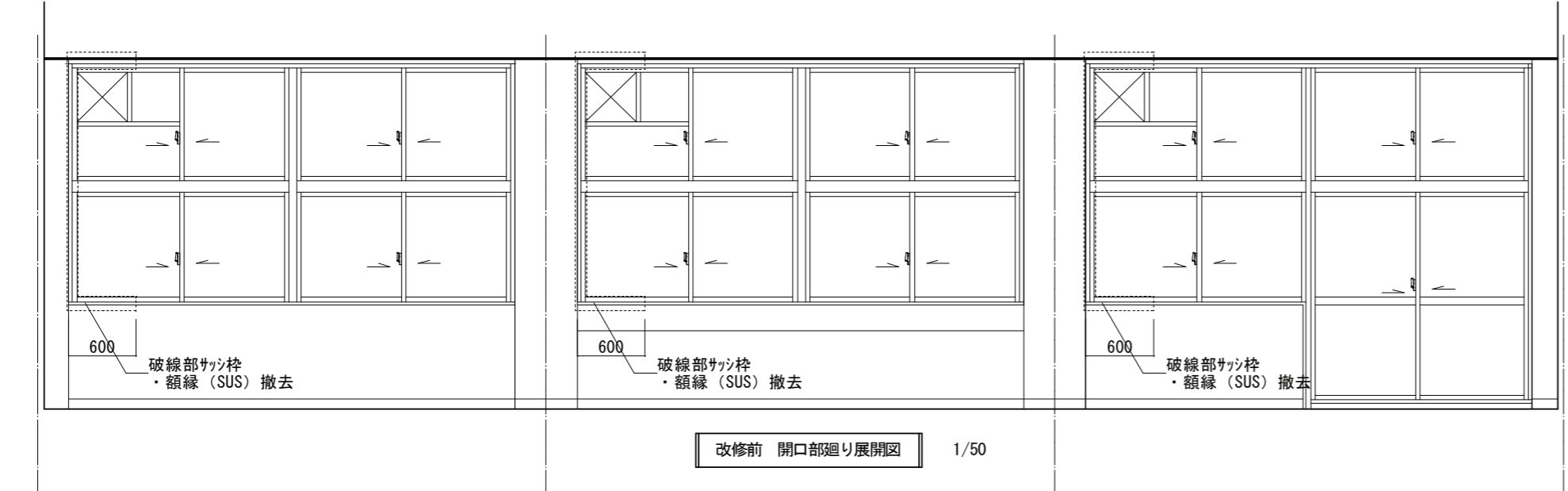
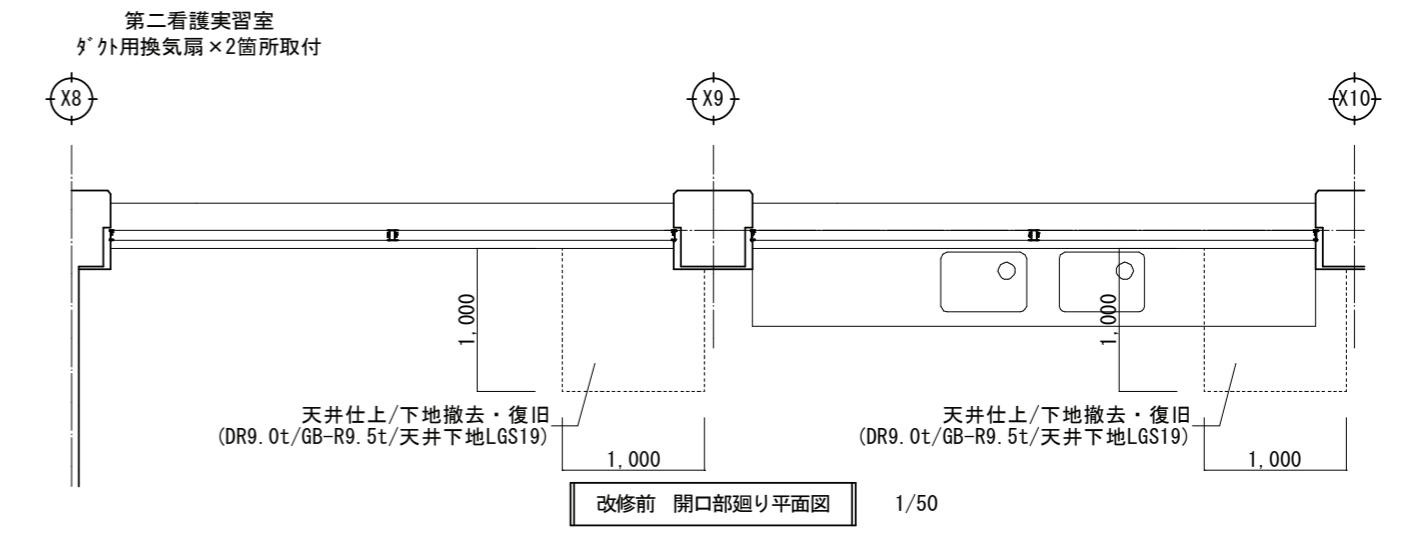
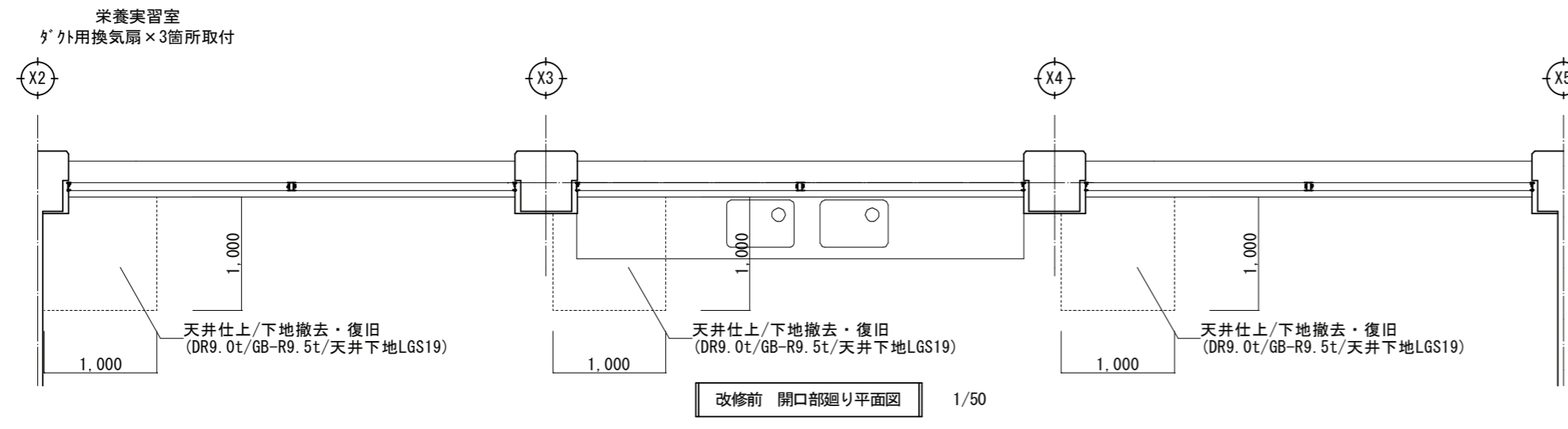
**パラペット詳細図** 1/20  
 取合シリング打替え MS-2  
 (既存シリング撤去)



**バルコニー詳細図** 1/20  
 取合シリング打替え MS-2  
 (既存シリング撤去)

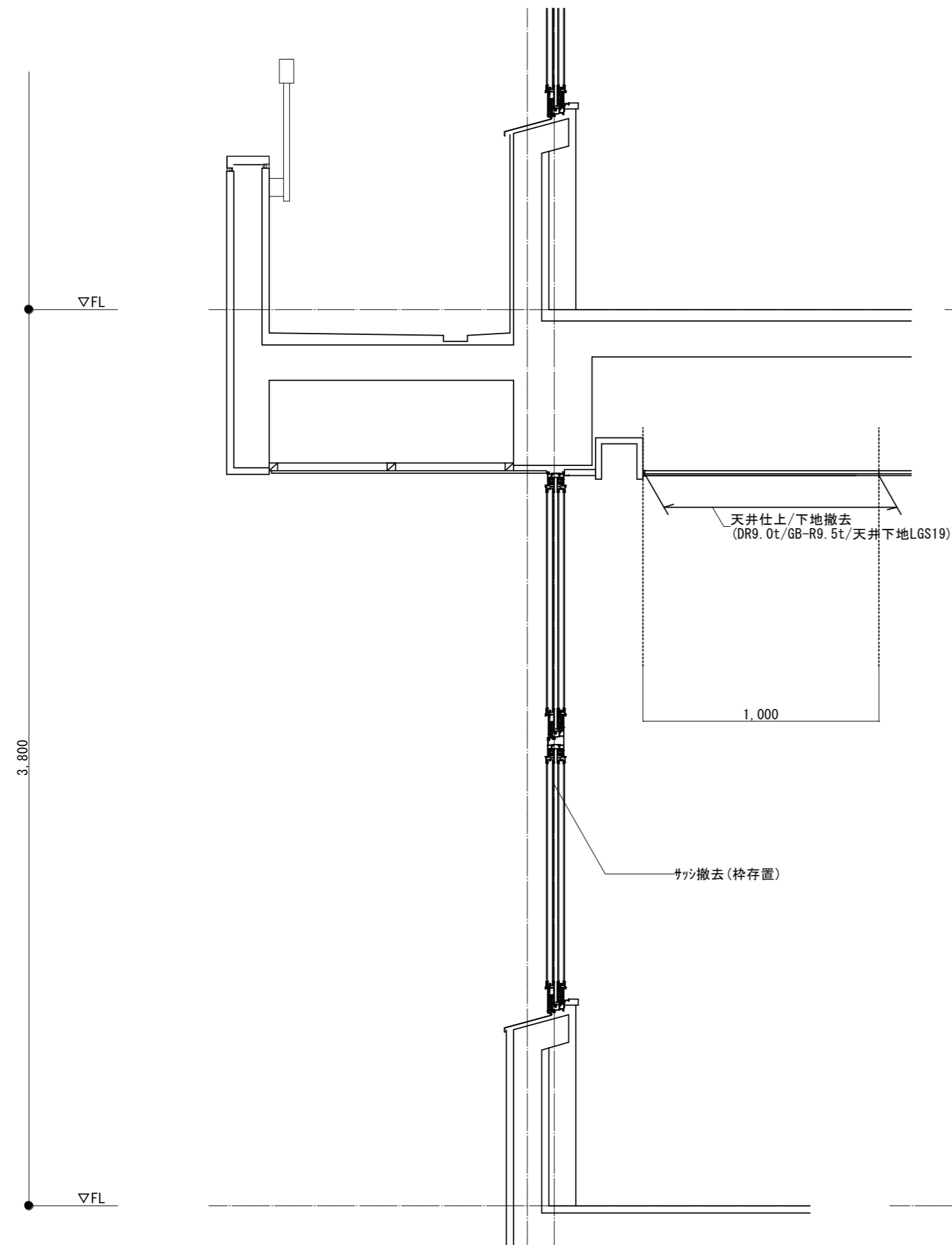
MEMO	TITLE	倉吉総合看護専門学校本館棟外壁等改修工事	管理建築士 長谷川 聖 (一級建築士登録第321664号)	Seri. No. 22
	NAME	【本館棟】 防水改修図	Chief	Draw. No.
	SCALE	1/50, 20 [A3:1/75, 30]	Date 25.03	Proj. No. HT-D A 21
			Name 長谷川 聖 (印)	Draw. No. 21003



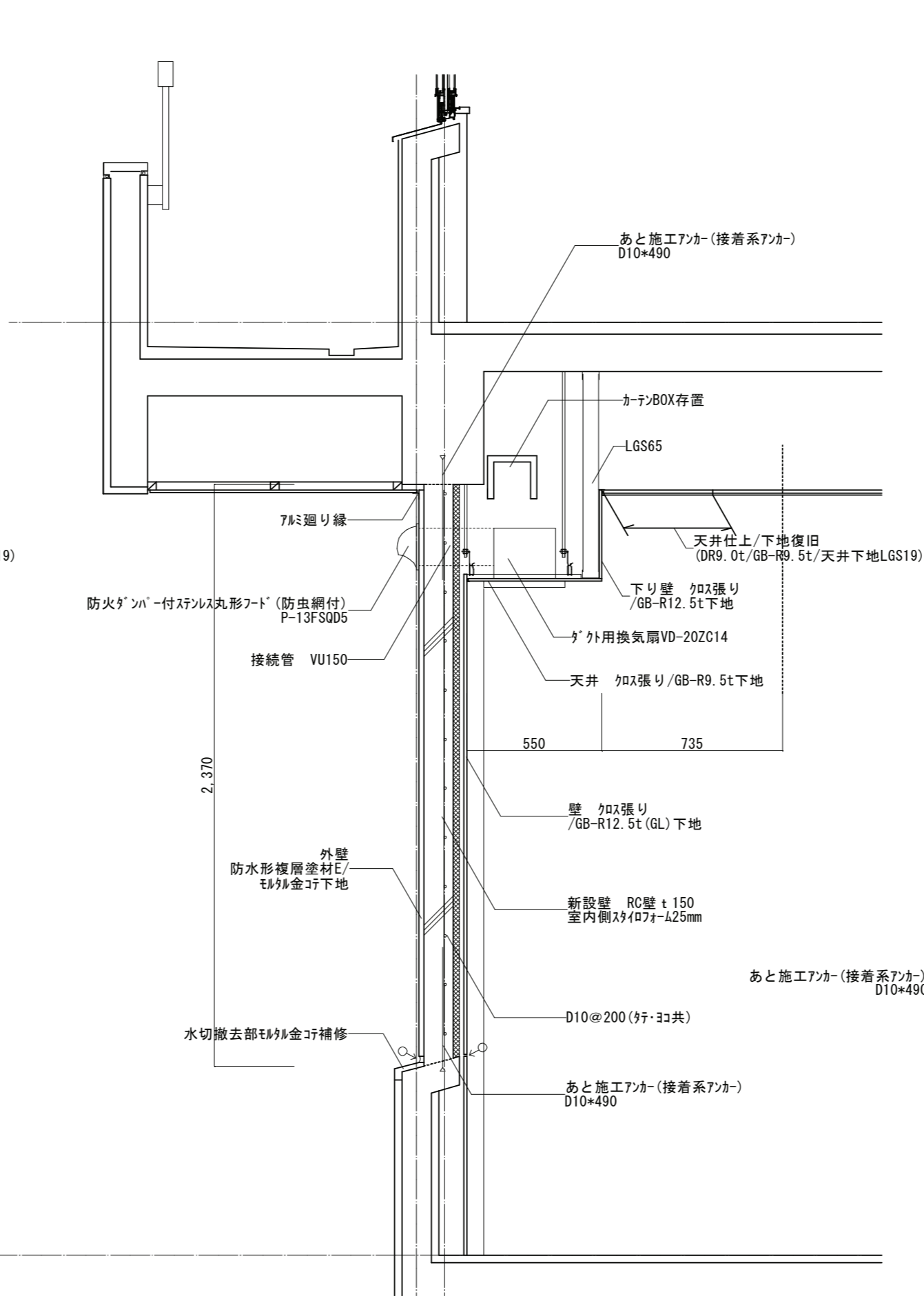


MEMO	TITLE	倉吉総合看護専門学校本館棟外壁等改修工事	管理建築士 長谷川 聖 (一級建築士登録第321664号)	Seri. No. 23
	NAME	【本館棟】 換気扇取付図	Chief	Draw. No.
	SCALE	1/50 [A3:1/75]	Date 25.03	Proj. No. HT-D A-22 21003

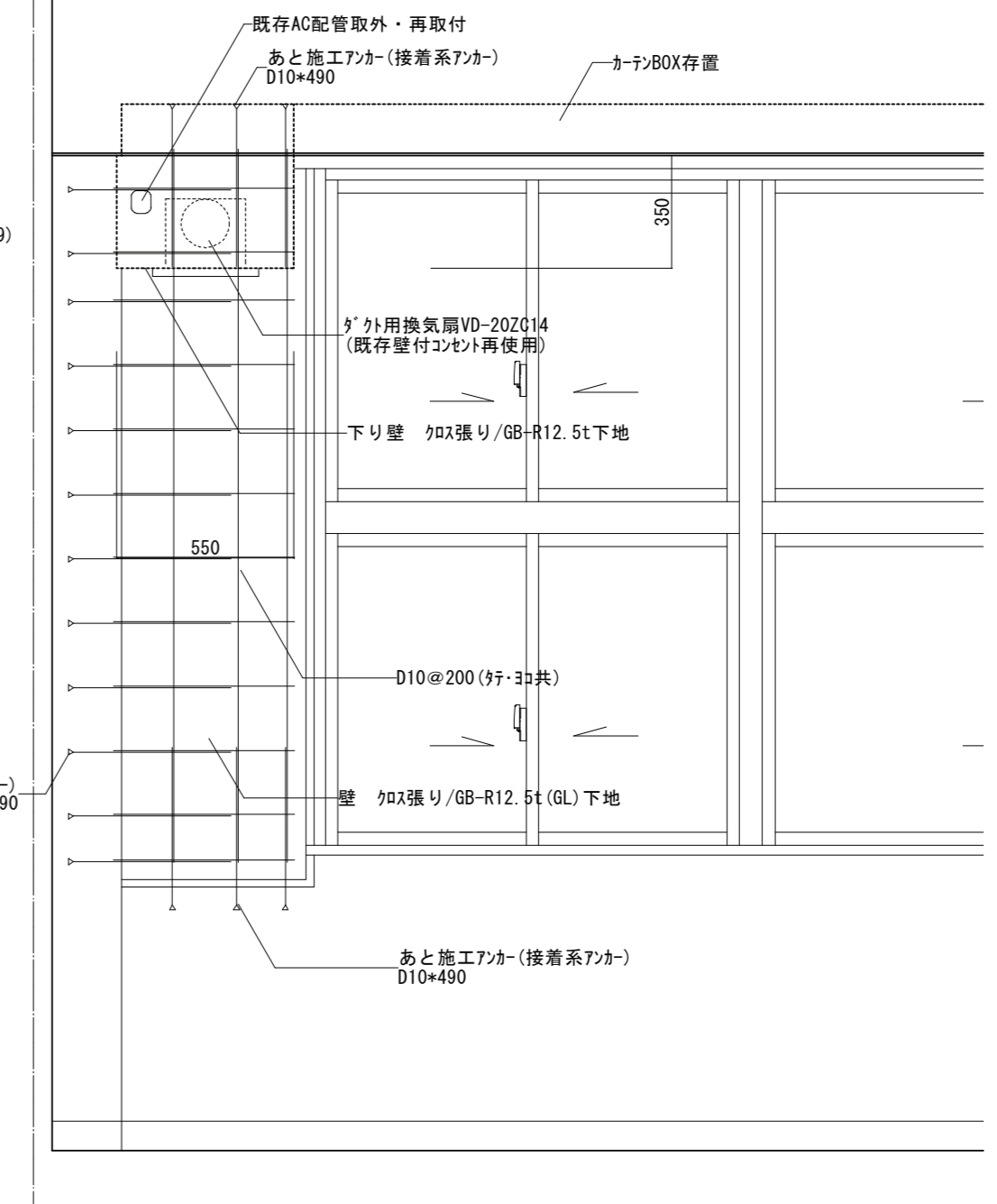
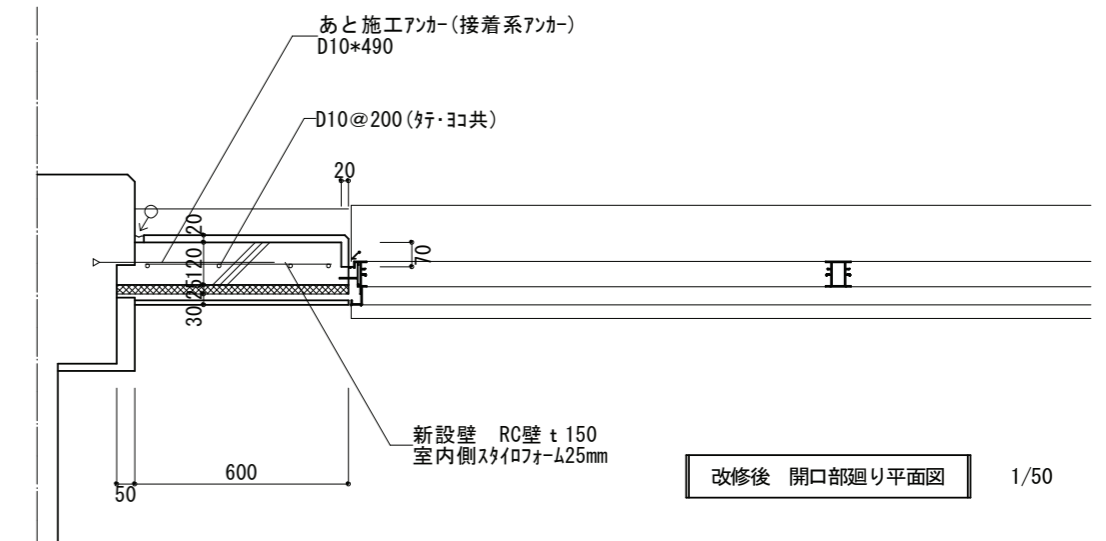
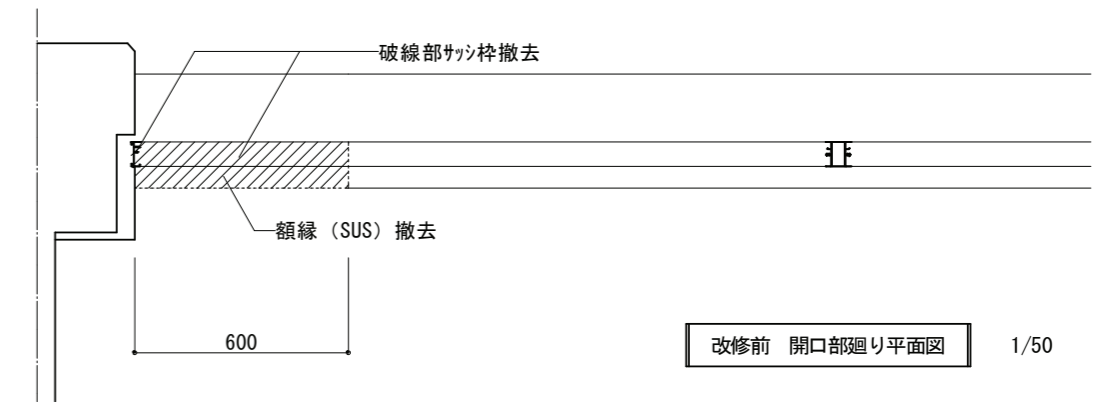
有限会社 安本設計事務所



改修前 開口部廻り断面図 1/50



改修後 開口部廻り断面図 1/50



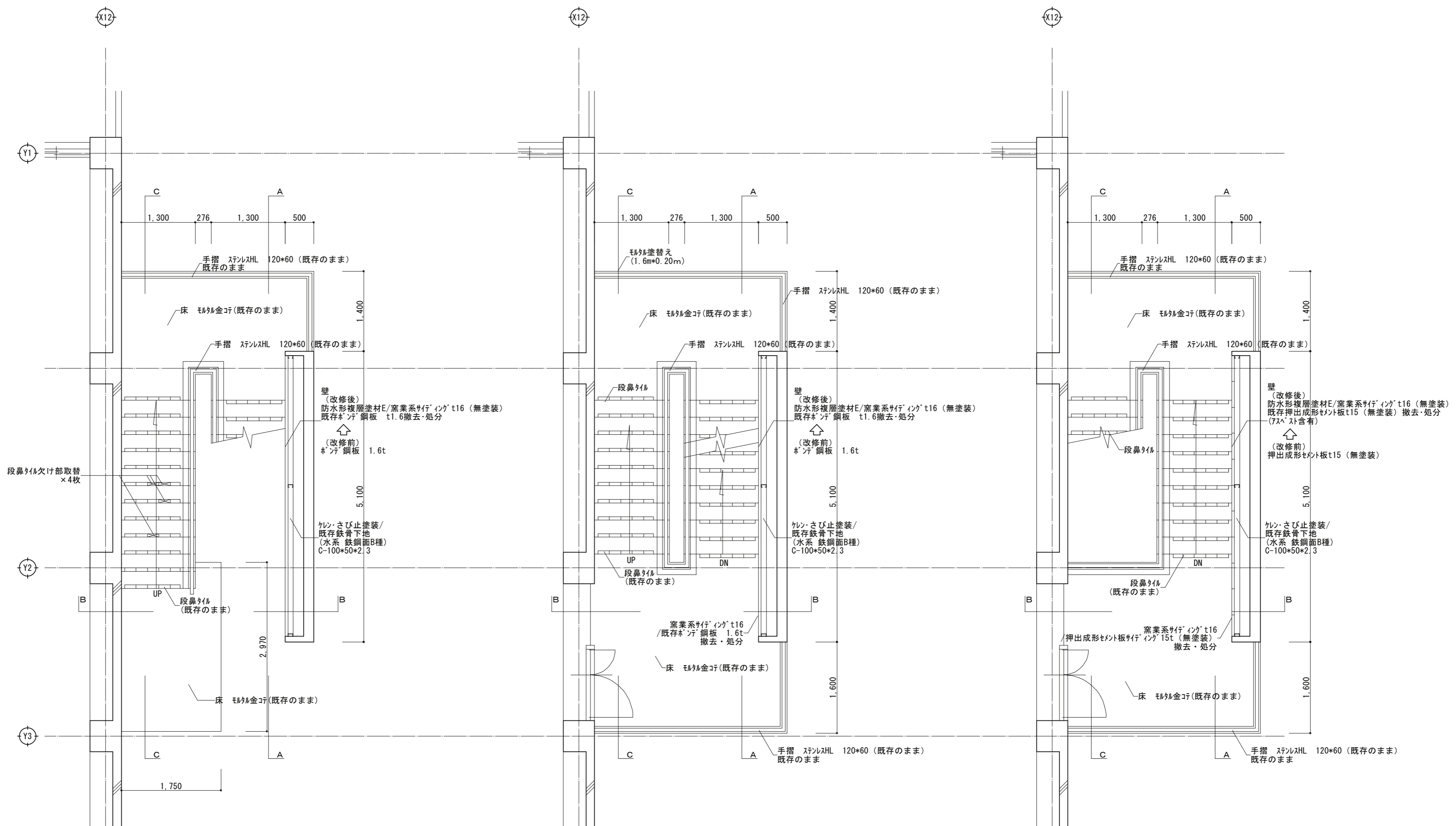
改修後 開口部廻り展開図 1/50

MEMO

有限会社 安本設計事務所

TITLE	倉吉総合看護専門学校本館棟外壁等改修工事	管理建築士 長谷川 聖 (一級建築士登録第321664号)	Seri. No. 24
NAME	【本館棟】 換気扇取付詳細図	Chief	Draw. No.
SCALE	1/20 [A3:1/30]	Date	25.03
		Proj. No.	HT-D A-23
		Name	長谷川 聖 (印)
			21003





1 階 平 面 図 1/50

段鼻タイル欠け部取替

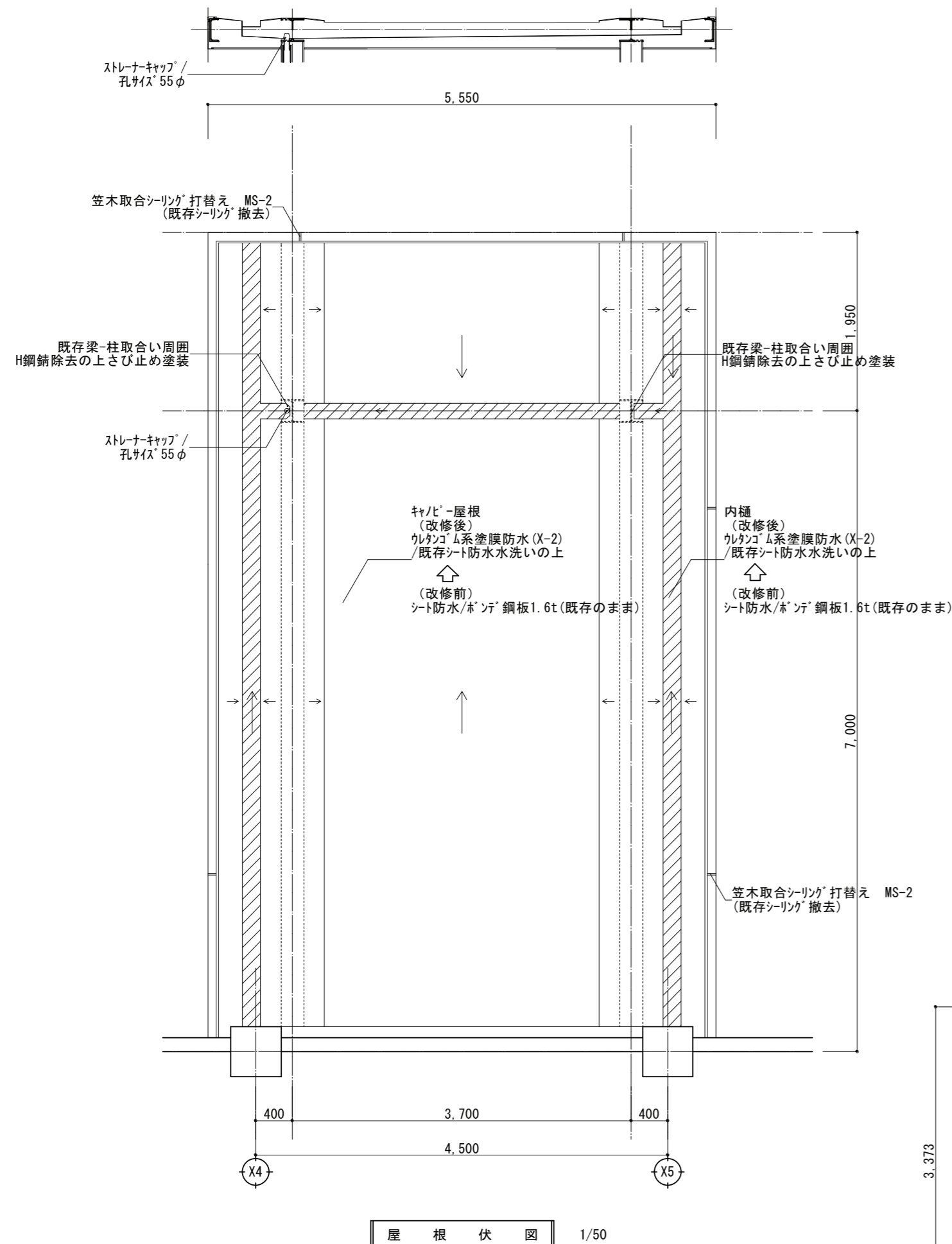
2 階 平 面 図 1/50

3 階 平 面 図 1/50

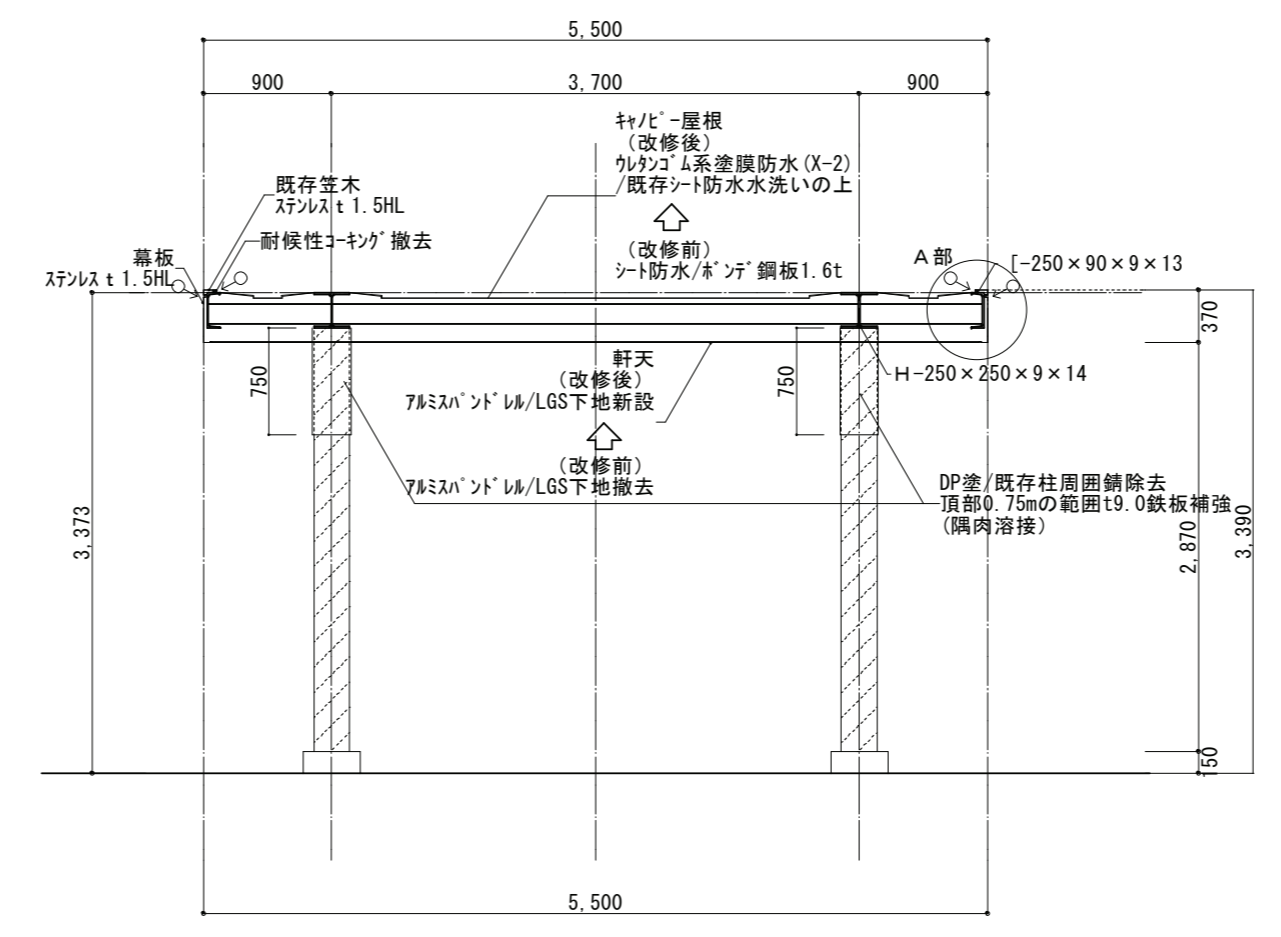


MEMO	有限 安本設計事務所	TITLE	倉吉総合看護専門学校本館棟外壁等改修工事	管理建築士 長谷川 聖 (一級建築士登録第321664号)	Seri. No. 25	
		NAME	【本館棟】 屋外階段平面図	Chief	Date	
		SCALE	1/50 [A3:1/75]	Bel. 安本設計事務所	25.03	Proj. No. HT-D 21003
				Name 長谷川 聖 (印)		Draw. No. A-24 A-30

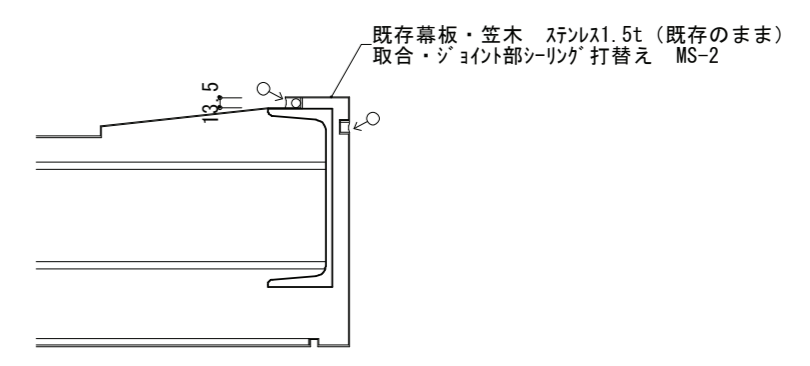




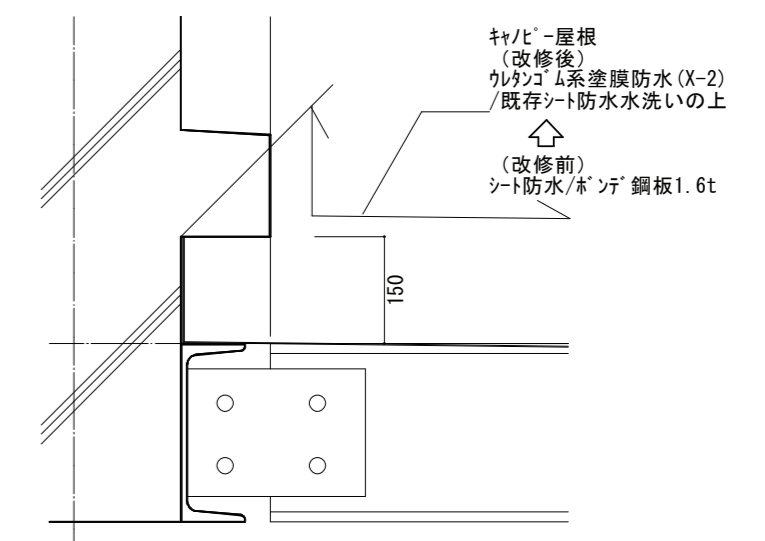
屋根伏図 1/50



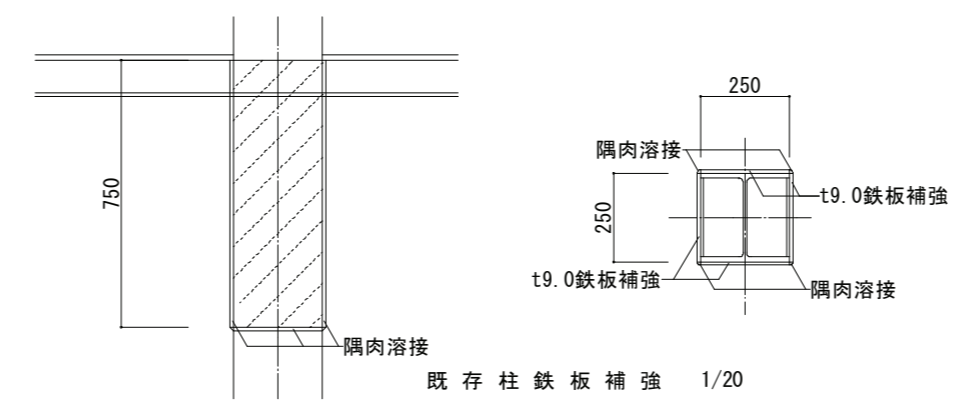
X方向断面図 1/50



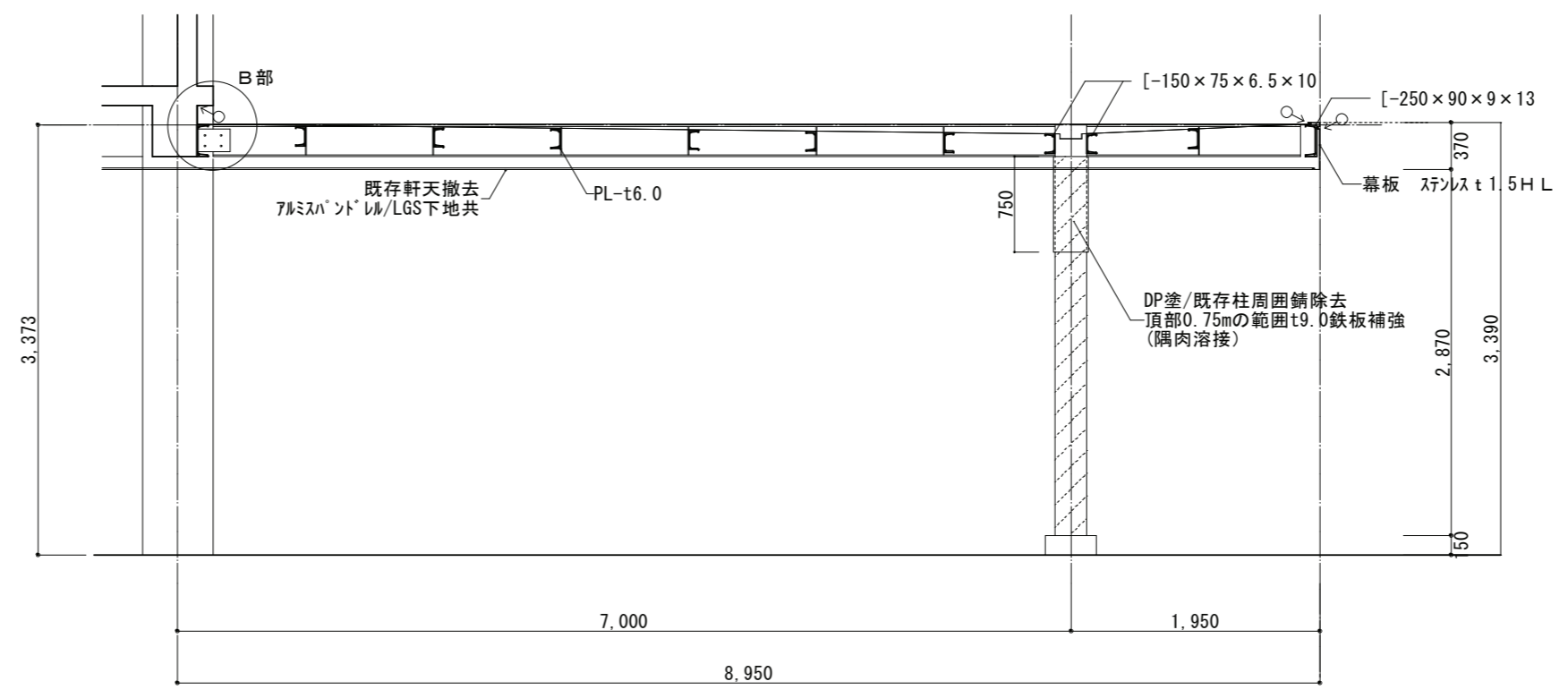
A部詳細図 1/10



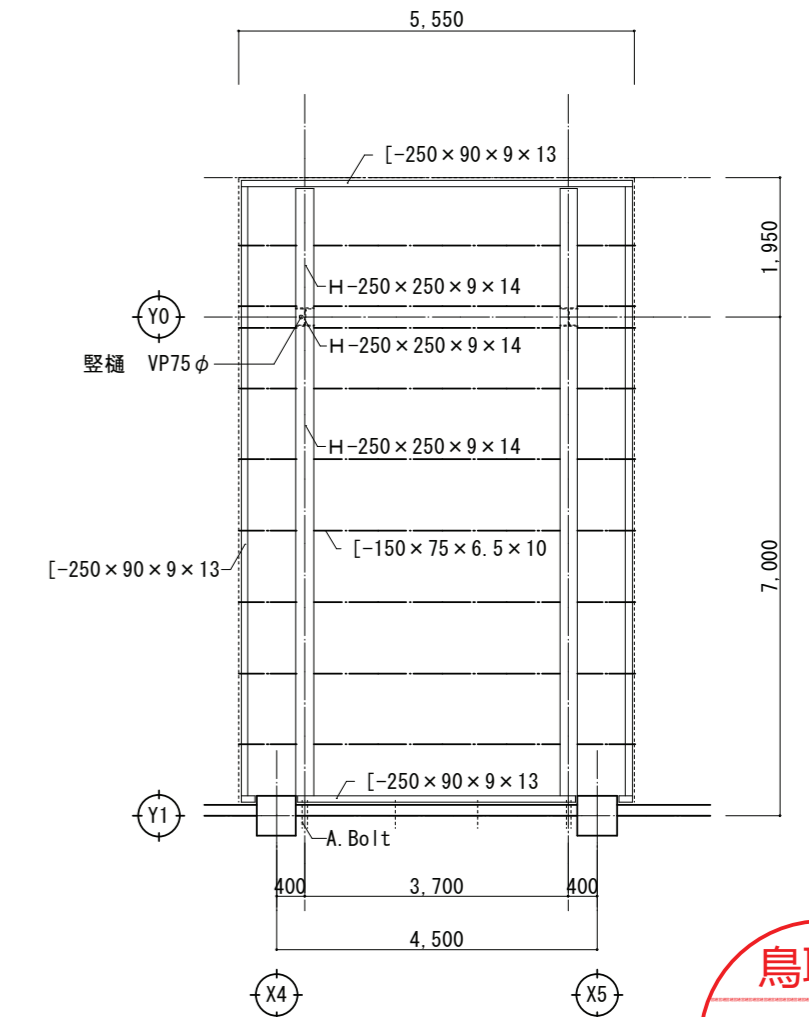
B部詳細図 1/10



既存柱鉄板補強 1/20



Y方向断面図 1/50



参考既存梁伏図 1/100

MEMO		TITLE	倉吉総合看護専門学校本館棟外壁等改修工事	管理建築士 長谷川 聖 (一級建築士登録第321664号)	Seri. No.	27		
		NAME	【本館棟】キャノピー 屋根伏図、天井伏図、梁伏図、断面図	Drawer/Se longing	Chief	Date	Proj. No.	
		SCALE	1/10, 20, 50, 100 [A3:1/15, 30, 75, 150]	Bel.   安本設計事務所	Name	長谷川 聖 (印)	25.03	HT-D 21003
								Draw. No. A 26 30



建具表 (1)		1/100	
記号	AD1	AD1a	AD1d
形状・寸法			
FL	破線部サッシ撤去		
数量	1	1	1
材質	7mm	7mm	7mm
見込	70	70	70
硝子	FL3.0t	LowE4+A6+FL4(掃出部)/LowE3+A6+FL3	FL3.0t
塗装			
金物・備考			付属金物一式 可動網戸(合成樹脂) 7mm額縁(内外) 7mm水切
記号	AD1b	AD1c	AD1d
形状・寸法			
FL			給湯配管 7mm 撤去 サッシ撤去(枠存置) 給湯配管跡塞ぎ 7mm FL 既存のまま
数量	6	6	1
材質	7mm	7mm	7mm
見込	70	70	70
硝子	FL3.0t	LowE4+A6+FL4(掃出部)/LowE3+A6+FL3	FL3.0t
塗装			
金物・備考		付属金物一式 可動網戸(合成樹脂) 7mm額縁(内外) 7mm水切	付属金物一式 可動網戸(合成樹脂) 7mm額縁(内外) 7mm水切
記号	AD2	AD3	AW1a
形状・寸法			
FL	サッシ、ガラス撤去 7mm板2t (枠存置)	サッシ、ガラス撤去 (枠存置)	サッシ、ガラス撤去 (枠存置)
数量	2	2	29
材質	7mm	7mm	7mm
見込	70	70	70
硝子	PW6.8t (腰) 7mm板2t	LowE3+A6+PW6.8	FL3.0t
塗装			
金物・備考	丁番、DC、7mm額縁W50 握玉錠、シリカゲル錠	付属金物一式 ドアローザ、レバーハンドル錠 戸当り(煽り止め付き) 7mm額縁(内外)	付属金物一式 可動網戸(合成樹脂) 7mm額縁(内外) 7mm水切



建具表 (2)		1/100	
記号	AW16 ランマ付き引違窓	AW16 ランマ付き引違窓	AW16 ランマ付き引違窓
形状・寸法	改修前 3.850 1.890 70 1.890 換気扇 7#ミナ 枠t2.0 450口 2.100 1.000 100 改修後 3.250 600 1.290 70 1.890 2.100 1.000 100 破線部サッシ枠撤去	改修前 3.850 1.890 70 1.890 換気扇 7#ミナ 枠t2.0 450口 2.100 1.000 100 改修後 3.850 1.890 70 1.890 換気扇 7#ミナ 枠t2.0 換気扇穴あけ 450口 2.100 1.000 100	改修前 3.850 1.890 70 1.890 2.100 1.000 100 改修後 3.850 1.890 70 1.890 2.100 1.000 100
FL	サッシ、ガラス、換気扇撤去 (枠存置)	サッシ、ガラス、換気扇撤去 (枠存置)	サッシ、ガラス撤去 (枠存置)
数量	2	2	2
材質	7#ミ	7#ミ	7#ミ
見込	70	70	70
硝子	FL3.0t	LowE3+A6+FL3	LowE3+A6+FL3
塗装			
金物・備考		付属金物一式 可動網戸 (合成樹脂) 7#ミ額縁 (内外) 7#ミ水切	付属金物一式 可動網戸 (合成樹脂) 7#ミ額縁 (内外) 7#ミ水切
記号	AW16 ランマ付き引違窓	AW16 ランマ付き引違窓	AW16 ランマ付き引違窓
形状・寸法	改修前 3.850 1.890 70 1.890 換気扇 7#ミナ 枠t2.0 450口 2.100 1.000 100 改修後 3.850 1.890 70 1.890 2.100 1.000 100	改修前 3.850 1.890 70 1.890 換気扇 7#ミナ 枠t2.0 450口 2.100 1.000 100 改修後 3.250 1.890 70 1.290 600 2.100 1.000 100 破線部サッシ枠撤去	改修前 3.850 1.890 70 1.890 2.100 1.000 100 改修後 3.850 1.890 70 1.890 2.100 1.000 100 不透明フィルム貼り
FL	サッシ、ガラス、換気扇撤去 (枠存置)	サッシ、ガラス、換気扇撤去 (枠存置)	サッシ、ガラス撤去 (枠存置)
数量	2	2	2
材質	7#ミ	7#ミ	7#ミ
見込	70	70	70
硝子	FL3.0t	LowE3+A6+FL3	LowE3+A6+FW6.8
塗装			
金物・備考		付属金物一式 可動網戸 (合成樹脂) 7#ミ額縁 (内外) 7#ミ水切	付属金物一式 可動網戸 (合成樹脂) 7#ミ額縁 (内外)
記号	AW16 ランマ付き引違窓	AW2 ランマ付き引違窓	AW3 縦軸回転窓
形状・寸法	改修前 3.850 1.890 70 1.890 2.100 1.000 100 改修後 3.850 1.890 70 1.890 2.100 1.000 100 不透明フィルム貼り	改修前 1.300 2.100 1.000 100 改修後 1.300 2.100 1.000 100	改修前 750 1.200 改修後 750 1.200
FL	サッシ、ガラス撤去 (枠存置)	サッシ、ガラス撤去 (枠存置)	サッシ、ガラス撤去 (枠存置)
数量	4	1	6
材質	7#ミ	7#ミ	7#ミ
見込	70	70	70
硝子	FL3.0t	FL3.0t	FL3.0t
塗装			
金物・備考	付属金物一式 可動網戸 (合成樹脂) 7#ミ額縁 (内外) 7#ミ水切	付属金物一式 可動網戸 (合成樹脂) 7#ミ額縁 (内外) 7#ミ水切	付属金物一式 7#ミ額縁 (内外) 7#ミ水切



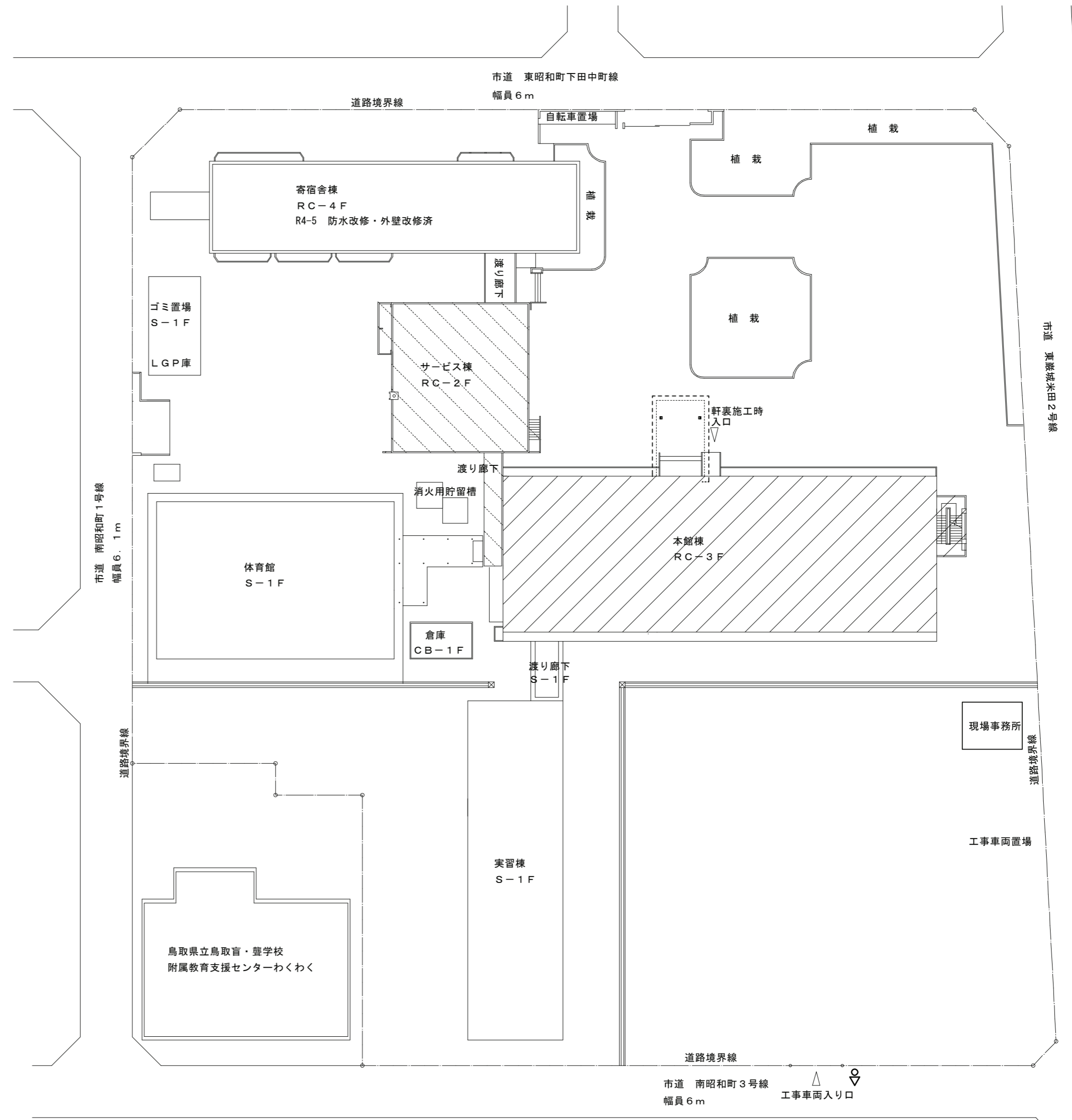
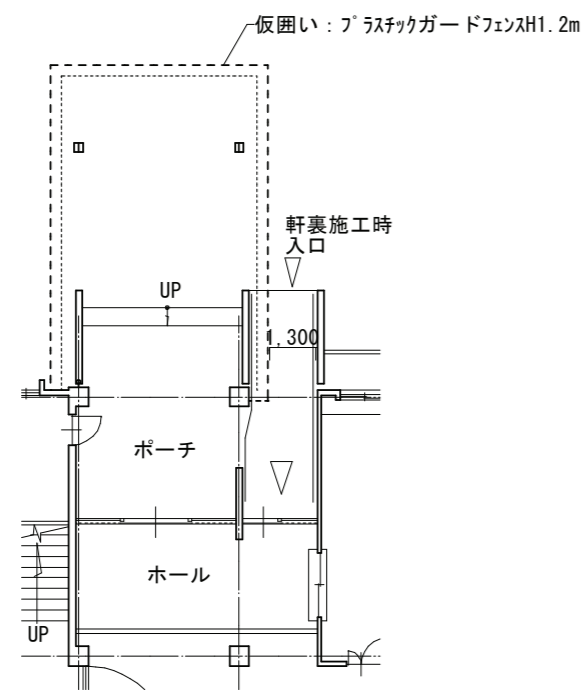


凡例	項目	備考
-----	仮囲い：プラスチックガードフェンスH1.2m (工事期間中)	24m
▽	交通誘導員	30人
特記事項	既設建物との完全分離した工事動線を計画している。 軒/庇-軒裏取替工事、柱補強工事は夏休みの期間中に行うこと。 仮設計画はあくまで参考とし、請負業者を拘束するものではない。 請負業者はその専門知識をもって十分仮設計画の検討をし、監督職員と協議を行うこと。 外部足場の設置については、生徒等のに配慮すること。 工事ヤードや現場事務所の配置については学校と協議を行い図示すること	

概略工程表

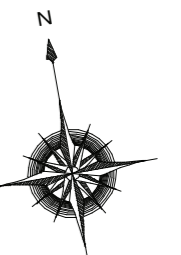
ヶ月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	備考
共通仮設	準備									
直接仮設				外部足場						
鉄骨										
金属										
防水										
屋根及びとい										
外装補修			調査		補修					
建具					建具工事					

※この工程表は概略であり、監督員、学校と十分協議の上、実施工程表を作成すること。



配置図 1/400

凡例  
 [斜線] : 工事対象建物  
 [点線] : 工事対象建物 (別工事)



鳥取県  
 令和6年度  
 J 2400530  
 総務部管轄課

MEMO	有限 安本設計事務所	TITLE	倉吉総合看護専門学校本館棟外壁等改修工事		管理建築士 長谷川 聖 (一級建築士登録第321664号)	Seri. No. 31	
		NAME	仮設計画図 (参考)		Chief	Draw. No.	
		SCALE	1/400 [A3:1/600]		Date	25.03	Proj. No. HT-D A-30
		Drawer/Belonging	Bel. 安本設計事務所		Name	長谷川 聖 (印)	Draw. No. 21003